Ⅲ　地 区 館 事 業

平成 22 年度 指定管理事業実績

市民センター地区館ホームページアドレス一覧

http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/○○○○/index.html

※館によって入る文字が異なる

市民センター名	○○○○に入る文字	市民センター名	○○○○に入る文字
青葉区		六郷市民センター	rokugo
青葉区中央市民センター	aochu	沖野市民センター	okino
柏木市民センター	kasiwagi	若林市民センター	wakabayasi
北山市民センター	kitayama	太白区	
福沢市民センター	fukuzawa	太白区中央市民センター	futochu
旭ヶ丘市民センター	asahigaoka	生出市民センター	oide
三本松市民センター	sanbonmatsu	中田市民センター	nakada
片平市民センター	katahira	西多賀市民センター	nisitaga
水の森市民センター	mizunomori	八本松市民センター	hachihonmatsu
貝ヶ森市民センター	kaigamori	八木山市民センター	yagiyama
中山市民センター	nakayama	山田市民センター	yamada
折立市民センター	oritate	茂庭台市民センター	moniwadai
広瀬市民センター	hirose	東中田市民センター	higashinakada
宮城西市民センター	miyaginisi	柳生市民センター	yanagiu
大沢市民センター	osawa	秋保市民センター	akiu
落合市民センター	ochiai	馬場市民センター	
吉成市民センター	yosinari	湯本市民センター	
木町通市民センター	kimachi	富沢市民センター	tomizawa
宮城野区		泉区	
中央市民センター	chuo	泉区中央市民センター	izuchu
高砂市民センター	takasago	根白石市民センター	nenosiroisi
岩切市民センター	iwakiri	南光台市民センター	nankodai
鶴ケ谷市民センター	tsurugaya	黒松市民センター	kuromatsu
榴ヶ岡市民センター	tsutsujigaoka	将監市民センター	syogen
東部市民センター	tobu	加茂市民センター	kamo
幸町市民センター	saiwaichou	高森市民センター	takamori
田子市民センター	tago	松陵市民センター	syoryo
福室市民センター	fukumuro	寺岡市民センター	teraoka
若林区		長命ヶ丘市民センター	chomeigaoka
若林中央市民センター	wakachu	松森市民センター	matsumori
七郷市民センター	sichigo	桂市民センター	katsura
荒町市民センター	aramachi	南中山市民センター	minaminakayama

青葉区中央市民センター

〔沿　革〕

昭和 61 年の市立東二番丁小学校の全面改築に伴い「仙台市市民教養センター」が廃止され、昭和 63 年 1 月に「仙台市中央公民館一番町分館」が開館。平成 13 年 4 月、隣接の「アスピア一番町（勤労青少年ホーム）」を統合し、新しく「青葉区中央市民センター」としてスタートした。

市の中心地域で交通の便が良いため、若い世代から高齢者まで昼夜を問わず利用率が高く、外国人も集まりやすいため、日本語講座を開催するなど国際交流の場としても一役を担っている。

〔特色ある（地区館）事業〕

事業名	ボランティア養成講座「仙台七夕応援隊」		
参加者	大学生、一般	参加延人数	50人
開催日	全7回 6 月 19 日(土)、7 月 3 日(土)、7 月 17 日(土)、7 月 24 日(土)、7 月 31 日(土)、8 月 6 日(金)、8 月 21 日(土)		
ねらい	子ども広場「仙台七夕に参加しよう」の事業を地域の方々と共に運営し、仙台の伝統行事である「仙台七夕」に関わりながら、地域活性化に繋がるような活動をすることを目的にボランティアを養成する。		
概要・成果	「子ども広場・仙台七夕に参加しよう」の講座運営のボランティアとして大学生や折り紙の得意な方などが参加し、子ども達や地域の方とふれあいながら、七夕作りや飾り付けの手伝いなど、講座運営のサポートとして活躍した。受講者の感想や反省会での「今後もボランティア活動を継続したい」との声からも、概ね目的は達成できた。		

〔平成 22 年度 （地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子育てステップバイステップ～聞いてほっと話してほっと～	子育て中の保護者を対象に、子育てや家族との関わり方、かけがえのない子どもの命について話し合いと情報交換の場を設けた。	6月3日・10日・17日・24日	4	17
パンダくらぶであそぼう	親子で運動、人形劇、読み聞かせ、豆まき等で触れ合う時間を共有することで、コミュニケーションを深め、風通しの良い親子関係へと繋がる場を設けた。	11月2日・12日・30日・12月14日・1月18日	5	66
仙台市子ども会インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、子ども会のリーダーとして活動する児童及び世話人を対象に、子ども会についての知識やレクリエーション・ゲーム等を学習する場を設けた。	1月29日	1	40
子ども広場「仙台七夕に参加しよう」	日本と外国の子ども達が、地域の団体と協力して商店街に飾る吹流しを作成し、仙台の伝統行事である「仙台七夕まつり」に参加することで、参加者及び地域との交流を図った。	7月17日・24日・31日・8月6日	4	50
子ども広場「サイエンス・フェスティバル’10」	小・中学生を対象に、管内中・高・大・大学院・企業などの科学関連団体が行う実験や工作のブースを設け、五感を使って楽しく体験できる場とし、科学の不思議と面白さを学んだ。	10月9日	1	326

あおばカレッジ	市民の主体的な学びと仲間作りを目的に、今年度のテーマを「環境」にし、年間を通して学習の場を設けた。内容は、基調講演「地球温暖化のこと、教えてマサくん」、「生活ごみの分け方、出し方」、運営委員自主企画講座等	5月21日～2月18日	10	328
一番町で会いましょう－未来を切り開く自己表現	ビジネス街という立地から勤労者を対象に、夜間に自己表現やコミュニケーション等について学ぶ場を設けた。	9月15日・22日・29日	3	57
一番町で会いましょう－フォークソングをうたわnight	グループでフォークソングの練習を行い、仕事以外での有効的で充実した時間の活用方法を探る場、ひとつのものを創り上げる喜びを共有する場を提供した。最終回にはクリスマスライブを実施。自主グループができ、活動を始めた。	11月11日・18日・25日・12月2日・9日・23日	6	101
ふれあいいきいき講座	聴覚障害者を対象に、「ガス局ショールームの施設見学と調理実習」「青葉消防署の施設見学とぐらら体験」を実施し、日常生活を安心して過ごせるように学習の場を設けた。	7月6日・9月7日	2	22
国際理解講座	「シミュレーションゲームで交流しよう」「文化の違いを学ぼう」「調理実習-食文化で交流しよう」を開催し、参加者が体験や交流を通して、異文化間のコミュニケーションを学び、国際理解を深める場を設けた。	8月28日・9月4日・11日	3	53
あおばブックカフェ	様々なスタイルの読書会を行い、読書の新たな楽しみ方を知り、本を媒体とし参加者間のコミュニケーションを図った。	11月17日・12月15日・1月19日	3	12
紙芝居で地域発信	尚絅学院大学市民講座、泉区中央市民センター主催講座「作ってみよう！七夕かざり」において、平成19年度講座で作成した紙芝居「一番町物語」を上演した。そのことで、紙芝居を広く発信し、昭和の一番町を知ってもらった。	7月8日・28日	2	90
綱引きinサンモール	サンモール一番町商店街アーケードで、野中神社の縄にちなんで綱引き大会を実施し、地域の新たな賑わいを創出するきっかけを作った。	10月23日	1	234
第7回ふれあい祭「和気藹々☆一番町」	センター利用団体の舞台発表、展示発表、体験コーナー、出店コーナー、ダンスパーティー等を実施。各サークル間や来場者との交流の場を設けた。	3月5日・6日	2	2120
まちなかミニライブ	当市民センターを拠点に活動している団体や地域で活動している団体に発表の機会を設けた。館内で1回とサンモール一番町商店街アーケードにおいて3回実施。住民が気軽に参加できる環境を作った。	9月20日・23日・10月23日・12月23日	4	757
青中懇話会	市民の学習ニーズや地域の課題等について市民の意見を聞く場を設け、市民センターが地域に密着した事業を展開できるようにした。	6月10日・10月6日	2	19
ボランティア養成講座「仙台七夕応援隊」	七夕の由来や七つ飾り等を学び、子ども広場「仙台七夕に参加しよう」の講座運営に携わり、講座を通して「仙台七夕まつり」に関わりながら、地域活性化に繋がる活動をすることを目的にボランティアを養成した。	6月19日・7月3日・17日・24日・31日・8月6日・21日	7	50
ジュニアリーダーと遊ぼう	ジュニアリーダーが、独自のプログラムを立てながら小学生親子が楽しめる講座を企画・運営することで、自分達の活動のスキルアップに繋げた。	7月29日・3月6日	2	73
市民企画会議「読書会を企画しよう」	「読書会」をテーマに市民と協働で企画会議を持ち、講座「あおばブックカフェ」を企画し、実施した。	5月19日～2月9日	11	46
サークル体験～きっと見つかるあなたのやりたいこと！	当市民センターで活動している様々なサークルを広く市民に紹介することで、生涯を通して学べる場の提供と、共に学ぶ仲間作りの支援を行った。	11月5日～28日	17	93

柏木市民センター

〔沿　革〕

当市民センターは昭和 61 年 7 月に旧仙台女子高等学校の校舎を改修し、中央公民館柏木分館として開館した。平成元年の政令指定都市移行とともに、「柏木公民館・市民センター」として独立、そして平成2年には名称を「柏木市民センター」とした。その後、施設の老朽化のため平成 7 年 4 月から一時休館して改修工事を行い、平成 10 年 4 月にコミュニティ防災センターを併設した複合施設として新たに開館した。施設の特徴としては収納式のステージをもつ多目的ホール、会議室、和室等に加え、広いロビーがあり、地域住民の学習・スポーツ・交流の場として活用されている。

〔特色ある事業〕

事業名	お仕事たんけん隊		
参加者	小学生	参加延人数	86人
開催日	全4回　7 月 23 日(金)、8 月 21 日(土)、10 月 30 日(土)、1 月 6 日(木)		
協力者・協力団体	仙台放送、青葉消防署、仙台市地下鉄、日本銀行仙台支店		
ねらい	小学生を対象にしたキャリア教育として、様々な仕事の現場を見学し、職業に対する理解を広めることで、教科書にない生きた社会科を学ぶ機会として役立てる。		
概要・成果	前年度の職人系の個人商店訪問が好評だったことを受けて、今年度は会社訪問とし、地元のテレビ放送局、消防署、地下鉄工事現場や日銀仙台支店など、様々な仕事の現場を見学した。職業に対する理解を広める良い機会を提供できた。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
親子de国際交流サロン	外国人親子と日本人親子を対象に親子遊びや日常生活に直結した食や文化、健康など、体験を交えた学習と情報交換で交流を図った。	5月26日・6月23日・7月28日・9月22日・10月27日	5	105
子育てほっとサロン	子育て中の母親を対象に、子育てに関する悩みなどを共有しながら、生活の工夫についての情報交換や、ティータイムを取り入れての心の交流を図った。	5月27日・6月3日・10日	3	17
インリーダー研修会	子ども会についての講話や子ども会行事プログラムの作り方の実習。ジュニアリーダーからゲームなどの遊びを楽しみながら学習した。	2月5日	1	45
子ども環境講座「エコ・ぴぃーす」	南極観測隊員の体験談や電気エネギー、ゴミのリサイクルなどについて、体験も交えながら環境について学んだ。	7月17日・30日・31日 8月19日・ 20日	5	64
お仕事たんけん隊	小学生を対象に職業への理解を広げるためのキャリア教育を目的にした講座。地元のテレビ放送局、消防署、地下鉄工事現場や日銀仙台支店など、仕事の現場を見学した。	7月23日・8月21日・10月30日・1月6日	4	86

柏梁学院	心身共に健康で充実した生活に寄与するため、企画員と職員で検討しながら、文学館、博物館の館外学習、落語や歴史講話を鑑賞した。	4月14日～3月2日	12	775
ようこそ仙台へ ～ございん仙台～	仙台への転入者をサポートし、市街地の彫刻を鑑賞したり、ゴミの分別法の実習などを行い、転入者同士の交流を図った。	9月3日･17日 10月1日･15日･29日	5	57
歴史にみる通町・堤町・北山界隈	この界隈が城下町の町並をかろうじて留めていることから、その歴史的な意味や役割について考える機会とし、歴史や風土が地域の財産であることを再確認する場とした。	6月15日・24日 7月9日	3	160
博学さんぽ ～柏木界隈のツボ～	寺社・仏閣に囲まれた地域の環境を生かし、実際にまち歩きをしながらの体験を通して、地元の歴史的・文化的魅力について学んだ。	5月13日・7月15日・9月9日・10月21日・28日・11月11日	6	100
大人のわっくわっく生活塾	市民企画講座から提案された内容をもとに、団塊の世代を対象にした講座。裁判所への見学や暮らしに役立つロープワークなど、社会生活に役立てる体験を通して、参加者の交流を図った。5回目は雨のため中止。	10月8日･29日 11月5日･19日	4	34
くつろぎタイム2010	多くの方が気軽に参加できる夜間開催のコンサート、小学校や地域を巻き込んだ朗読会を開催。	7月24日・10月16日・12月18日	3	107
私たちにもできる地震対策	阪神大震災をもとにした朗読劇を鑑賞。他にコミュニティ防災資機材倉庫を見学し、地震への備えについて学んだ。	6月12日･19日･26日	3	48
第7回柏木ふれあい祭り	地域団体や市民センター利用サークルによる展示・舞台発表の他、ジュニアリーダーによる体験コーナーを設け開催。	10月3日	1	400
柏木市民センター懇談会	本年度は地域のコミュニティーセンターに出向き、市民センターへの理解を深めてもらう機会を設定した。2回目は震災のため中止。	2月16日	1	70
初めて学ぶ読み聞かせボランティア養成講座	地域で活動する読み聞かせボランティア養成のため、講話と実技、実践を交えながら読み聞かせボランティアの心構えや基本などを学んだ。	11月18日・25日・12月2日・9日・16日・22日・1月27日・2月17日・3月10	9	203
市民企画講座 「わっく2」	生涯学習の場に呼び込みにくい団塊の世代を対象に、気軽に参加しやすい講座の企画について話し合った。	5月21日・6月4日・12月17日	3	8

北山市民センター

〔沿　革〕

社会福祉活動の場がほしいという地域住民の願いが叶い、北山福祉会館が設置されたのが昭和49年7月である。(所管は仙台社会福祉協議会)。平成元年の政令指定都市移行に伴い「北山市民センター・公民館」に、平成2年には「北山市民センター」と名称を改め、地域の生涯学習の拠点としての機能を果たしている。

施設の老朽化に伴う改築工事のため平成21年6月から約2年間閉館したのち、平成23年1月18日に新館としてオープンした。

地域内には、青葉神社や大崎八幡神社、北山五山などの神社仏閣があり、歴史的・文化的資源や緑に恵まれている。また、東北福祉大学や東北大学国際交流会館があるため若者や外国人が多く福祉や国際理解への関心が高い。

〔特色ある事業〕

事業名	北山シルバースクール		
参加者	地域に住む高齢者	参加延人数	174人
開催日	全7回 4月23日(金)、5月28日(金)、7月23日(金)、10月22日(金)、11月26日(金)、1月28日(金)、3月4日(金)		
ねらい	高齢者が健康で生きがいのある社会生活を送れる様、学習の機会を提供し、また自主的な社会参加と活動が出来るよう支援を進める。		
概要・成果	ミニコンサート、ラジオ体操、遊書、地域散策、「被災した時あなたは」をテーマにした座談会、昭和20～50年頃の仙台の映像鑑賞会。 新しい試みとして防災意識を喚起するための座談会を開いたところ、次年度の企画に繋がる提案が出たことが収穫だった。講座の開始前に、心と体のリラックスを兼ねてラジオ体操を行ったのが好評であった。		

〔平成22年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子ども会インリーダー研修会	講話(子ども会活動と世話人の役割、インリーダーの役割と心構え)、演習(行事プログラムの立て方)、実技(レクリエーションゲームの進め方)	2月5日	1	33
北山シルバースクール	ミニコンサート、ラジオ体操、遊書、地域散策、「被災した時あなたは」をテーマにした座談会、昭和20～50年頃の仙台の映像鑑賞会。	4月23日・5月28日・7月23日・10月22日・11月26日・1月28日・3月4日	7	174
懇談会 「館長と語ろう」	開館予定と今後の利用についての説明。地域ニーズの情報収集と意見交換。	12月7日	1	15
ジュニアリーダーと遊ぼう	小学生を対象に傘袋ロケット、新聞フリスビー作りを指導し一緒に遊んだ。	10月3日	1	40

※ 改築工事のため、平成21年6月1日から平成23年1月17日まで休館

福沢市民センター

〔沿　革〕

昭和 59 年 6 月 9 日、コミュニティ防災センターを併設し「福沢公民館」として開館、平成 2 年 4 月に「仙台市福沢市民センター」と名称を改めた。平成 20 年 6 月より大規模改修工事を行い平成 21 年 1 月 14 日にリニューアルオープンした。

当市民センターの地域内は、東照宮の門前町として栄えた宮町を中心として昔の雰囲気を今にとどめており、下町情緒に溢れた古い歴史の地域になっている。反面、仙台市中心部からも近く、マンションも建ち並び新旧住民が混在した地域でもある。このような中で、地域の交流の場として多くの人々に利用されている。

〔特色ある事業〕

事業名	市民企画講座「宮町春夏秋冬今昔物語」マップ作り		
参加者	地域住民	参加延人数	36人
開催日	全8回 9 月 7 日(火)、10 月 19 日(火)、11 月 26 日(金)、12 月 10 日(金)、12 月 15 日(水)、 12 月 25 日(土)、1 月 10 日(月)、2 月 22 日(火)		
協力者・協力団体	宮町商店街		
ねらい	伝統ある宮町の文化・魅力を伝承し、地域の住民に再認識してもらう。 21 年度は宮町商店街のカレンダー付今昔マップを作成して多くの反響を得、この地域の魅力を発信できた。22 年度は切り口を変え、前年度発信できなかった部分を取り上げ発信することで、地域活性化を図る。		
概要・成果	「宮町今昔物語カレンダー」を製作し、地域内外に宮町の魅力を発信した。ホームページからハガキ版のものをダウンロードできるようにした。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
ママの寺子屋	親子ビクス、乳幼児の救命講習、読み聞かせ、コンサート等、親子で一緒に体験できる講座を行なった。	6月24日・7月8日・9月9日・10月14日・11月11日・12月5日	6	173
囲碁を学ぼう！	囲碁同好会メンバーが講師になり小学生の初心者に囲碁の基礎を教え、対局までを指導した。	11月20日・27日・12月4日	3	42
仙台市子ども会インリーダー研修会	児童研修「行事プログラムの立て方」と世話人研修「子供会の活動について」を行なった後に、ゲーム・レクリエーション研修を合同で行なった。	2月19日	1	98
キャリア教育講座～ゲームやるぞ！全員集合～	身近なゲームキャラクターを用いて、ゲーム制作のプログラミングに必要な関数について学んだ。	7月31日	1	15
僕らはチャレンジャー「捨てる紙あれば拾う神あり～段ボールで作る絵馬」	エコ活動の一環として段ボールを再利用し絵馬を制作した。また地域の東照宮へ持参した。	10月23日・30日・11月6日・13日	4	18

声に出して伝えたい物語の世界	発声の基礎を学び、「読み聞かせ」や「朗読」を体験した。また、図書まつりにおいて実際に「読み聞かせ」を行なった。	5月27日・6月3日・10日	3	59
思い出の音楽室 ～懐かしい歌とともに～	懐かしい唱歌を中心に歌う楽しさや合唱の難しさ等を学んだ。	9月1日・8日・15日	3	55
「宮町からの歴史」講座	東照宮や宮町界隈の歴史と、博物館企画展「仙台人物誌」を見学し、仙台ゆかりの人物についても学んだ。	11月12日・26日	2	54
福沢シニア大学	「地元学」「健康体操」「川柳」「幕末の歴史」「折り紙制作」「コンサート」等、多方面においての学習を行なった。	4月22日～3月3日	12	680
ライブラリー福沢	「本のリサイクルコーナー」や「読み聞かせ」「ハワイアンコンサートとフラ」等のイベントを行ない、図書室利用の活性化を図った。	8月25日・26日・27日・28日	4	232
緑のカーテンの輪・わ・ワッ！	昨年取れた朝顔やゴーヤの種をセンターのみならず地域にも配り「緑のカーテン」作りを行なった。	5月15日・29日・6月12日・7月10日・24日・9月4日	6	60
来てしまった！さぁどうする？～女性の目線で減災を～	「女性達の防災宣言をつくって」の講話や防災資機材倉庫の見学とアルファ米試食などを行なった。	10月27日	1	30
社会学級共催事業企画会	社会学級と共催で地域に発信する講座の実施に向けて企画会を行なった。	7月8日・9月2日・29日・10月27日・11月25日	5	57
ひなまつりの会	昭和初期の雛人形を飾り、地域の子供達に伝統行事を伝えながら昔あそびやぬりえ等を行なった。	3月2日	1	40
福沢市民センターまつり	福沢市民センターで活動するサークルや地域団体、住民が参加して「展示」や「舞台」等で学習成果を発表し、屋外で「模擬店」等を行なった。	10月3日	1	816
福沢懇談会	事業企画・運営に反映させるため、地域の学校や団体との懇談会を行なった。	7月15日・1月26日	2	22
ジュニアリーダー「かめ吉」とあそぼう！	小学生を対象にゲームやバルーンアートを行なった。	7月28日・12月18日	2	20
市民企画講座 「宮町盛り上げ隊」	宮町の魅力を地区内外に発信することを目的に市民企画会議を行なった。	5月18日・6月8日・22日・7月27日	4	21
市民企画講座 「宮町春夏秋冬今昔物語」マップ作り	「今昔物語」というカレンダーを作成。また、ホームページからハガキ版のものをダウンロードできるようにした。	9月7日・10月19日・11月26日・12月10日・15日・25日・1月10日・2月22日	8	36
ぐるっとサークル探険！？体験！	福沢市民センターを拠点に活動しているサークルの「見学・体験会」を行なった。	5月8日～7月30日	15	53

旭ケ丘市民センター

〔沿　革〕

当市民センターは、地下鉄南北線建設事業の一環として昭和60年6月に開館されました。地下鉄・バスの利便性が非常に良い立地にあり、また近隣は青年文化センター等の学術文化ゾーンとなっています。さらに西側には市民から親しまれている台原森林公園が広がり自然環境にも恵まれています。年間利用者が10万人を越えていることを踏まえ市内全域を視野に入れ、現代社会における課題に取り組み、地域資源・人材を活用した事業展開を推進し多様なニーズに対応する生涯学習の場を提供すると共に新たな地域コミュニティの基盤としての役割を担っていきたい。

〔特色ある事業〕

事業名	旭ヶ丘アート講座「台原森林公園写生会」		
参加者	小学生以上	参加延人数	99人
開催日	全3回　6 月 26 日(土)、6 月 27 日(日)、7 月 3 日(土)		
協力者・協力団体	東北生活文化大学		
ねらい	旭ヶ丘地域の資源である台原森林公園。公園の風景を描くことによって、緑化資源の素晴らしさ大切さを認識、理解する機会とする。また、協力者の大学生との交流による地域コミュニティの新たな活性化も促進される。		
概要・成果	資源の素晴らしさの気付きとなり、自然を描くことにより情操的感情の育成につながった。 展示交流会により、受講生、大学生の交流が図られた。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子ども企画講座「お兄さんお姉さんと一緒！エンジョイクッキング」	大切な食育、子どもたちが自分たちで献立を考えることで食に関する知識を深めてもらう	8月21日・22日・25日	3	168
インリーダー研修会	こども会についての知識や活動に必要な技能を研修することでインリーダーを養成、また、子ども会の充実と活性化を図る	2月5日	1	81
集まれ！元気な旭ヶ丘キッズ	子どもの学ぶ力、考える力の育成を図ることを目的に公共・公益機関などを見学・体験することで子どもの健全育成を図る。	8月4日・10月10日	2	87
アスリートたちの熱い生き方	中学生が興味・関心の高いスポーツの中から車椅子バスケットボールを取り上げ厳しい状況での生き方について触れる	11月16日	1	663
仙台フィルハーモニー管絃楽団共催事業	クラシック音楽に触れる機会を広げることをねらいとする講話とCD鑑賞	8月25日・2月17日	2	81
旭ヶ丘歴史散歩「東照宮・宮町・小田原の歴史を学ぶ」	近隣で身近な東照宮・宮町・小田原の歴史を学び、纏わる史実を学ぶことで地域に対する関心を高め、再発見する機会とする	7月7日・14日・21日・28日	4	96

軽体操でリフレッシュ	地域住民から要望があった健康のための軽体操講座を実施し、地域コミュニティを活性化する	9月8日・15日	2	46
台原森林公園をウォーキングで健康に	地域資源である台原森林公園において、地域住民の健康維持のために正しい歩き方を学ぶ	5月18日・25日・11月2日・9日	4	85
旭ヶ丘老壮大学	高齢者が豊かで充実した生活を送るための情報や幅広い知識を自主的に学習する機会を作る	4月23日～3月4日	12	1348
旭ヶ丘アート講座「台原森林公園写生会」	市民の憩いの場である台原森林公園を描くことによって、資源の素晴らしさ、大切さを理解する	6月26日・6月27日・7月3日・	3	99
市民センターがやってくる！	地域内にある集会所やコミュニティーセンターを会場として講座を開催し、地域活性化を図る	9月9日・11月17日・12月18日	3	85
行ってみよう！聴いて視よう！ステキな雅楽器「笙」の世界へ	旭ヶ丘の演奏家による笙の演奏会で、日本古来の雅楽にふれ、また子育ての講演により、地域の世代間交流、地域活性化を図る	11月3日	1	130
台原森林公園　自然観察しよう！体験しよう！	台原森林公園を地域の高齢者の案内で散策し植物の名前や特徴を学び、「えごのき」がシャンプーになる等の実体験をする	9月11日・9月18日	2	29
子育て応援講座「ママのほっと・タイム」	児童館遊戯室で親子で安心して参加出来る講座を開催し、受講者同士の情報交換をもつ。地域団体と共催し地域ネットワーク活性化を図る	11月26日・1月27日	2	28
安全で安心な暮らしができる地域づくり事業	宮城県避難所運営運営について学んでもらい、地域で災害に強いまちづくりを目指す	6月19日・9月4日	2	47
社会学級共催事業企画会議	地域の学習団体と共催し、事業を企画運営し、地域コミュニティの活性化を図る	6月2日・7月15日・8月31日・9月29日・10月28日・12月8日	6	54
台原中学校PTA共催事業会議	学校、PTA、旭ヶ丘、三本松市民センター四者で青少年が育つ環境づくりに向けて、よりよい事業を展開する	5月27日・6月4日・7月5日・8月2日・12月1日	5	109
「地域に知恵袋をひろげよう！」	地域の高齢者の知恵を若い世代に伝えることによって、知恵を継承して地域に広げ交流・活性化を図る	5月28日・6月19日・8月5日・21日・9月3日・18日	6	24
旭ヶ丘児童館共催事業企画会議	旭ヶ丘児童館と共催事業を企画することで、地域情報を共有し、より充実した地域支援をする	6月30日・9月15日・11月17日・2月16日	4	21
旭ヶ丘市民センターまつり	地域住民や利用団体のふれあいと交流を目的に学習成果の発表や展示を行い、地域活性化を図る	10月16日・17日	2	2630
旭ヶ丘地域懇話会	市民センター事業への提案、地域の課題、ニーズなどについての意見と情報交換、情報収集	6月5日・11月20日	2	31
読み聞かせスキルアップ講座	昨年立ち上った、自主グループ活動の広がりを踏まえ、スキル向上に繋がる講座を開催し、増員につなげ、子ども達が本に親しむ機会とする	8月19日・9月2日・9日・16日・30日	5	87
市民企画講座「おもしろいね！お父さんの企画講座」	市民センターに足を運んでもらえないお父さん世代に、自分達の目線で事業を企画してもらうことにより、家庭教育の一助とし、市民センターの協力者となってもらい、地域活性化につなげる	12月19日・1月23日	2	8

三本松市民センター

〔沿　革〕

当市民センターは、北仙台駅から近く、閑静な住宅街である堤町の中に位置し、西側には雑木林が残されているなど環境に恵まれている。堤町は、現在は窯の火は消えたが、古くから「堤焼き」と「堤人形」の町として知られた歴史のある地域である。

当市民センターは、昭和 62 年 4 月 14 日、泉ヶ岳を眺望できる高台に建設された。駐車場(45 台)、舞台付で約 50 畳の和室と広い体育館(バスケットボールコート 1 面、バレーボールコート 2 面、卓球台 12 台)があり、地域住民の生涯学習の場として広く利用されている。

〔特色ある事業〕

事業名	剪定ボランティア養成講座		
参加者	地域住民	参加延人数	44人
開催日	全6回 4 月 22 日(木)、5 月 13 日(木)、5 月 20 日(木)、6 月 3 日(木)、6 月 10 日(木)、6 月 17 日(木)		
協力者・協力団体	剪定ボランティア「ガーデニング三本松」		
ねらい	当該地域は一人暮らしの高齢者が多く在住している。これらの方々の住環境整備と防犯をお手伝いすることを目的として、植栽の手入れ・庭木剪定の学習と技術を取得して地域活動するボランテイアを養成する。		
概要・成果	当センターを会場にして基礎講座の座学講座を 1 回開催後、台原中学校の校庭にある樹木を実際に剪定しながらの実技講習を 4 回開催した。 21 年度に同講座から立ち上がったボランティア団体(ガーデニング三本松)との交流会(6 月 17 日開催)を経て、新たに4人のボランティアメンバーの加入があった。21年度の秋季剪定に続き、22 年度は春季剪定であったので、季節に応じた剪定方法等技術向上が図られた。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子育て支援講座～楽しもう!わたしらしい子育て	子供の心身の発達、離乳食とおやつの作り方、親子ビクス等を学び、保護者同士の交流・情報交換をする。	2月4日・11日・25日	3	48
インリーダー研修会	子ども会活動に必要な知識・技能を学ぶ。レクリエーション、ゲームの進め方、行事プログラムの立て方など。	2月5日	1	81
荒巻塾	仙台城下・荒巻村の歴史・伝統・地域特性を学ぶ。	7月28日・29日	2	6
三本松寺子屋	昭和の遊び、館外学習、異文化、伝統工芸などの体験学習。	9月11日・18日・10月16日・23日	4	41
アスリートたちの熱い生き方	台原中学校PTA共催事業企画会議で企画開催の事業。車椅子バスケットボールの監督、選手からアスリートとしての生き方や情熱等について聞く。講話と実技。	11月16日	1	663
くらし悠遊塾	地域での仲間作り、健康作り、伝統工芸、郷土について学ぶ。	10月8日・15日・11月5日・12日	4	80

北仙台セミナー	北仙台地域の歴史・伝統を再確認する。奥州街道、堤焼き、堤人形、神社仏閣、梅田川について。	5月15日・22日・12月14日・2月19日・3月5日	5	81
シニアパソコン講座	パソコンの基本操作、色々な機能の使い方、文書作成、カレンダー作り。地域住民と専門学校生・中学生との世代間交流。	8月17日・18日・19日・10月27日・28日・29日	6	86
三本松老壮大学	講話(歴史・健康・生活)・実技(歌・軽体操)工場見学、自主企画講座(学びあい)。	5月12日～3月9日	10	406
七夕を作ろう	七夕の由来を学び、仙台伝統七夕づくり、地域商店街へ飾りつけ。	7月3日・10日・17日・24日・27日	5	71
3on3バスケットボール大会 ｉ ｎ三本松	代表者会議組合せ抽選会、体育館個人利用同士によるバスケットボール大会。世代間交流の促進。	2月19日・3月6日	2	116
七夕コンサートin三本松	地元ユニットによるアカペラ、高校生による演奏など。	7月31日	1	80
台原中学校PTA共催事業企画会議	四者共催事業で、青少年の健全に育つ環境づくりに向けての企画会議。	5月27日・7月29日・9月7日・11月9日・16日・12月7日	6	121
三本松市民センターまつり	利用サークルの学習成果の発表と地域住民同士の交流。舞台発表、作品展示、駄菓子や、食事などの各種コーナー。	10月17日	1	1500
利用者懇談会	センター利用サークル(スポーツ・文化・育児・音楽団体)との意見交換、情報の共有。	6月12日・1月12日	2	71
もっと知ろうよ!台原	市民企画講座。地域の歴史や課題を調べ、資料を作成し、地域を歩く。	10月19日・26日	2	31
剪定ボランティア養成講座	地域の住環境と防犯を支援するため、剪定ボランティアを養成。剪定の基礎知識学習、剪定技術の取得。	4月22日・5月13日・20日・6月3日・10日・17日	6	44
市民企画会議	企画員と一緒に実施に向けた手法・課題について検討。テーマ設定、企画書作成、反省会。	7月1日・29日・8月26日・9月10日・16日・10月19日・26日・11月17日	8	19
図書まつり	本離れの進む今日、図書に関わる様々なイベントを行ない、本に親しむ機会の提供と図書室の利用者数の増加を図る。音楽会、絵本の料理、仙台弁による昔話、人形劇、川柳など。	5月25日・26日・27日・28日・29日・30日	6	515

片平市民センター

〔沿　革〕

片平市民センターは平成元年、児童館とコミュニティ防災センターを併設して、東北大学農学研究所跡地に開館した。市内中心部に位置し、交通が便利なことから町内会など地域の団体ばかりでなく、全市的な市民活動の場として盛んに利用されている。

また市民センターが立地する地区は、市街地にありながら広瀬川がつくりだす独特な地形や、仙台城や経ヶ峯の豊かな自然に囲まれたところである。さらには歴史的な資源に恵まれ、大学の研究機関などが隣接する。

こういった地域の資源を活かした生涯学習プログラムの提供や、市民の自主的な活動の支援、併設する児童館との共催事業の提供を通して、地域に貢献している。

〔特色ある事業〕

事業名	市民企画会　片平平成風土記を活用した「まち歩き」マップ作成		
参加者	地域住民	参加延人数	113名
開催日	全11回 4 月 27 日(火)、6 月 3 日(木)、6 月 5 日(土)、6 月 17 日(木)、7 月 15 日(木)、9 月 3 日(金)、9 月 4 日(土)、9 月 25 日(土)、10 月 1 日(土)、10 月 31 日(日)、11 月 27 日(土)		
協力者・協力団体	片平地区連合町内会、青葉区家庭健康課		
ねらい	21 年度に引き続き、片平地域の地域資源を活かしながら、「片平地区平成風土記」を活用したマップを作成する。マップを活用した講座を開催し、地域を再発見するきっかけ作りを促しながら、まち歩きを通して健康づくりの気運を高める一助とする。		
概要・成果	21 年度作成の「花壇・大手町―霊屋下地区」に引き続き、2 年間の事業の集大成として、22 年度は「大広会―柳町―北目町地区」「米ヶ袋地区」のマップを作成した。名所ポイントの抽出や校正などの編集会議を経て、3 地区それぞれの「マップ検証のためのまち歩き」を行うなど、各企画員の地域への愛着と熱意に支えられた講座となった。「まちづくり会」始動の気運の中で、今後の活動へのつながりが期待される。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
新米ママ・プレママ応援講座「ハッピーママの気晴らしカフェ」	参加者同士の情報交換や子育てへの不安やストレスの軽減のため、「ベビーサイン」「親子ビクス」等の講座を開催した。	5月28日・6月11日・18日・7月23日・10月20日・27日	6	102
ようこそ本の世界へ～もうすぐ来るね！クリスマス～	幼児から高齢者まで、世代を超えて「本」に触れる機会を提供した。「絵本の読み聞かせ」「折り紙ワークショップ」「絵本展示」等	12月4日	1	40
キッズ・サイエンス	小学生を対象に、科学のお話や工作を通して科学の面白さに触れ、異年齢交流と科学への興味の発掘につながった。	5月8日・6月12日・7月10日・8月21日・11月6日・12月18日	6	154
～せんだいアート～ぼくたちカメラマン！	子どもの視線で街の風景を撮り、想像力や創造力を育んだ。「かたひらwaiwai広場」で作品を展示・発表	9月25日・10月2日・16日	3	10

学社連携事業「社会参加へはじめの一歩」	社会人としてのコミュニケーション能力をつけ、多様な体験の場を提供した。「就活に向けてのセミナー」「ビジネスマナー」「クッキング」等	7月16日・23日・2月8日・15日	4	214
インリーダー研修会	子供会のリーダー養成のための研修会　児童：「行事プログラムの作成」 世話人：講話「子供会育成について」情報交換等「みんなで楽しめるゲーム」を体験	1月29日	1	40
杜々かんきょうレスキュー隊　みどりなライフ	「ウォーキングマップでまち探検」「環境カルタで遊ぼう」等を体験し、子どもの環境学習と地域住民との異年齢交流につながった。	2月26日・3月5日	2	14
どんどこ！巨大紙相撲大会片平夏場所	「かたひら夏祭り」実行委員会との共催により、「かたひら夏祭り」に参加し、「紙相撲大会」「お化け屋敷」の企画を通して地域内コミュニティ活性化に貢献した。	7月29日・8月6日・22日・29日	4	79
片平は歴史の杜	歴史的素材として片平界隈の樹木をテーマに、まち歩きやワークショップを通して地域の魅力を発見した。	10月22日・29日・11月5日・12日・19日	5	160
「対物宮城の最」を読む	「対物宮城の最」を題材として、明治時代の仙台の時代背景や、資料の探し方や読み方を学習した。	1月22日・29日・2月5日・6日・9日	5	62
手話要約筆記付き「見る見るわかる」講座	聴覚障害者向けに社会教育施設である博物館を紹介し、常設展の解説を通して仙台の歴史に触れる機会を提供した。	9月16日	1	16
片平丁小学校社会学級連携事業	片平丁小学校社会学級や子育て支援サークルと共に、子育て世代のニーズを探り、「フィンランドの教育」「児童虐待防止講座」を開催した。	5月18日・12月15日	2	48
新たな“学び”ー自分誌作りからみえてくるもの	自分誌を書く作業を通して、参加者同士のコミュニケーションを図り、傾聴のスキルを学んだ。	10月15日～2月3日	13	128
シニア麟経堂	社会福祉協議会と共催で、地域の高齢者サロンへの出前講座を開催した。「フィルム上映会」「漫談」「健康体操」等	6月20日・7月2日・8月6日・9月10日・2月8日・3月11日	6	109
かたひら四季暦	地域住民が気軽に市民センターに集い、「花火講座」「仙台藩作法」「コンサート」等に参加し、片平地区の魅力に触れ、交流を深めた。	8月5日・10月22日・12月3日・3月9日	4	138
「片平地区平成風土記」を活用したまち歩き	「かたひらウォーキングマップ」を活用して、片平地区を3コースに分かれてのまち歩きを開催し、片平界隈の魅力の発掘した。	10月31日	1	44
かたひらwaiwai広場	住民の交流と親睦を深める場を提供し、生涯学習を通して、活力ある地域づくりを推進した。	10月16日	1	400
片平市民センター懇話会	地域内の町内会、学校、諸団体との情報交換、課題抽出	4月27日・10月26日	2	40
市民企画会　平成風土記を活用した「まち歩き」マップ作成	マップ作成・まち歩きを目的とした市民企画講座	4月22日～11月27日	11	113
読書推進のための市民企画会	子どもから大人までを対象とした読書推進を目的とした市民企画講座	4月22日・29日・5月14日・6月4日・18日・25日・7月9日・9月17日・12月16日	9	58

水の森市民センター

〔沿　革〕

当センターは、広く市民の憩いの場として親しまれている水の森公園の南口に立地し、自然休養林を背にした高台にあり自然環境に恵まれている。管内は水の森、東勝山、桜ケ丘、川平等の閑静な住宅地を擁しているが、初期に開発された住宅団地のため、高齢化率の高い地域である。当センターは、児童館・温水プール・防災コミュニティセンターを併設する複合施設として平成 2 年 9 月にオープンした。斬新な外観は地域のランドマークとして親しまれ、一年を通して多くの利用者が訪れる地域の生涯学習の拠点的存在である。2 階の広いメインホールは、地域住民の情報交換や憩いの場として高齢者から幼児までいつでも賑わいをみせている。

〔特色ある事業〕

事業名	中学生・高校生企画講座「子どもの広場」		
参加者	中高生、地域の親子	参加延人数	225人
開催日	全4回　7 月 18 日(日)、9 月 19 日(日)、10 月 17 日(日)、10 月 23 日(土)		
協力者・協力団体	北仙台中学校、北仙台中学校PTA、プロジェクトM		
ねらい	北仙台中学校の中学生ボランティアが中心になって企画実施する事業を展開する。様々な人々との繋がりの中から、児童生徒の健やかな育ちを支援する学びの機会とする。高齢化や少子化が進んでいる地域で、住民が協力し合うことで地域活性化や世代間交流を促進する。		
概要・成果	市民センター地域まつり「子どものひろば」を実施。中学生・ジュニアリーダー・市民企画グループによるゲームコーナー運営、収穫体験を行った。中学生ボランティアとジュニアリーダーが活躍し、企画から実施までをやり遂げ、確かな手ごたえを感じていた。 中学生、ジュニアリーダーとプロジェクトMのコラボレーションが成功し、異世代間交流が深まり、活気あふれるまつりを展開することができた。また、地域の人々の出会いの場として、住民同士のコミュニケーションが図られた。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
ドロップス読み聞かせの会	月2回第2・第4水曜日に読み聞かせの会を実施。幼児親子を対象に10:30～11:00(和室)、小学生を対象に15:00～15:30(図書室)、てあそび・絵本・紙芝居など。	4月14日～3月9日	23	858
笑顔のママって大好き！	①講話「子育てママに伝えたいこと」②制作「ペーパークラフト-カード作り」③実技「いっしょに遊ぼう！」④調理実習「甘くないパウンドケーキ作り」	9月3日・17日・10月1日・8日	4	71
おやこで山学校「水の森公園をまるごと楽しもう！」	①館外学習「水の森公園自然観察会」②館外学習「昆虫採集」③昆虫の標本作り④館外学習「キャンプ場でいも煮作りにチャレンジ」	5月3日・6月4日・7月31日・10月8日	4	85
水の森キッズクラブ	①花と野菜の種まき・植付け②緑のカーテン用苗の植付け③緑のカーテン・夏野菜の観察と除草作業④白菜・大根の種まき⑤調理実習「仙台の郷土食」⑥調理実習「秋の野菜収穫といも煮会」	5月8日・6月5日・7月3日・8月21日・28日・10月16日	6	85

インリーダー研修会	子ども会の児童に向けて講話「インリーダーとは」・演習「〇〇会をやってみよう」・レクレーションゲーム。子ども会の世話人に向けて講話「子ども会活動について」・情報交換・レクレーションゲーム。	1月29日	1	72
水の森のセカンドライフを楽しむ	講話「ボランティアについて」、水の森キッズクラブサポート、梅ジュースづくり、子どものひろば用野菜作り、畑の手入、梅の木の剪定、講話・実習「野菜作りの年間計画」	4月17日～2月26日	20	125
家族の笑顔が見たいから「年越しぞば」に挑戦！	①②③南会津伝承の裁ちそばのデモンストレーション・試食・実習	11月11日・25日・12月2日	3	15
自分磨きサロン	講話「おしゃれと魅力学」	12月8日	1	33
水の森老壮学園	①開講式・健康講話とシャンソン②講話「月と星」③講話「福祉用具の使い方」④リフレッシュ体操⑤地域まつり演芸発表⑥講話「藤原氏と東北の武士」⑦コンサート⑧市民の中の映像記録⑨文集作り⑩閉講式・講話「おしゃれ学」	4月15～3月3日	10	763
中学生・高校生企画講座「子どものひろば」	①②③企画会議・準備④市民センター地域まつり「子どものひろば」実施（中学生・ジュニアリーダー・市民企画グループによるゲームコーナー運営・収穫体験）	7月18日・9月19日・10月17日・23日	4	225
星のおはなしと天体観望会	①講話・天体観望会「いっしょに見よう！土星の輪」②講話「見えるかな？木星のしまもよう」	5月21日・10月15日	2	83
水の森防災学校	①講話・情報交換「すぐに役立つ！情報交換会」②避難所運営ゲームHUG	6月26日・9月30日	2	72
社会学級との企画検討会	①②③④企画会議⑤自分磨きサロン実施⑥反省会	4月20日・5月13日・10月15日・11月30日・12月8日	6	24
水の森市民センター地域まつり	①開会・公開演技・老壮学園演芸発表②舞台発表・チャリティバザー・住まいのメンテナンス実演・物産販売・閉会①②作品展示・軽食喫茶・お茶席	10月23日・24日	2	2280
水の森音楽隊「ミュージックベルで楽しもう！」	①自己紹介・選曲②③④⑤ミュージックベル練習⑥地域まつりオープニングで演奏	9月18日・25日・10月2日・9日・16日・23日	6	77
水の森懇話会	①水の森市民センター地域まつりに参加している利用団体代表と施設利用について懇談②北仙台・桜丘中学校区内の団体代表や地域連携担当者と情報を交換し、市民センター事業について懇談。	11月12日・2月26日	2	48
ジュニアリーダーと遊ぼう	①夏休みだよ！みずあそび（ゲームとシャボン玉遊び）②おいでよ！児童館まつり（ストラックアウトコーナー）③冬を楽しもう（ゲームとバルーン作り）	7月29日・10月23日・12月19日	3	156
市民企画委員会	①②③⑥企画会議④⑤「星のおはなしと天体観望会」講座実施⑦⑧⑨「年越しそばに挑戦」講座実施⑩反省会	4月2日～12月2日	10	16

貝ケ森市民センター

〔沿　革〕

“貝“をモチーフにしたデザインが館内随所に配された当市民センターは、平成５年４月に児童館を併設して開館した。閑静な住宅街の中にあって、その瀟洒な建物は隣接する貝ヶ森中央公園とともに地域のシンボルとして親しまれている。

また、風光明媚な貝ヶ森地区は自然の風物に富み、さらに高等教育機関や文化施設などにも恵まれており、国際交流の盛んな場所でもある。

当市民センターは、可動式の舞台を持つ多目的ホール、会議室、調理台付き小会議室、水屋付き和室等があり、地域住民の学習・スポーツの場として、また、憩いの場として活用されている。

〔特色ある事業〕

事業名	ガーデンサポーター フォローアップ講座		
参加者	子ども、一般成人	参加延人数	115人
開催日	全9回 4 月 22 日(木)、5 月 27 日(木)、6 月 17 日(木)、7 月 15 日(木)、8 月 19 日(木)、9 月 16 日(木) 、10 月 21 日(木)、11 月 18 日(木)、12 月 16 日(木)		
協力者・協力団体	共催:貝ヶ森児童館、貝ヶ森子育て支援クラブ「花時計」		
ねらい	もともと緑の多い当館の敷地内であるが、これまでは雑然となっていた建物の周辺をきちんと緑化・美化することで市民センター・児童館のイメージアップにつながりより多くの市民が来館するようにする。地元の受講生が地域の小学生等と共に作業することにより、子ども達に土に触れさせ、世代間交流が図られ、地域の緑化による憩いの場、潤いの場が形成される。		
概要・成果	市民センター・児童館の中庭が整備でき、児童クラブの子ども達が活用できる庭となり、季節ごとの花々で利用者の目を楽しませることができた。さらに、話し合いながら作業をすることで、受講生同士の交流が図られ、地域の繋がりが生まれた。また、幼児、小学生、中学生との異世代間交流も行われた。来年度も自主ボランティアグループとして活動を継続することとなった。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
食育講座	お父さんの参加を促すとともに、親子がふれあい食生活を見直すきっかけとすることを目的に、食育をテーマとした講話と調理実習、野外での火おこし体験を行う。	5月29日	1	58
幼児をもつ親のための防災・安全講座	幼児を持つ親が安心して子育てできる環境づくりを図るため、災害への備えや緊急の際に必要な知識を講話で学ぶ。	9月3日・10日	2	13
子ども木工講座	子ども対象の木工工作体験を、地域の成人と保護者の協力を得て実施することで、世代間交流を図るとともに、青少年の健全な成長を促す。	10月30日・11月20日	4	127
子ども会インリーダー研修会	子ども会の活性化を目的に、次年度世話人とインリーダーを対象にした講話と実技(レクゲームなどの講習)を行う。	2月26日	1	99

青少年のための減災講座	小・中学生が防災への意識を高めることを目的に、減災を学べるように作られたすごろくやカルタで災害への備えについて学んだり、とっさの時に対応できるように応急手当の実技を行う。	10 月 19 日・23 日・2月16日	3	114
水の実験教室	夏休みを利用して小学生が水の大切さを認識し環境への意識を高めることを目的に、暮らしの中で使われている水について講話と簡単な実験を通して学ぶ。	7月22日・29日・8月5日	3	51
星空映画祭スタッフ会議	星空映画祭に小・中学生や地域住民の意見を反映させるとともに、参加意識を持ってもらうことを目的に、ポスター作成や当日の運営などについて話し合う。	7月24日・30日・31日・8月7日・24日・28日・9月4日	7	51
仙山線途中下車の旅	近隣の仙山線駅で下車して訪れることのできる貝ヶ森、北山、国見、落合、愛子付近の名所、旧跡について、講話を聞きながら現地学習することで、地域の魅力を再発見する。	9月4日・11日・25日・10月2日	4	99
ノルディックウォーキング講座	ノルディックウォーキングを実技で学ぶことで、住民の健康づくりと参加者同士の交流を図る。	9月30日・10月7日・14日	3	37
身近な野草・樹木～観察と活用～	地域内の植物、自然環境への関心を高めることを目的に、「青陵の森」の植生の観察、薬草に関する講義、薬膳料理の調理実習を行う。	9月8日・11月10日・12月8日	3	86
免疫力アップで乗りきるこの冬～風邪を寄せつけない“まち”にしよう～	まちぐるみで健康管理への意識を高めることを目的に、地域講師を活用した講話と実技で、冬の健康管理について学ぶ。	10月8日・15日	2	43
貝ヶ森シニア学園	地域の高齢者の健康と生きがいづくりを目的に、現代生活に必要な様々な内容（医療・文化・歴史・介護予防運動など）を講話と実技で学ぶ。また、企画委員による講座の企画・運営への参画を促進する。	5月26日～3月2日	10	576
シニアのための軽体操	地域の高齢者の健康づくりと健康寿命の延伸を目的に、介護予防の知識・技術を講話と実技で学ぶ。	5月13日～9月16日	10	260
星を見る会	学校と地域住民がお互いの理解を深め交流することを目的に、仙台高等学校を会場に、天文地学部の協力のもと星の観察会を行う。	12月11日	1	13
豆まき会	地域住民の世代間交流を目的に、住民の協力のもと、アトラクションやゲーム、豆まき会などを行い、節分という伝統行事を体験する。	1月29日	1	143
星空映画祭	親子のふれあいや地域住民の世代間交流を目的に、夜間に屋外での映画会を行う。	8月28日	1	606
貝ヶ森サロンコンサート	気軽に市民センターを訪れてもらうことを目的に、センター利用団体によるコンサート、及び仙台国際音楽コンクール関連イベントの「街かどコンサート」を開催する。	6月20日・8月28日・12月17日・3月4日	4	931
社会学級生による講座企画会	貝森・国見・八幡社会学級生が一堂に会して、地域の特性・問題点を探り、地域活性化を目指す事業を企画・実施するための会議を行う。	5月20日・6月3日・7月1日・10月8日・15日	5	18
貝ヶ森地区文化祭	地域の連帯と親睦・交流を目的に、貝ヶ森地区の住民、及び当市民センター利用者による作品展示・演芸発表、お茶席、テント村等の催しを実施する。	11月6日・7日	2	2,000
地域懇話会	地域の現状や課題・ニーズを把握し今後の事業運営に役立てることを目的に、地域諸団体の方やセンター利用のサークルとの情報交換や意見交換のための会議を行う。	11月27日・3月1日	2	27
ガーデンサポーターフォローアップ講座	平成21年度に養成したサポーターの力量向上と地域の美化に協力するサークルとしての自立をめざして、花壇の手入れや植物に関する知識を講話と実技で学ぶ。	4月22日～12月16日	9	115
「貝ヶ森・国見」講座企画会	地域住民が仲間づくりをしながら、市民センターと協働して地域課題を解決するための糸口をつかみ、地域ニーズに合った事業を企画・実施するための会議を行う。	5月12日・6月9日・7月14日・9月8日・10月13日・11月10日・12月8日	7	49

中山市民センター

〔沿　革〕

当市民センターは、旧中山コミュニティセンターを増改築し、平成 7 年 4 月に児童館を併設して開館した。中山地区でも国見ヶ丘地区に近い閑静な住宅地に位置し、月急山公園に隣接していて自然環境に恵まれている。

中山・川平地区は、戸建て・集合住宅のほか、近年は大型マンションが増え、新しい町並みを形成している。旧中山街道の長い坂道には、商店が建ち並び、月に一度「街道市」を開催するなど、活気がある。また、近くに福祉施設「せんだんの杜」「せんだんの里」等福祉関係の施設があり、福祉に関する住民意識と学習意欲の高い地域である。

〔特色ある事業〕

事業名	市民企画講座　なにか体験し隊		
参加者	中学生・高校生	参加延人数	84人
開催日	全8回 5 月 9 日(日)、6 月 20 日(日)、7 月 18 日(日)、8 月 8 日(日)、9 月 11 日(土)、10 月 24 日(日)、11 月 7 日(日) 、11 月 14 日(日)		
ねらい	中学生・高校生に集まってもらい、今一番興味があることや必要としている情報を企画会で話し合い、地域や地域以外の中高生が今やってみたいことを軸にしてコミュニケーションを深め自己成長の一環とする。		
概要・成果	企画会を重ね、11 月 7 日に小学生を対象にした講座「ジュニアのそばでそばを打とう」を開催した。講座内容の企画から広報（ちらし・ポスター）、試作、当日の運営など全て中高生が手作りで行った。企画会では活発な意見交換も行われ、受講生同士の交流が深まり、コミュニケーション能力も高まった。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
楽しいお父さん講座	父親が子育てに関わるヒントや情報を提供しながら交流、親子で参加できる工作や料理教室も取り入れる。	7月3日・25日・8月22日・9月25日	4	50
はじめての子育てプレパパママ講座	はじめての出産を迎える夫婦を対象に沐浴実習や妊婦体験、アロマテラピーや音楽鑑賞などを行い、交流を図り、子育てへの不安を解消する。	6月19日・7月3日・17日	3	32
かわだいらお楽しみ劇場	センターから遠い川平地区への出前講座。未就園児親子のための人形劇と手遊び。	6月25日	1	51
わんぱくたいけんin かわだいら	川平小学校を会場にスポーツやゲーム、工作等を行う。ジュニアリーダーも参加し、活動の場をひろげる。	7月17日・11月20日・2月5日	3	120
ジュニアのそばでそばを打とう	小学生がそばを打つことで「食」に関心を持ち、その大切さを学ぶ。企画者の中高生や地域講師との異世代間交流も図る。	11月7日	1	8
インリーダー研修会	子ども会活動の活性化を図るために中山・川平・貝ヶ森地区の5年生と世話人を対象に運営方法や行事の持ち方などについて研修する。	2月26日	1	99
それゆけ！たいけん！ドキドキッズ	長期休暇や土日に小学生のための居場所作りとしての事業を展開、紫外線ビーズや楽器作りなどの工作や調理、スポーツなど。	7月28日・8月25日・9月29日・11月25日・12月21日・2月19日	6	110

北欧フィンランドに学ぶ	福祉の先進国といわれるフィンランドの歴史や教育、高齢者の暮らしなどについて学ぶ。	11月10日・17日 12月1日	3	82
仙台七夕をつくろう	仙台の年中行事伝統七夕について学び、実際に作成する。	7月9日	1	23
ノルディックウォーキング講座	ノルディックウォーキングをテーマに健康作りへの意識を高め、継続できるようサークル結成につなげる。	10月13日・20日・27日	3	46
うまいすぺ！？みやぎの料理	郷土料理を学ぶことで宮城の食材の豊かさを知り、地産地消を促す。はらこ飯、しそ巻き、仙台白菜を使ったキムチを作る。	7月21日・10月6日・12月11日	3	44
パソコンで思い出を編集しよう	初心者を対象にデジカメ写真を編集し、アルバム作りをすることでパソコンに親しむ。地域の高校を会場に開催し、生徒と受講生との交流もはかる。	8月4日・5日	4	74
楽しく元気にフラダンス講座	腰痛予防になるフラダンスを体験することで継続して運動を行うことの楽しさを知り、交流を図る。サークル化につなげ、センター祭にも参加。	7月6日・13日・27日・8月3日	4	61
緑のカーテンをつくろう	地球温暖化が進むいま、身近な生活の中でできることを考え、実践してもらう。センターに緑のカーテンを作り、植えつけや効果について学ぶ。	5月29日・8月21日	2	35
昼食を作ってみよう	高齢者世帯の食の自立改善と地域活動への参加を促すために調理の初歩を学び、交流する。	10月19日・26日・11月16日	3	34
中山銀鈴倶楽部	地域の高齢者を対象に音楽会、歴史・健康・映画など様々な講座を開催し、生涯学習の充実を図り、受講生同士の交流を深める。	5月7日～3月4日	10	322
「おかのまち中山Dハーモニー」音楽会	地域の音楽団体や学校、センター利用サークルの発表の場であり、地域住民との交流の場としての音楽会。コーラス、ギター、吹奏楽など。	11月27日	1	310
地域で防災	緊急時の共助活動や防災意識を高めてもらうためにトイレの組立訓練や講話、地震体験などを行う。	9月12日・18日・10月16日	3	545
地域で防犯	高齢者をねらう詐欺犯罪防止対策についての寸劇と講話。管内の犯罪の傾向と対策を知り、防犯活動について考える。	3月5日	1	44
中山市民センターまつり	センター利用団体・地域住民・地域諸団体の発表の場及び交流の機会を提供。児童館と共催し、防災をテーマにイベントを企画。	9月18日	1	1,500
中山市民センター懇話会	地域の課題やニーズを探る。①センター利用サークル②町内会や老人クラブ・福祉団体等③教育関係	11月18日・12月4日・16日	3	38
手作り布おもちゃ	子育て中の母親でも参加できるボランティア養成講座。汽車やボールなどの布おもちゃを作る。	2月17日・24日・3月3日	3	18
市民企画会「なにか体験し隊」	中学生・高校生に集まってもらい、興味があることや必要としている情報について考え、同世代のための講座を企画する。	5月9日・6月20日・7月18日・8月8日・9月11日・10月24日・11月7日・14日	8	84
サークル一日体験講座	地域の方々を対象に中山市民センター利用サークルの活動を紹介し、一日体験・見学の機会を設ける。	6月15日・16日・17日・18日・19日・20日	6	65

折立市民センター

〔沿　革〕

当市民センターは、仙台市中心部から西方約 5 kmの地点に位置している。東側には青葉山丘陵、南側には里山蕃山、北側には広瀬川が流れ、西側にはその広瀬川によって形成された河岸段丘が開け、遠くには奥羽山系を眺望できるという自然環境に恵まれた場所に立地している。平成 7 年 5 月 30 日に市内 50 番目の市民センターとして、折立児童館・コミュニティ防災センターを併設して開館した。

施設の特色としては、可動式のステージが備わった多目的ホール、照明付の舞台を備えた 49 畳の和室、調理用機器を完備した会議室兼調理室等があり、地域住民の生涯学習・スポーツ・コミュニティづくりの場として、広く利用されている。

〔特色ある事業〕

事業名	防災教室　～僕たち私たちの力～		
参加者	折立中学校 2 年生	参加延人数	150人
開催日	全1回　 5 月 14 日(金)		
協力者・協力団体	仙台市立折立中学校、仙台市立折立中学校 PTA、 折立地区町内会連合会、折立地区社会福祉協議会、 仙台市民生委員児童委員協議会、青葉区消防署片平出張所		
ねらい	災害時を想定し、消防署職員の指導のもと、普通救命救急や AED 等々の講習を受け、災害時におけるボランティア活動に対する意識の向上に努める。又、地域の諸団体と連携することにより地域の防災力を高める。		
概要・成果	折立中学校との連携事業。普通救急救命、AED 体験のほか、諸団体の協力により炊き出し訓練を実施できた。地域と学校と市民センターが協力して防災の意識を高める良い機会となった。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
小学生の生活習慣を学ぼう	子どもの生活習慣の乱れがどれほど子どもの成長に悪い影響を及ぼしているか、どうすれば正しい生活習慣を身につけることができるのかを学び、子どもの健全な成長につなげる。	6月19日	1	17
布の絵本を手づくりしようー託児付ー	子どもの情操教育に好ましい布絵本をつくり、また集まることで、母親同士のコミュニケーションが培われ、しいては健全な子どもの成長の一助となることが期待できる。	8月25日・9月22日・10月27日・11月17日・12月15日	5	39
親子たいけん隊	地域の自然に触れたり、地域の伝統文化を学ぶ体験を通して、子ども達の心身の健やかな成長を培う。また親子、異世代間の交流を図る。	7月18日・10月9日・11月13日・1月8日	4	76
インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、子ども会のリーダーとなる児童および世話人を対象に、子ども会についての知識やレクリエーションゲームの研修を行い、地域おこしを目指す。	2月26日	1	112
防災教室～僕たち私たちの力～	災害時を想定し、消防署職員の指導のもと、普通救命救急やAED等々の講習を受け、災害時におけるボランティア活動に対する意識の向上に努める。又、地域の防災力を高める。	5月14日	1	150

おりたてメンズクラブ	団塊世代を対象に定年後の生きがいづくりや活力ある生活を目指し、社会参加を促す機会を設ける。また、自主企画を取り入れながら積極的な活動の展開を図る。	6月25日・7月30日・9月17日・10月8日・11月26日・1月28日・2月18日	7	60
パソコン講座ーエクセルで出来るいろいろー	講師は地域人材を活用し、相互に学びあい、住民の交流を推進するとともに、習得したことを生かし、町内会活動やふれあいまつりに役立てていくことをめざす。	5月13日・27日・6月10日・24日・7月8日・22日	6	69
折立老壮大学	高齢者が様々な情報や学習を通し、月に一度仲間と学び合う事で、生きがいのある生活を送る機会を提供する。	5月20日　～3月3日	12	410
おりたて歌声ひろば	地域住民が気軽に集い交流できるような、コミュニティーづくりを目指し、童謡、唱歌等の音楽を通しての地域住民の交流の場を提供する。	9月14日・10月5日・19日・23日・11月9日	5	101
折立風のメロディーコンサート	市民センターを拠点に活動している音楽愛好家たちの発表の場、住民が気軽に音楽を楽しみ交流できる場を提供する。また地域の夏祭りとして位置づけ、地域の活性化を目指す。	7月24日	1	150
秋の料理教室と地域交流会	老人クラブ会員の指導で郷土料理の教室を開催し、郷土料理の伝達と、地域の高齢者と若い世代の交流を図り、地域の活性化を目指す。	9月29日	1	75
お笑い元気塾	笑うことでストレス社会や新型インフルエンザに負けない元気な心と体をつくり、地域をより一層元気にする。	12月9日・1月13日・2月10日	3	84
折立マップを作る	地域の自然や史跡等の魅力を広く発信するためにマップ作りを行う。	7月9日～1月14日	11	85
折立救命救急講座	災害時における安否確認、AEDの使い方、心肺蘇生などを行い、災害時に備える。	1月26日	1	16
災害に強いまち	宮城県沖地震の災害に対し、万が一避難所での生活が余儀なくされた場合を想定し、“避難所での生活について”学習し、防災意識や共助意識を再確認し、災害に強いまちを目指す。	10月2日	1	40
折立ふれあいまつり	地域で活動している団体やグループ、市民センターなどが中心となり、日頃の練習の成果や作品の発表を行う。また、地域との協働で、融和と活性化を図る。	10月23日	1	985
懇話会意見交換会	地域住民と課題や資源の情報を交換し合い、より良い地域づくりの方向性を探る。また、要望や意見を市民センター事業に反映させ、パートナーシップづくりに役立てる。	5月29日・9月11日・2月19日	3	34
市民企画会議「地域のマップを作ろう」	折立地域の豊かな自然や史跡等の魅力を、地域の大切な資源として保護活用していくためマップを作成する方法を、地域住民が主体となり企画検討する。	4月23日・5月7日・6月18日	3	28
地域発信「ボランティア情報紙わ・和・輪」作成講座	折立地域を中心に活動するボランティアグループやボランティア活動者の情報提供の場として情報紙を作り、ボランティア活動を支援する。また、地域住民が活動するきっかけづくりを促す。	6月9日・7月23日・11月10日	3	18
サークル体験会	市民センターや地域で活動しているサークル団体を見学・体験できる機会を設け、生涯学習への関心を高める。また、活動の紹介と新規会員獲得への一助とする。	5月26日・8月24日・25日・26日・27日・28日	6	38

広瀬市民センター

〔沿　革〕

当市民センターは、広瀬川の中流域に位置し、周辺にはサイカチ沼や月山池、蕃山などの豊かな自然と、子愛観音を初めとする数多くの旧跡が残る。また、近年は住宅の造成や商業地域の開発が進み、人口が著しく増加している地域である。

当市民センターの歴史は古く、昭和24年大沢・広瀬両村に村立公民館が建設されたことに始まる。昭和62年仙台市との合併により仙台市宮城公民館となり、条例改正により仙台宮城市民センターと改称、平成3年6月に名称を広瀬市民センターと改めて現在の庁舎に移転した。

施設は広瀬文化センター・広瀬図書館との複合施設で、地域住民の交流と生涯学習活動の拠点として広く親しまれ利用されている。

〔特色ある事業〕

事業名	「愛子の田植踊」を踊ろう！～次世代につなぐ広瀬の伝統		
参加者	地域の小学生の親子	参加延人数	589人
開催日	全24回 6 月 19 日(土)、6 月 26 日(土)、7 月 3 日(土)、7 月 17 日(土)、7 月 27 日(火)、7 月 28 日(水)、7 月 29 日(木)、8 月 21 日(土)、8 月 28 日(土)、9 月 3 日(金)、9 月 4 日(土)、9 月 19 日(日)、10 月 9 日(土)、10 月 23 日(土)、10 月 31 日(日)、11 月 13 日(土)、11 月 14 日(日)、11 月 27 日(土)、1 月 8 日(土)、1 月 29 日(土)、2 月 6 日(日)、2 月 12 日(土)、2 月 19 日(土)、2 月 20 日(日)		
協力者・協力団体	広瀬小りんどう社会学級、愛子小社会学級、愛子の田植踊保存会		
ねらい	後継者不足に悩む貴重な地元の伝統芸能を途絶えさせないために、市民センターと社会学級が連携して伝承の機会を提供し、2校に跨る小学生が学校の枠を越えて集い、踊りやお囃子などを共に学ぶ事により、地域の中に伝承の仕組みが復活することを目指す。		
概要・成果	本来小学生が踊る踊りを、長年に渡る後継者不足により70代の方々が踊っていることから、まずは小学生世代に田植踊を知ってもらう場として昨年度より開催した。今年度は6つある踊りの後半を学んだ。参加を親子でとした事により、自宅へ帰ってからも一緒に練習するなど受講生の意識が高まり確実な習得へと結びついた。 地域の関係各所にも認められ発表の要請を受け、5回の大きな舞台発表の機会を得て自信にもつながった。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
みんなで子育て子愛ネット	親子で3B体操やリズム遊び。ミニコンサート。託ボ「ポッケの会」と親子遊び。愛子児童館を見学し簡単な工作を体験。愛子保育所では子育てについての話。読み聞かせボランティアによる人形劇の後茶話会で交流した。	5月14日・6月18日・7月9日・9月17日・11月12日・12月10日・1月14日	7	213
仙台市子ども会インリーダー研修会	子ども会の意義などについて学習し、リーダーとなる子ども達には行事のプログラムの立て方やゲームを、世話人には子ども会の活動状況やジュニアリーダーの要請の仕方などについての話をした。	2月26日	1	123
子ども体験講座☆夏の思い出	地域の大人から子どもに昔の遊び伝える体験講座。サイカチ川で川遊びを通して世代間交流し、愛子の自然の素晴らしさを体感した。	8月19日	1	27

ひろせ山がっこ	企画員立案提供による、小学校へ泊まっての夜のプール体験やダンボールハウス作り、地区まつりへの出店、だんごさしなどを、小学生が体験し世代間交流した。	7月24日・10月31日・1月15日	3	351
ひろせを学ぶ地元学「愛子考」	地域住民が愛子の歴史・民俗・暮しなどを講話と現地散策を組み合わせて学んだ。学んだ成果を昨年立ち上がった自主サークルと共にセンターまつりで発表した。	5月26日～11月30日	17	200
サイカチウォーキング ～ひろせの魅力発見！～	広瀬に残る豊かな自然を地域住民や仙台市内の住民に広く知ってもらうため、サイカチ沼周辺を地域で活躍している「広瀬ウォーキングクラブ」がコースの策定から当日のガイドまで主体となって散策した。	5月21日・7月2日・10月1日・11月26日	4	53
学びの百科 「ひろせ生活倶楽部」	地域や生活に密着した事柄から受講生自らがテーマを選び出し多目的に学習した。愛子小・広瀬小ワンコインプロジェクトの話、米粉料理、受講生を講師としたフラ、サプリメント、介護保険、仙山宝さがし、愛子小学校の児童と昔遊び交流。	5月13日～2月3日	7	257
老壮大学「若返り教室」	地域の高齢者が健康で生きがいのある豊かな生活を送るため、低栄養予防、脳トレ、ストレッチ体操、童謡コンサート、地域の歴史など多目的に学んだ。	5月27日・6月24日・7月22日・8月27日・9月30日・12月10日・3月10日	7	404
ひろせ芝居塾	住民が地域に残る史実「天明の雨乞い」を芝居に作り上げ、愛子小学校と広瀬小学校の児童・地域住民を観客に広瀬文化センターのホールで発表した。その後サークルとして自立した。	6月9日～9月15日	20	688
「愛子の田植踊」を踊ろう　～次世代へつなぐ広瀬の伝統	小学生の親子が地域の伝統芸能「愛子の田植踊」の踊りやお囃子を学び、豊齢まつり・上町芸能まつり・地区まつり・市民文化祭・天文台まつり・ひろせ学習フェアで発表した。	6月19日～2月20日	24	589
冬のあったかおはなしコンサートinひろせ	ミニステージにて地域で活動している読み聞かせボランティアグループ「ひなたぼっこ」と東北大生サークル「ドルチェ」によるお話とカントリー音楽のコンサートを開催した。	12月23日	1	105
ひろせ地域連携企画会	「愛子の田植踊」を題材とした講座の実施運営。「朝食アンケート」を取り、地域の主婦と小学生の母親達が漬物などの伝統料理を通して交流した。	4月22日～12月1日	10	105
ひろせ山がっこ企画会	小学校や地域などで活躍する人々が企画員となり、小学校へ泊まりダンボールハウスを作ったり、地域の伝統行事であるだんごさしの体験の機会を作り子ども達に提供した。	5月15日～3月10日	10	123
第22回広瀬市民センターまつり	広瀬市民センターで活動しているサークル・団体が一年間の学習の成果を、展示・ステージ・体験等を通して発表した。	10月30日・31日	2	1,750
生涯学習活動発表会「ひろせ学習フェア」	宮城地区のサークル・団体や主催事業で学んだ受講生が一年の活動成果を大舞台で発表・披露した。また実行委員会が主体となって地域の伝統芸能「愛子あいや」を会場全体で踊った。	2月19日・20日	2	1,667
ひろせｻﾏｰﾅｲﾄｺﾝｻｰﾄ2010	野外ステージエリアを会場にキャンドルを並べ夏の夜のイベントを開催し、地域で活動している団体の音楽や踊りの発表の場・出店の場を提供して、賑わいのある空間を作り出した。司会はジュニアリーダーが務めた。	7月31日	1	300
ひびけ！大合唱 「ひろせの歌声」	地域の歌が好きな人や合唱サークルが学習フェアの出演を目標に交流を図りながら合唱の練習をし、ひろせ学習フェアで発表した。	1月15日・29日・2月12日・19日・20日	5	279
ひろせ懇談会	サークルや地域団体の代表、主催講座受講生と市民センター事業について意見交換をした。	7月3日・11月18日	2	15
ジュニアリーダー「くまっこ」まつり	市民センター全館を会場にジュニアリーダーが小学生向けのまつりを企画・運営した。お化け屋敷・ミニステージ・工作・もぐらたたき・スタンプラリーなどで小学生と交流した。	7月23日・24日	2	153
市民企画会　再発見！ひろせの底力2010	地域内の都市開発により昨年まで調査に取り組んでいた川が暗渠化される事を受け、開発計画の中に川の重要性や歴史を地域に発信できる何かを盛り込むための提案作成し開発者や設計会社に提案した。	4月24日～1月19日	14	86
サークル1日体験	広瀬市民センターで活動しているサークル活動を地域の方々に周知し、体験を通してサークル参加を促した。	4月28日～7月30日	17	84

宮城西市民センター

〔沿　革〕

昭和 52 年 4 月に宮城町西部地区公民館として開館した。その後、昭和 62 年 11 月 1 日宮城町が仙台市と合併して仙台市宮城西公民館となり、平成 2 年 4 月 1 日から仙台市宮城西市民センターと改称した。当市民センターは、宮城地区西部の自然環境に恵まれた緑豊かな山間地に位置している。近年過疎化が進み、少子・高齢化の現状にあるが、地域の活性化を図るため町内会・老人クラブ等の各種団体と連携を密にして社会情勢の変化に伴う学習要望に応え、地域住民と共に歩む生涯学習を推進している。また、地域住民の自主活動の場、交流の場として広く利用されている。

〔特色ある事業〕

事業名	出前講座		
参加者	地域住民	参加延人数	261人
開催日	全10回 7 月 31 日(土)、9 月 12 日(日)、10 月 26 日(火)、12 月 9 日(木)、12 月 14 日(火)、 12 月 17 日(金)、1 月 27 日(木)、2 月 3 日(木)、2 月 8 日(火)、2 月 10 日(木)		
協力者・協力団体	宮城西地区管内10町内会		
ねらい	交通事情が不便な地域住民にも公平な生涯学習提供の場とし、社会生活及び文化の向上を図りながら、市民センター事業の理解を深める。		
概要・成果	講座日程・内容について、出前希望団体と協議のうえ決まる。講座開催場所・講座参加者については、町内会運営下にある集会所を会場とし、各開催地域が参加者を募集し、とりまとめる。講師相談及び講師謝礼は市民センターとする。 講座内容（地域づくりに関すること・教養学習・健康管理関係・社会生活家庭生活に関すること他希望するもの）		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
託児ボランティアさんと遊ぼう	幼児の豊かな情操を培うために託児ボランティアと一緒に遊ぶ	7月1日	1	12
インリーダー研修会	子ども会リーダーの児童及び世話人を対象に子ども会活動を活性化するための研修	2月19日	1	24
親子ふれあい教室	学校休業日に、異なった地域の親子が共に自然体験をし、よりよい親子関係を築く	6月5日・7月8日・9月17日・1月8日	4	162
女性教養講座	女性同士で体験を共有することで仲間作り、地域作りに役立てる。	7月9日・8月24日・10月14日・12月10日	4	51
炭焼き体験教室	西部地区の生活を支えた伝統産業である炭焼きの作業工程と技術を体験	9月14日・21日	2	17

出前講座	交通事情が不便な地域住民に、公平な生涯学習を提供する場とし、生活文化の向上をはかり市民センター事業の理解を深める。	7月31日～2月28日	10	261
山の幸講座	西部地区の特性を活かした自然素材を、地域住民の指導により採取、調理、保存などの情報交換し、地域交流に役立てる。	5月14日・9月24日	2	41
自然体験教室	宮城西部地域の豊かな自然の魅力を再発見し、地域財産としての認識を深める。	6月19日・7月16日・9月18日	3	39
おらほ自慢	地域それぞれの郷土料理を出し合い、交流する。地域素材を使った料理を作りだし、地域還元する。生きがいづくりと地域活性化。	12月15日・24日・1月7日・2月9日・16日	5	102
老壮学級	高齢化が進むこの地域で高齢者が心豊かでいきいきと暮らせるよう様々な内容の学習機会を設け生き甲斐づくりとする。	6月17日・24日・7月8日・22日・29日・8月26日・9月9日・1月20日	8	367
地域交流研修会	地域づくりの中心的・指導的立場にある関係者を対象に研修をとおして団体の活動の充実を図る。	3月5日	1	87
宮城西市民まつり	西部地域住民が一同に会し手作りのまつりを展開することで地域交流、コミュニティーづくりに役立て、地域活性化を図る。	11月23日	1	1,791
地域懇談会	15町内会、各種団体の情報交換の場とし、様々な会場で懇談会を設け地域ニーズ把握と市民センター事業運営に役立てる。	7月29日・8月20日・9月30日・12月5日	4	145

※ 改築工事のため、平成22年8月1日から休館中

大沢市民センター

〔沿　革〕

当センターは、青葉区の西北部に位置し、田園地帯や緑多い丘陵地帯など閑静な自然環境の中、平成 2 年 5 月、児童館・コミュニティ防災センターを併設し大沢市民センターとして開館した。

当地域は、古い史跡が点在する歴史ある地域でもあり、古くからの村落と、成熟化が進行する団地、開発が進む新興団地が混在する中、若い世帯の増加が著しく更に発展が見込まれる。このような地域の状況を背景にその特性を活かし、地域住民の活動・交流の拠点として社会変化に伴う市民のニーズに対応する生涯学習事業を展開している。

〔特色ある事業〕

事業名	地域資源活用講座「芋沢川の住民票をつくろう」		
参加者	小学生（低学年は保護者同伴）	参加延人数	42人
開催日	全3回　7 月 22 日(木)、7 月 29 日(木)、8 月 5 日(木)		
協力者・協力団体	地域在住の自然観察指導員、地域の見守りサポーター、NPO 法人水魚方式研究会		
ねらい	地域資源である芋沢川を題材とし、水辺の生き物の生態・川の環境を学習し身近な自然への理解と関心を深める。子どもなりに水循環全体の仕組みや環境保全の意味を考える契機とする。		
概要・成果	芋沢川で定点観察をし川の生き物の種類と生態を調べたり、川の上流から中流に移動観察し自然条件による生き物の分布を比較してみるなど、地域の自然を体験学習した。 外遊びの経験が少ない小学生が、芋沢川に入って自分たちの手で川の魚や昆虫を捕まえ、その特徴や生態を知ることができた。また、川に沿って歩きながら川とその周辺の自然に親しみ、動植物の観察を通して自然環境と生き物の関係について考えるきっかけとなった。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
大沢子育てひろば「おやこDEきらりん」	ラフターヨガ、親子でお散歩、コーチング、ふれあいコンサートなど、親子のふれあいと参加者同士の情報交換の機会をつくり、地域ぐるみによる子育て支援を図る。	7月2日・8月6日・9月9日・10月8日・11月5日	5	140
大沢地域畑で会いましょう～親子編～	幼稚園児や小学生の親子が夏野菜の種まきや苗の定植から生長の観察、収穫、調理実習までを、地域講師のほか老人クラブと畑のサークルの支援を受けながら体験し学ぶ。	5月21日～9月4日	10	104
市民企画「ママの食卓安心講座」	「食育」をテーマに食品添加物の危険性や自然食品の基礎知識、旬の野菜の活用方法などについてお話を聴き、学びながら調理実習を行う。	6月24日・7月8日・23日	3	36
インリーダー研修会	子ども会のリーダーとなる小学生と世話人となる保護者が、子ども会の運営の仕方や活発な活動を行うための方法を学ぶ。	2月20日	1	38
地域資源活用講座「芋沢川の住民票をつくろう」	芋沢川で定点観察をし川の生き物の種類と生態を調べたり、川の上流から中流に移動観察し自然条件による生き物の分布を比較してみるなど、地域の自然を体験学習する。	7月22日・29日・8月5日	3	42

大沢暮らし百科	給与明細の見方や社会保障制度の理解、無添加石けん作り、絹の古布を再利用して袋物作り、下半身強化ストレッチ、焼酎のお話、天文台見学、ドイツのお国柄など様々な切り口で生活に役立つ情報を学ぶ。	6月3日・7月1日・9月2日・10月7日・17日・11月11日・12月2日・1月13日・2月3日	9	172
老壮大学 「大沢朗々学園」	「おとく体操」や夏野菜を使った調理実習、睡眠のお話など健康に関するもの、仙台市博物館・芹沢美術工芸館の見学やクラシックコンサートなどの芸術鑑賞、緑茶の知識や山野草の話など多方面にわたり学習する。	5月20日～3月10日	10	339
地域の達人に学ぶ 「男の料理」	中高年の男性が蕎麦打ちや餃子つくりを学び、家事に関心を持ち積極的に関わるきっかけ作りをすると共に、地域で活躍する講師の生き方や社会とのかかわり方を学ぶ。	6月18日・7月16日	2	31
地域の伝統文化にふれる	「川前鹿踊」の大沢市民まつりにおけるステージ発表や「芋沢田植え踊り」の紹介とお話、仙台市文化財課による「田植え踊り」の歴史紹介など、地域の特色ある伝統文化について学ぶ。	10月17日・11月20日・27日	3	68
スポーツで地域交流 「大沢・川前グラウンドゴルフ大会」	大沢・川前の学区民体育振興会と連携し、大沢小学校を会場に、地域住民がグラウンドゴルフをしながら交流と親睦を深める場を創出する。	7月14日・9月12日・18日	3	62
みんなおいで！大沢まるごとブックフェア	リサイクル古書市、子どものためのお話会と大人のためのお話会、昔話とピアノ演奏のコラボ、図書室ガイドツアーなどをし、地域住民が本に親しみ読書への関心を高める機会と場を提供する。	12月5日	1	65
大沢地区地域防災安心ネット	地震や天候不順による土砂災害の可能性について、地域の地形や地質を考え過去の災害映像を見ながら話を聴いたり、非常時のライフライン確保について各機関の対策を聴くなど、防災への関心と積極的な取組み実現のための情報や知識を学ぶ。	5月15日・6月12日・7月3日・11月13日・1月15日	5	161
ロビーへようこそ	身体を動かす「おとく体操」、コーラスやギター演奏などの音楽に親しむコンサート、読み聞かせや紙芝居、すばなしなどの朗読会を開き、その活動を地域に紹介すると共に活躍の場を提供する。	5月29日・9月25日・1月22日	3	135
大沢市民まつり	大沢小学区連合町内会と大沢地区社会福祉協議会による実行委員会を中心に企画準備し、地域住民に日頃の学習成果発表の場を提供すると共に地域住民の親睦と交流を図る。	10月16日・17日	2	2403
大沢地域懇談会	町内会、社会福祉協議会、老人クラブ、防犯協会、消防関連団体等地域の代表とボランティアサークルの代表が集まり、地域の課題について意見交換や要望など話合いの成果を今後の事業活動に活かす。	11月6日・12月11日・1月29日	3	32
昔遊びを伝えよう	地域の高齢者が、お手玉や独楽回し、おはじき、竹とんぼなど昔のこどもの遊びと遊び方を工夫して小学1年生に紹介し、一緒に遊びながら異世代間交流を実現すると共に高齢者の活躍の場作りの一助とする。	11月12日・19日・26日	3	31
みんなの企画会議（即書編）～ひろげよう！心をつなぐブックワールド	地域から本や読書に関心の高い企画員が集まり、地域住民が本に親しむ機会と場の創出について話合い、大沢市民センターの図書室や地域の人材を活用した「みんなおいで！大沢まるごとブックフェア」を準備開催。	6月23日～2月2日	10	27
おかあさんの企画会議～食育編～	子育て中の市民企画員が「食」に関するテーマで話合いを重ね、「ママの食卓安心講座」を準備開催。	4月21日・5月21日・6月8日	3	11

落合市民センター

〔沿　革〕

平成 6 年に開館した当市民センターは、広瀬川、齊勝川、蕃山などの自然環境と、 仙山線（陸前落合駅）、国道 48 号線仙台西バイパス、作並街道という交通環境に恵まれた地域にあります。 また、宮城県立こども病院を始めとする医療機関、栗生小学校、宮城県宮城広瀬高等学校などの教育機関、宮城消防署などの公共施設、更には大型商業施設も整備され、人口が増加している地域でもあります。

その様な地域環境の中で、当市民センターは設立以来、施設利用および生涯学習講座等を通じて、地域コミュニケーション活性化、まちづくり推進の拠点として広く地域住民の方々から愛され、利用されてきました。

〔特色ある事業〕

事業名	栗生・西館・五郎八姫ー五郎八姫ってどんな人？		
参加者	成人	参加延人数	116人
開催日	全5回　6 月 12 日(土)、7 月 3 日(土)、8 月 28 日(土)、9 月 4 日(土)、9 月 11 日(土)		
協力者・協力団体	瑞巌寺、天麟院		
ねらい	伊達政宗公長女「五郎八姫」が晩年、栗生・西館で暮らしていたという説がある。しかし、転入してきた人だけでなく、古くから住んでいる人たちにもあまり知られてはいない。地域の歴史や、五郎八姫について学習し、当地域が持つ歴史的価値を再認識する機会とするとともに、地域への愛着や理解を深める。		
概要・成果	市民企画事業から生まれた講座で、専門家三氏による様々な角度からの講話と、松島瑞巌寺と天麟院を訪ねて五郎八姫について学んだ。また、学習者同士での意見発表会を行なった。この講座を通して学んだ方々のより深く追求したいとの思いからサークルが誕生した。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
ママいっしょにあそぼう（前期）	幼児親子が仲間づくりのきっかけとなるような、親子ふれあい遊びや集団遊びを行なった。	6月3日・7月1日・8月5日・9月2日	4	91
ママいっしょにあそぼう（後期）	幼児親子が仲間づくりのきっかけとなるような、親子ふれあい遊びや集団遊びを行なった。	10月7日・11月11日・12月2日・1月6日	4	103
はじめてのベビーマッサージ	赤ちゃんとママと時にはパパも入って、音楽に合わせて体を動かしたり、簡単なマッサージでスキンシップを重ねた。語り合いの場も持った。	5月22日・6月12日・26日7月10日・24日	5	95
こどもへ伝える性のマナー	子どもの性の発達、性のマナーとルール、家庭の役割、性被害の予防と対策についてなど、具体的な例や対処法を学んだ。	6月2日	1	20
仙台市子ども会インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活動する児童、および世話人を対象に、講話や行事プログラムの立て方、レクレーションゲーム、交流会等を行なった。	2月26日	1	112
昔のくらし、今のくらし	電気の伝わり方や昔ながらの塩づくり、火力発電所、ガス局工場見学、かまどでのご飯の炊き方など現代の便利なくらしと昔のくらしを体験した。	6月26日・7月23日・8月4日・11月6日	4	90

親子で挑戦　夏休み消防士体験	消防署を見学し応急救護訓練、放水訓練、はしご車搭乗、初期消火訓練、地震体験車に搭乗し社会施設の役割と目的を学習した。	7月30日	1	76
各駅停車・仙山線	地域にある仙山線について、役割や歴史を学び、結果をリーフレットにして地域向けに発表した。	5月19日・6月2日・23日・30日・7月14日・28日	6	57
栗生・西館・五郎八姫五郎八姫ってどんな人	栗生に住んでいたと言われている五郎八姫についての人物像など、館外学習も取り入れ学習した。また、学習者同士での意見発表会を行なった。	6月12日・7月3日・8月28日・9月4日・11日	5	116
落合実年学級	歴史、文学、消費者トラブル対策などの講話や軽体操、詩吟などの実技、環境施設見学、落語や音楽を鑑賞し、さまざまな分野を学習した。また調理実習で受講生同士の交流の場も設けた。	4月15日～3月2日	12	298
宮城県宮城広瀬高等学校連携事業	宮城広瀬高校の生徒を講師とし、卓球・書道を学び、市民センターまつりでは子どもたちに工作を指導した。また生徒の案内で高校の文化祭を見学し地域の人が高校を知ることができた。	7月17日・24日・31日・8月7日・9月11日・10月17日・1月6日・7日	8	484
真冬のハワイアン	ハワイアンバンドとセンターを利用しているフラダンスサークルのジョイントコンサート。観客参加型で実施した。	12月4日	1	39
紙芝居で地域の魅力再発見	地域に昔から伝わる蕃山の雨乞いの話の大型紙芝居を、紙芝居作成講座受講生が読み手となり、小学校や老壮大学、センターまつり等で上演した。	4月24・6月23日・9月16日・10月17日	4	207
1日前の防災再点検	コミュニティ防災センターの物資活用、災害用伝言ダイヤルの使い方、救命処置、身近な物を使った応急処置を体験学習した。また、非常食の試食も行なった。	9月12日・26日	2	51
知っていれば支えになる認知症	地域で高齢者を見守ることについてと認知症サポーター養成講座を受講し、10年後地域で暮らしていくために今からどんな事に取り組む必要があるかを考えた。	11月19日・26日・12月3日	3	86
第14回落合市民センターまつり	サークルによるデモンストレーション、演技発表、作品展示、あそびのコーナー、読み聞かせ、工作コナー、地域の方による模擬店、フリーマーケットなどがあるおまつりを実施した。	10月17日	1	2,400
地域懇話会	地域の各種団体、教育機関、行政機関の代表者が集まり、情報交換や意見交換をし、落合・栗生地域のニーズの共有を図った。	9月1日・3月4日	2	23
「五郎八姫の里を学ぶ」企画会	五郎八姫が栗生に住んでいたという言い伝えについて、地域の人が学べるような講座の企画をした。	4月3日・10日・17日・20日・6月5日・8月28日・10月2日	7	33
「初心者のための地域学」企画会	地域についてこれから学びたい人向けの講座の企画会。企画会の中でも学習したいという企画員の希望で、昔話を聞いたり、地域を実際に歩いたりした。	11月10日・17日・12月15日・1月19日・2月16日	5	17
サークル体験講座	落合市民センターで活動している25サークルの見学・体験ができる一週間を設けた。	5月25日・26日・27日・28日・29日・30日	6	34

吉成市民センター

〔沿　革〕

仙台市北西部の吉成と南吉成小学校区の中間位置に、市内 51 番目の市民センターとして児童館及びコミュニティ防災センターを併設し平成 8 年 4 月にオープンした。吉成地区は住宅地と商店街が共存し、市内北部と西部を結ぶ交通の要衝となっている。当センターは、吉成学区と南吉成学区の2連合町内会を管轄としており、吉成学区は 7 町内会約 7,600 人、南吉成学区は 7 町内会約 11,000 人、総世帯数約 7,000 世帯（平成22年3月26日現在）となっている。現在南吉成学区を中心に人口も増加の傾向にあることも含め、当市民センターの利用件数及び利用者数は増加の傾向にある。

〔特色ある事業〕

事業名	市民企画委員会「青陵の森の活用を考える」		
参加者	成人	参加延人数	91人
開催日	全9回 4 月 24 日(土)、5 月 8 日(土)、5 月 15 日(土) 、5 月 22 日(土)、5 月 29 日(土) 、7 月 3 日(土)、8 月 7 日(土) 、9 月 4 日(土)、1 月 22 日(土)		
協力者・協力団体	仙台市立仙台青陵中等教育学校、権現森自然研究会、青陵の森愛好会、緑を守り育てる宮城県連絡会議		
ねらい	吉成地域の住宅地の中で唯一自然の姿を現存する青陵の森を、地域の憩いの森として、また子どもたちの教育資源として活用する方法を、地域住民自ら学校と一緒に考えることにより、森を大切にし、環境を守る気持ちを育み、学校と地域住民の交流となることを目的とする。		
概要・成果	青陵の森の活用を考える市民企画会議から2回の講座を企画・開催した。市民企画委員と青陵の森愛好会とで森のマップを仙台青陵中等教育学校監修のもと作成し、地域の小学生や住民と共に、森の自然と触れあい交流を深めることができた。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
育児は育自	子育てを通して自分自身も成長することを知るきっかけとし、より良い子育てと仲間作りを図る。	9月1日・15日	2	17
吉成チャイルドスクール＜食育＞	小学生を対象に、日本の伝統と食の大切さを伝える	11月27日・12月11日・1月29日	3	50
ジュニアスクール「童々塾」	青少年の生活力UPと居場所作り	7月24日・31日・8月20日・28日・12月5日・2月5日・12日・19日	8	177
インリーダー研修会	子ども会のリーダーとなる児童や世話人を対象に、活動に必要な知識を習得する	2月26日	1	33
市民企画講座 新健康づくり講座シニアチアダンスを楽しむ	自立した健康管理や予防医学は、地域で生涯健康で暮らすことに通じる	10月1日～12月17日	12	236

市民企画講座青陵の森を歩いてみませんか	四季折々の森の様子を観察し、親しめる森とし市民の交流を図る。	7月22日・9月11日	2	55
老壮大学 きらめきスクール	高齢化社会に対応した講座の開催	5月14日～3月4日	11	437
達人に学ぶ	地域で特技を持っている人の特技や知識を生かす講座	11 月 19 日・26 日・12月2日	3	37
みんなのコンサート	地域の小中学校と東北福祉大の吹奏楽の共演。地域つくり、世代間交流を図る。	1月15日	1	471
市民企画講座ニュースポーツで地域交流	地域の高齢者、小学生の参加による軽スポーツによる地域交流大会	11月13日	1	61
地域で支え合うまちづくり	健常者と障害者・高齢者が共に住み慣れた地域で生活するためにできることを学ぶ	7 月 22 日・12 月 16日	2	32
吉成出前サロンⅢ	地域の集会所等に出向き市民センターのサークルを活用してサロンを開催する。	10月7日・2月18日	2	89
吉成市民センターまつり	地域の市民、団体および利用者の発表の場として実施する文化フェスティバル	10月23日	1	723
吉成地域団体交流会	地域活動する各種団体の一堂に会しての交流会	1月26日	1	51
地域懇談会	地域課題や、市民センター活動に対する要望などを把握するほか活動の理解促進を図る	11月26日・2月3日	2	8
続・ブックトークボランティア養成講座	ブックトークボランティアのスキルアップと増員を図る。	5 月 27 日・6 月 3 日・10日・17日・24日・7月1日	6	138
市民企画会 みんなで楽しく吉成健康クラブ2010	市とセンターと市民で考える、地域で暮らし地域で生きるために健康づくり	5 月 19 日・6 月 9 日	2	9
市民企画会 地域交流スポーツ大会	2地域の体育振興団体とセンターが連携して、地域交流のスポーツ大会を企画する	4 月 13 日・6 月 5 日・13日・22日・23日	5	74
市民企画会 ～青陵の森の活用を考える～	学校と連携し青陵の森を地域に生かす講座を企画し、地域活性化を図る。	4 月 24 日～1 月 22日	9	91

木町通市民センター

〔沿　革〕

当市民センターは、木町通小学校の全面改築に伴い、平成16年4月に小学校と児童館、コミュニティ防災センターとの複合施設として開館した。市民センター施設は、5･6 階に位置し全館バリアフリー対応になっている。また、屋上緑化を施し、一部は児童館の庭園として利用している。

木町通地区は市の中心部に位置し、官公庁･学校･病院･商業施設･マンションが建ち並び、従来からの一戸建ての住宅はほとんど見られなくなった。人口では若い単身世帯や乳幼児の子育て世代の 20 代を筆頭に 30 代、40 代、50 代、60 代と続き、この地域の特性と言える。

都心の中の複合施設の利点を生かし、地域との連携を図りながら講座を通して学びの場を提供することを目指している。

〔特色ある事業〕

事業名	木町通地域懇談会		
参加者	地域団体の代表者	参加延人数	66人
開催日	全4回　5 月 27 日(木)、9 月 2 日(木)、3 月 3 日(木、2 回)		
協力者･協力団体	木町通学区連合町内会、木町地区社会福祉協議会、木町地区民生委員児童委員協議会、他小中学校、PTA、地域団体、ボランティア団体など計 20 団体		
ねらい	地域住民や市民センター利用団体、さらには地域内の企業、学校、各種団体を対象に、地域課題や学習ニーズについての情報交換、意見交換を行い、市民センターの事業運営に対する地域ニーズを把握する。		
概要･成果	木町通地域「各種活動団体連絡会」が発足して二年目、この連絡会の会議へは毎回全ての団体が出席している。また、地域内の様々な活動予定を集約した「平成 23 年度地域活動年間カレンダー」を作成するに当たっては、参加団体の協力によりスムーズに作業を進めることができ、お互いの情報交換が進んだ。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日･期間	回数	参加延人数
ママの息抜きほっとカフェ	子育て中の母親を対象に、子育てや絵本についての講話や調理実習、軽体操などを実施。	6月23日～2月16日	10	104
子どもの居場所プロジェクトみんなあつまれ！あそび塾	地域の子どもたちの放課後や学校の休日の遊びと居場所づくりのための工作、料理、お菓子づくり、テーブルゲーム、手芸、など各種体験講座を実施。	5月26日～2月5日	14	255
親子で体験しよう～仙台再発見～	小学生の親子を対象に七夕や、館外学習で地産地消をテーマにみそ作り体験等を実施。	7月25日･9月11日･2月19日	3	55
仙台市子ども会インリーダー研修会	児童はグループに分かれアイデアを出し合いながら子ども会行事を考え発表し、世話人は子ども会世話人の役割を講話、ゲームを通して学ぶ。	1月29日	1	40

木町通小学校PTA花火まつり	あらゆる世代の方々が気軽に参加出来る場として、地域の祭りに欠かせない盆踊りを取り入れ、木町通小学校PTA花火まつりに参加。	9月1日・9日・17日	3	30
健康講座～絵手紙で脳を活性化～	絵手紙作成と健康の関係、絵手紙の基本について学び、作品を完成させ市民センターまつりに作品を展示する。	8月27日・9月3日・10月1日・15日	4	53
木町通メンズ倶楽部	成人男性を対象に、健康管理と脱メタボをテーマに、低カロリーで身体にやさしい洋食・和食・中華料理を実施。	12月25日・1月22日・2月26日	3	46
私にも出来ます～障害のある人もない人も一緒に学ぼう～	障がいのある人とない人との交流を目的とした「料理」「生け花と抹茶体験」講座の実施。	11月16日・12月14日	2	31
社会学級連携事業「裁判所へ行こう」	社会学級生と一般参加者が裁判所へ行き、実際の刑事裁判を傍聴し、裁判員制度の理解を深めた。	9月28日	1	14
社会学級連携事業「エコ料理」	社会学級生と一般参加者が家計にまた、環境にもやさしい料理の講話を聞き、大根一本等を使い切る調理を実施。	1月25日	1	12
木町通老壮大学	5月開講式～2月閉講式まで8回、歯・生活の知恵・後見人制度・東洋医学等の講話、健康体操、映画会、仙台文学館の企画展、新春交流会実施	5月12日・6月9日・7月14日・9月8日・10月13日・11月10日・1月19日・2月9日	8	406
レッツエンジョイ!木町通ナイトタイム	市民センターへ足を運ぶ機会の少ない企業人や、昼間働いている地域の方々に、気軽に参加出来る夜の講座を実施。	6月17日・8月26日・11月18日・1月27日	4	78
社会学級連携事業会議	地域の身近な課題やニーズの情報交換を行い、2講座「裁判所へ行こう」「エコ料理」を企画実施.。	6月17日・9月28日・12月8日・1月25日	5	41
木町通市民センター・児童館まつり	市民センター利用サークルの発表の場の提供や地域の方が参加できるイベントの開催などを、地域の各種団体と連携し運営。地域活性化を支援。	10月22日	1	750
木町通地域懇談会	地域住民や市民センター利用団体、地域内各種活動団体20団体による地域課題や学習ニーズについての意見交換、情報交換会。	5月27日・9月2日・3月3日	4	66
木町通サポーターズ養成講座手芸編	サポーターズの人材・内容の充実を図り、幅広く活動を広げるために、地域住民を対象にグループまたは個人として活動できるよう養成講座を実施。	6月16日・30日 7月17日・9月9日・16日・10月16日	6	32
図書ボランティアスキルアップ研修会	図書の貸し出しを始めた図書ボランティアの方達に図書室の運営に必要なノウハウや、図書ボランティアとして活動を継続するためのスキルアップのための講座を実施。	11月10日・25日	2	22
市民企画会議	障がいのある人とない人との交流を目的とした講座の企画のための会議	7月6日・21日・8月26日・9月6日・10月20日・11月16日・12月14日	7	28
木町通サークル体験会	講座から立ち上がった団体とセンターを利用する団体の体験会を実施。	6月22日・23日・25日・7月1日	5	22

中央市民センター

〔沿　革〕

仙台市の公民館は、昭和21年に在仙文化人有志による民間団体として設置され、その後、昭和24年に仙台市公民館条例が制定されて「仙台市公民館」が発足した。各地域の公民館設置とともに、昭和48年には中央公民館と改称。昭和58年には榴岡図書館とともに現在地に開館し、平成元年には中央市民センター・公民館となったが、翌年には中央市民センターと改称した。

当市民センターが位置する仙台駅東口周辺は、高い利便性を生かした企業や学校、マンションが混在するとともに、古い歴史ある地域としての顔も併せ持っている。そういった立地条件から、最近増加している核家族とともに、市内各方面からの利用者や夜間の利用頻度も高く、多様な学習活動、市民活動が活発である。

〔特色ある（地区館）事業〕

事業名	子育てママのお散歩マップづくり～ママたちの東口活用術		
参加者	地域在住の親子	参加延人数	103人
開催日	全13回 8月27日(金)、9月3日(金)、9月10日(金) 、9月17日(金)、10月1日(金)、10月8日(金)、10月15日(金)、10月22日(金)、11月5日(金)、11月9日(火)、11月17日(水)、11月19日(金)、11月26日(金)		
ねらい	子育て世代が多い地域で「お散歩マップ」を作ることで、子育ての知恵や情報を共有しながら支え合う仲間づくりを進める。また、地域情報の交換や収集をすることで、街づくりが進むこの地域への関心を高め、積極的に関わる気運を高める。		
概要・成果	地域で子育てをする母親に必要な情報を収集・整理し、情報マップ「ひろがる東口マップ　探検！ママのまち」を作製した。講師のアドバイスを受け、掲載情報内容の整理、レイアウト、パッケージデザイン、切り折り作業など、すべて参加者で行った。講座日以外にも自主的に学習活動を行い、講座が参加者同士の交流を深めるだけでなく、地域を見直すきっかけにもなった。地域で子育てする母親だけでなく、父親、祖父母にも役立つ情報マップができあがったことが、さらに参加者の達成感を高めた。		

〔平成22年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子どもの力を引き出すために～お父さんお母さんのためのコーチング	コーチングの手法を取り入れた家庭でのコミュニケーションについて学び、子どもの自立性を認識し、家庭教育について考える機会とした。	5月15日・22日・29日	3	51
子育てママのお散歩マップづくり～ママたちの東口活用術	地域で子育てをする母親に必要な情報を収集・整理し、情報マップを作製した。	8月27日～11月26日	13	103
お父さんお母さんのためのおもしろ科学実験室	親子、保護者同士のつながりを深め、理科離れを解消するために家庭でできる科学実験を体験し、主催事業「東口ゆうえんち」にスタッフとして参加した。	7月10日・17日	2	25
和みカフェ～子育てを楽しもう	遊びや運動を通して親子のコミュニケーションを深め、子育ての体験談を話したり、情報交換をすることで母親同士の仲間づくりを進めた。	5月27日・9月16日	5	52
子育てママのお助けスプーンマッサージ	子育てに不安などを抱えている母親が身近にあるものを使って、子どもの体調をケアするスキンタッチを学んだ。	12月14日・12月16日	2	21

東口ゆうえんち	少人数で遊ぶことが増えている子ども達に、小学生同士や大人の企画員、親子と大勢で遊ぶ機会を提供した。	5 月 15 日･7 月 17 日･10 月 2 日･11 月 27 日･2 月 26 日	5	303
まちの名人に学ぼう	地域の人材を講師として活用し、市民センターをより身近に感じてもらうとともに、地域の人材発掘の機会とした。	12 月 1 日･2 月 24 日･3 月 5 日	3	50
世界一受けたいコミュニケーション講座	笑顔や第一印象と、傾聴やストレス学を学び、人と人とのつながりの楽しさを知り、円満な人間関係を築くための学習の機会を提供した。	10 月 7 日･21 日･11 月 3 日･18 日･12 月 2 日･16 日	6	164
子育て世代のための暮らしマネージメント	子育て世代が時代の変化に対応した生活を送るため、家事や家計など社会力を高める機会を提供した。	10 月 14 日･21 日･28 日	3	43
地震から自分と家族を守ろう	若い世帯や高層マンションに暮らす住民を対象に災害の備え、地域での防災意識を高めるため、避難や緊急時の対応、応急処置などを学んだ。	6 月 3 日･10 日･17 日	3	34
介護予防講座	地域に住む高齢者が健康な生活を続けられるよう、軽体操や健康について学んだ。また、開催を通して地域の福祉団体との連携を強めた。	6 月 9 日～3 月 3 日	14	206
つつじがおかワイワイまつり	地域の小学生が学校や学年を超えて巨大紙相撲や工作などで遊び、餅つきや昔遊びなども体験した。	8 月 28 日･1 月 29 日	2	798
ふれあいコンサート	地域やセンター利用の団体に発表の場を提供し、地域の方が気軽に音楽に親しみ、集う場とした。	5 月 15 日～1 月 15 日	9	539
児童館作品展	地域の子ども達の交流を深め、地域全体で子どもの成長を見守る意識を高めるため、近隣の2児童館の子供たちの作品を展示した。	8 月 6 日･10 月 30 日	2	620
中央市民センター事業運営懇談会	市民センター事業への理解を深め、地域住民からの意見や要望を事業に反映させるため、学びのコミュニティ推進委員会で意見などを聞いた。また、主催事業の際にアンケート調査を行った。	通年	1	30
宮城野通り防犯情報紙作成講座	住民の主体的な地域課題解決につなげるため、地域の関係団体が連携して防犯課題について話し合い、住民の視点から情報を発信した。	10 月 20 日･27 日･11 月 10 日･17 日･12 月 8 日･15 日	6	43
市民企画会議	地域で子育てする母親が、子育てに関する悩みや課題を解決するための講座企画を話し合った。	9 月 15 日･10 月 6 日･10 月 27 日	3	12
東口ゆうえんち企画会	市民スタッフが、地域の子育て環境充実の為、遊びを通じての異世代交流の場である「東口ゆうえんち」を企画運営した。	4 月 24 日～3 月 19 日	13	147
パワーアップビジネス講座企画会	多様化する学習ニーズに応えつつ、意欲的に学習する市民の交流を図るために、夜間講座「パワーアップビジネス講座」を企画運営した。	4 月 22 日～1 月 13 日	11	70
サークル情報パネル展	生涯学習のために情報を求めている市民に、市内で活動しているサークルの情報を提供した。	8 月 27 日～9 月 29 日	1	1,567
サークル体験会	中央市民センター利用のサークルの活動を体験してもらい、市民の主体的な学習活動への参加意欲を高めた。	11 月 7 日～11 月 26 日	7	32

高砂市民センター

〔沿　革〕

昭和 43 年、仙台市高砂小学校校舎を改築し、高砂公民館として発足した。昭和 53 年宮城県沖地震で建物が大破し隣接する前高砂小学校給食センターを改築、昭和54年に移転した。平成元年「高砂市民センター・公民館」、翌年「高砂市民センター」と改称、その後平成 6 年高砂地区のほぼ中心部に複合施設として新たに開館した。高砂地区は、七北田川、貞山運河、蒲生干潟などの自然に恵まれ、南部に広い田園地帯が広がっている。近年、急激な都市化が進み大型複合施設、商業施設等の出店も相次ぎ田園が住宅に変わるなど新たな住民が増加傾向にある。また、東北の海の玄関口としての役割が重要視されている仙台港を擁し、物流、工業生産、国際交流の拠点としての整備が進められ、後背地としての発展が大いに期待されている地区である。

〔特色ある事業〕

事業名	土曜コンサート		
参加者	一般	参加延人数	329人
開催日	全4回　5 月 22 日(土)・8 月 7 日(土)・12 月 4 日(土)・12 月 18 日(土)		
協力者・協力団体	高砂地区社会福祉協議会（高砂地区各子育てサロン）、宮城野区保健福祉センター家庭健康課、高砂地区各児童館、地域子ども情報誌「ホッとね」		
ねらい	地域住民が主役となって、音楽を通した交流の場をつくり、気軽に集うことのできる市民センターづくりを行う。当センターを主体として活動しているサークルや地域住民の学習成果発表の場をつくり交流することで、サークル活動への新たな参加や地域への紹介を促し、センター事業の利用者増につなげる。あわせて、社会福祉協議会と連携し、日頃音楽に接する機会が少ない乳幼児向けの音楽会も行う。		
概要・成果	全4回のうち、3回をロビーコンサートとし、出演者を高砂市民センターや地域で活動している団体及び個人とし日頃の学習成果発表の場とした。地域団体との連携事業として高砂地区社会福祉協議会が運営する子育てサロンの参加者など、子育て世代の親子に向けたコンサートを開催。また一般の方も参加自由とし、“家族みんなで楽しく元気に”を提唱するコンサートとした。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
食育講座「家族のための食事」	健全な食の知識と、家族一人一人の年齢にあった健康的な食事づくりを地場産品を通して学ぶ。講話・調理実習	1 月 12 日・26 日	2	18
地域子育てサロン出前講座「親と子のホットタイム」	地域の「子育てサロン」の開催日に合わせて親子ふれあいの講座を出前開催し、市民センターから離れている地域の親子がふれあいながら学べる機会を提供する。	10 月 8 日・15 日・22 日・11 月 18 日・25 日	5	218
育児の中の自分みがき講座	親として学んでおきたい学習とストレス解消の講座を組み合わせた、託児付の育児支援を目的とした講座。今年度は父親の参加を促す親子体操とおやつについて学習する。	11 月 20 日・11 月 27 日・12 月 4 日・11 日	4	39
高砂地区小学校連携「夏の講座」	地域小学校・地域・保護者と連携し、センター利用サークル等による色々な分野の講座の開催により夏休みの児童に「開かれた学校」として学びの場を提供する。	7 月 29 日～8 月 10 日	22	684

インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に、子ども会についての知識やレクリエーション・ゲーム等の学習をし、子ども会活動の充実を図ることを目的とする。	2 月 26 日	1	48
高砂ファーム・楽しい野菜づくり	野菜を育てることにより、地域で作られる野菜や食について青少年が自ら考えるきっかけづくりとする。また地域の高齢者との交流を通じて人間関係を育む。	5 月 8 日・6 月 3 日・17 日・7 月 16 日・23 日・10 月 14 日・11 月 13 日	7	94
小学生地域防災講座	近い将来高い確率で来ると言われている地震に備え、小学生が地域の一員としてできることを学ぶ。学校と地域が連携して防災活動を行なうことを理解する。	7 月 22 日・8 月 3 日・11 月 10 日	3	533
高砂昔話語部講座Ⅱ	昨年の市民企画講座から引きつづき、地元学の［高砂を歩く］から「高砂の昔話」を取り上げ地域に伝承するために、語部としての知識や技術を学ぶ。	8 月 6 日・20 日・27 日・9 月 10 日・17 日・24 日・29 日	7	66
三館共催事業「郷土七北田川下流域過去から未来へ」	高砂・田子・福室市民センターとの共催で、七北田川下流域の成り立ちや歴史を学び、地域の魅力を再発見し、地元に対する関心と愛着心を高める。	9 月 4 日・11 日・18 日	6	284
出前講座「高砂市民センター健康講座」	センターから遠い地域の住民を対象に健康講座を出前開催し、健康作りの一助とすると同時に、市民センターの活動について理解を深めてもらうことを目的とする。	9 月 8 日・11 月 16 日	2	45
市民企画講座「野菜を楽しむ講座」	地産地消などについての総合的学習	11 月 5 日・12 日	2	24
充実エコ料理「ひとり分もおいしく」	野菜を使い切る講座を通じ、資源やゴミの分別意識の啓発や環境問題の意識を高める。調理実習と講話	12 月 10 日・12 月 17 日	2	20
高砂老壮大学	地域の高齢者が、生き生きと生活するために生きがい、健康、教養を中心とした学習の場を提供すると共に、受講生同士の交流と親睦を図る。	5 月 1 日～2 月 28 日	10	2,030
高砂市民センター「土曜コンサート」	音楽サークルや地域音楽愛好家などの地域住民が主役のコンサートやゲストによるコンサートの開催により、地域住民が気軽に集うことのできる交流の場の提供と各種情報の提供を図る。	5 月 22 日・8 月 7 日・12 月 4 日・18 日	4	329
高砂市民センターまつり	センター利用サークル等の学習成果発表と各世代が楽しめるイベントを通し、地域住民相互の交流を図るとともに、管内小中学校等との連携を図り、地域の青少年健全育を図る。	10 月 30 日・31 日	2	9,300
あなたの町と市民センター懇話会	地域住民を対象とした懇話会を開催し、情報収集や地域課題の掘り起こしを行うとともに、課題解決に向けて協働できることを模索する。	4 月 18 日・5 月 16 日・11 月 13 日	3	57
読み聞かせボランティア　フォローアップ講座	近隣小学校の要望に応え、読み聞かせボランティアの育成を図り、児童の読書活動推進と学習成果地域還元に繋げる。	7 月 1 日・8 日・15 日・29 日	4	103
市民企画会「高砂地区　地産地消を考える」	地域の農業生産者や特産物を学び、地域の地産池消について講座を企画する。	6 月 3 日・7 月 8 日・8 月 6 日・10 月 8 日・11 月 21 日	5	11
悠々時間「元気の素を見つけよう」	地域住民への、多様な生涯学習の機会を提供するとともに、地域の特技を持つ方の人材発掘を行う。	7 月 14 日・8 月 31 日・1 月 22 日	3	47

岩切市民センター

〔沿　革〕

当市民センターは昭和24年仙台市に設立された7つの公民館の一つで、平成2年「仙台市市民センター条例」により市民センターと名称が変更された。昭和56年12月に現在の建物が建設され、平成18年6～12月に大規模改修が行われ現在に至っている。建物内部には市民センターの他に、保健センター、老人憩いの家、コミュニティ防災センター資機材倉庫が併設されており、さらに平成22年3月より岩切証明発行センターが併設された。

当地区は宮城野区の北東部に位置し、美しい田園風景が広がる。古からの歴史と文化を伝える神社、仏閣、遺跡が点在している。近年は岩切駅前地区の再開発により若い世代の人口増加が著しい。人々の学習意欲は高く、自主サークル活動が盛んに行われてきた地域である。

〔特色ある事業〕

事業名	いわきり de 子育て～もっと知って岩切パート2		
参加者	岩切地区在住の未就学児とその親	参加延人数	207人
開催日	全3回　10月26日(火)、11月9日(火)、11月16日(火)		
協力者・協力団体	宮城野区家庭健康課、宮城野区まちづくり推進課、仙台中央市民センター、地域の子育てサークル12団体		
ねらい	JR岩切駅周辺の再開発に伴い、子育て世代の転入が増加している。今年度は新たに岩切に転入してきた子育て中の方へ、旧来の良好なコミュニティが存在している岩切の地域的特徴を紹介すると共に、地域での仲間作りの一助とし、子育てしやすい環境を作ることを目的とする。		
概要・成果	3回連続講座。1回目は「バスで岩切探検」と銘うって市内の子育て世代が知っていて役に立つ施設（保育所や児童館、子育てサークルの拠点など）を見てまわり、子育てに役立つ情報を提供することができた。2回目は「親子リトミック」。3回目の「岩切親子でわいわい広場」では、定員枠を広げて、乳幼児を子育て中の方ならどなたでも参加できるミニ子育てまつりとして、子育て世代と地域の子育てサークルの交流会を行った。		

〔平成22年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
親子で仙台の七夕を楽しもう！	七夕の星座の美しさや七夕飾りの持つ意味、こめられた庶民の想い等、仙台の七夕を親子で体験し伝承する意識を育てる。七夕飾りの製作も実施した。	6月18日・7月23日	2	61
いわきりde子育て～もっと知って岩切パート2～	岩切駅周辺の再開発に伴い、岩切地区へ転入してきた子育て中の方へ地域的特徴の紹介と共に仲間作りの一助として集まりを提供した。	10月26日・11月9日・16日	3	207
市民企画講座「ママはスーパーレディ！」	子育て中の方を企画員とした企画会議を受け孤立しがちな子育て中の母親の友達作りの場と日頃のストレス解消やリフレッシュを目的とした講座を開催した。	9月7日・28日	2	32
いわきりっ子は大丈夫？	「安心して子育ての出来る環境つくり」をテーマに家庭教育地域交流会の会議の中から実施された講座。メディアの及ぼす危険性を取り上げ、会話や遊びの中で情感豊かな青少年の育成と細やかな情報の流れる街づくりへの提言を図った講演会を実施した。	9月25日	1	66
みんな仲良し子育てサロン	子育て世代の増加が著しい岩切地区で楽しい子育てをしてもらう為に同じ子育て中の方と知り合うきっかけの場を提供した。	7月28日・8月25日・9月29日・10月27日・12月1日	5	172

ワイワイ作って楽ししく食べよう！	食の安全をテーマに地域の食材を用いて親子でおやつ作りを楽しむ機会を提供した。	11 月 27 日	1	18
ふれあい囲碁・将棋教室	子ども達の学校5日制の有効活用と地域の囲碁・将棋の名人たちとの世代間交流を支援した。	5 月 1 日～1 月 22 日	18	348
伝承あそび	高齢者から園児に伝統的な日本の昔遊びを伝承し世代間の交流を図る。お手玉・けん玉・竹とんぼ・折り紙・はねつき・こま回し等を楽しんだ。	12 月 26 日・1 月 20 日	2	180
イン・リーダー研修会	子ども会活動の活性化を図る為、子ども会のリーダーとして活動する児童及び世話人に研修会を実施した。社教主事による講話・工作・JL によるゲーム等。	2 月 13 日	1	43
いわきり味散歩	多種の仙台野菜の生産地である事と食育のテーマを踏まえ地域農産物を使った季節の伝統料理を地域講師から学ぶ機会を提供した。	7 月 30 日・10 月 1 日・12 月 17 日	3	28
ふるさとスケッチ～岩切の山河を水彩画に残そう～	古里の風景を見つめ直すことにより地域への愛着心を培い環境保全ついて考える機会を提供した。その手段として水彩画を用い、長い活動への支援への契機とした。	10 月 14 日・21 日・28 日・11 月 5 日・11 日	5	72
中高年の健康講座～メタボ、大丈夫ですか～	近年話題のメタボリック症候群について、正しい認識とその対策を講じ健康生活維持の必要性を学ぶ機会を図った。	9 月 2 日・9 日・16 日	3	45
かわいい笑顔にこんにちは！	岩切保育所に毎年人形を提供しているボランティアサークルの活動を支援、継続に繋ぐ新メンバーの育成と異世代交流から地域力を高める機会を提供した。	1 月 27 日・2 月 3 日・10 日	3	29
岩切老壮大学	地域高齢者に充実した生涯学習の場を提供し、豊かなシニアライフを営む手助けをした。又、受講生間の交流と親睦を図り地域活動へ積極的参加に導いた。	4 月 16 日～3 月 4 日	12	490
岩切老壮大学院	高齢化が進む中、地域高齢者が心豊かに生活出来る様、学習機会の場の提供、及び受講生相互の親睦と交流を図った。又、自主的活動の充実に向けた支援を行った。	4 月 21 日～3 月 16 日	10	664
すずむしの里づくりコンサート	すずむしの里づくり実行委員会の活動を多くの市民に伝えていくためコンサートを開催し、すずむしに親しむ機会を提供した。	9 月 4 日	1	110
すずむしリンリン講座	すずむしが仙台の虫であることを仙台市民に広く知ってもらう。又、飼育方法を伝え、その音色に親しむ機会を広く提供した。	8 月 12 日・9 月 1 日	2	290
とっさに役立つ、AED！	日常生活において突発的に起こりえる病気や怪我・災害等から自分を、怪我や急病人を正しく救助し救急隊に引き継ぐまでの救命の手当てを学んだ。	2 月 5 日・24 日	2	49
家庭教育地域交流会	岩切地域内の6団体が一同に会し情報提供や問題提起を図り地域社会教育の普及発展と内容の充実を図った。2つの内容を企画実施した。	5 月 27 日・6 月 24 日・9 月 2 日・10 月 21 日	4	48
岩切市民センターまつり	市民センターで学習するサークルの学習成果を発表する場を提供し世代を超えた地域住民の交流の場を提供した。	10 月 9 日・10 日	2	1,650
地域懇談会	市民センター利用者、地域住民、諸団体の多くの皆さんと地域課題について情報交換や意見交換を行い今後の事業に反映させる課題を探った。	8 月 4 日・10 月 27 日・2 月 23 日	3	34
市民企画会議「ママはスーパーレディー！」	子育てに追われる忙しいママにストレスを抱え込んだり孤立する事のない様、友だちを作ったり自分が輝くためのリフレッシュする講座を企画した。	5 月 20 日・27 日・6 月 3 日・12 月 2 日	4	29
庭木を育て隊	定年を迎える団塊世代が緑豊かな街づくりに貢献すべく植栽管理を学び、地域と関わり合いながらイキイキと生活していく機会を提供した。	6 月 12 日・19 日・26 日・7 月 3 日・10 日	5	61

鶴ケ谷市民センター

〔沿　革〕

当センターが所在する鶴ケ谷地区は、東北最大級のモデル団地として、昭和 43 年入居を開始した新興住宅団地である。当館は、団地の完成とともに RC3 階建、温水プールを併設する施設として昭和 47 年 5 月 22 日に開館した。

その後、地域住民から生涯学習への要望が高まり、昭和 59 年から岩切公民館の協力を受け各種の講座が開設されることとなるが、本格的に生涯学習が展開されたのは、平成元年、市民センター・公民館として発足してからのことである。

平成 4 年 4 月には児童館が併設され、地域の生涯学習・児童福祉・コミュニティづくりの拠点として機能している。なお、温水プールは、平成 11 年 4 月から外郭団体へと管理が委託されている。

〔特色ある事業〕

事業名	出前講座 「君もプチレスキュー」		
参加者	中学 3 年生	参加延人数	461人
開催日	全6回 9 月 8 日(水)、9 月 9 日(木)、10 月 19 日(火)、11 月 11 日(木)、11 月 18 日(木)、11 月 19 日(金)		
協力者・ 協力団体	鶴谷中学校、西山中学校、宮城野消防署、救急サポートセンター、ドコモショップ泉店 東北福祉大学ボランティアセンター、鶴谷地区民生委員児童委員、地域ボランティア		
ねらい	避難所設営等に必要な地域の力となり得る人材の確保のため、地域内中学生に避難所運営上必要な知識・技能を体験学習により体得させ、ボランティア活動等への意識づけと即戦力を養う。		
概要・成果	避難所ボランティア実技体験。簡易トイレ組立・非常時の携帯電話の使い方・AED 体験・弱者疑似体験など実施。また、災害図上演習（DIG）での地域内マップづくりが地域の状況を知る機会となった。地域の団体が指導・運営することで、いざという時に地域コミニュニティの活力がいきるよう、地域の防災活動に対する理解の輪を広げた。今回、事前学習として、講師の各災害ボランティアセンターに関わった経験談を交じえたボランティアの重要性、活動についての講話を行った。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子育て応援講座	図書ボランティアによる絵本の読み聞かせや歌を通して食育について学んだ。また、父親の育児参加や親子関係・家庭教育のあり方について考えた。	9 月 1 日・10 月 6 日・11 月 10 日・12 月 8 日	4	102
インリーダー研修会	子ども会活動と世話人の役割について講話。レクリェーションゲームの進め方、子ども会で使えるゲームなどを学んだ。	2 月 19 日	1	70
つるがやキッズクラブ	お茶、折り紙、ものづくり、科学実験などを実施。地域講師や高校生（仙台三高）、大学生のボランティアサークルなどとの世代間交流。	6 月 12 日・8 月 3 日・11 月 27 日・12 月 18 日・1 月 29 日・2 月 5 日	6	101

出前講座「君もプチレスキュー」	災害弱者擬似体験、DIG 研修、簡易トイレ組立、非常時の携帯電話の使い方、救急救命講習等の実施。また、被災地での中学生のボランティア活動に触れながら、災害時のボランティアの重要性等について講話。	9 月 8 日・9 日・10 月 19 日・11 月 11 日・18 日・19 日	6	461
キャップハンディ体験	車椅子体験・聴覚障害について学んだ。また、聴覚障害者が講師となり、手話通訳者を通じて講話を行い、手話を使ってのコミュニケーションを体験した。	7 月 14 日・9 月 2 日・14 日・16 日・17 日・22 日	6	342
小学生のための国際理解講座「モンゴルについて学ぶ」	モンゴルの日常生活や遊び、学校生活の様子、民族衣装の説明を聞き、馬頭琴の演奏を聴く。	11 月 16 日・3 月 9 日	2	196
ノルディックウォーキングで健康づくり	ノルディックウォーキングの紹介。歩き方の基礎を学び、実際に公園をウォーキング。	7 月 9 日・16 日	2	26
鶴ケ谷まな Bee カレッジ～みんなで始めましょう！	地域ボランティアによる運営・企画講座。バドミントン・パッチワーク・花かごづくりなど多彩な講座を実施。	9 月 29 日～1 月 28 日	14	136
ことぶき大学	医療、国際交流、郷土史など幅広い内容の講座を実施。	5 月 19 日～3 月 2 日	11	753
楽しく馴染める シニアのパソコン寺子屋	初心者を対象に、パソコンの起動・基本操作。ワードの基本、文字の入力・保存・印刷を学んだ。	9 月 7 日・8 日・9 日	3	59
仙台七夕飾りを一緒に作ろう！	伝統七夕の由来・作製方法について学び、地元商店街に飾る七夕の制作展示。	6 月 3 日・7 月 8 日・15 日・22 日・23 日・29 日	6	54
「ひょうたん沼」の四季ウォッチング	鶴ケ谷地域の自然資産「ひょうたん沼」を季節毎に観察。動植物や環境問題について学んだ。	4 月 24 日・7 月 31 日・10 月 16 日・1 月 15 日	4	45
市民企画実施講座「鶴ケ谷企画防災セミナー」	自主防災組織の形成・活動をしている市内の町内会から講話・事例を聞き、自分たちの取組みに活かせる企画講座の実施。	10 月 16 日・10 月 30 日	2	40
鶴ケ谷ときめきコンサート	地区内の幼稚園・児童館児童クラブによる合唱。ママさんブラスやバイオリン・ギター・アマチュアバンドなどによる演奏発表。	6 月 19 日	1	600
鶴ケ谷市民センターまつり	センター利用サークルの学習成果・活動成果の発表。地区内小・中学生の作品展示。福祉団体によるバザー・ジュニアリーダーによる綿アメ販売など。	10 月 23 日	1	2,364
鶴ケ谷市民センター地域懇談会	センター事業・運営に対する提案や地域情報・課題について意見交換会。	7 月 24 日・11 月 6 日	2	65
鶴ケ谷まな Bee カレッジ～運営ボランティア養成講座	地域人材活用事業に向けての、講座運営・企画についての学習会。	6 月 10 日・17 日・24 日・7 月 1 日	4	10
市民企画講座 みんなで守ろう～地域防災を考える～	地域防災の現状を探りながら、「自主防災」のあり方について検討・意見交換会。	7 月 2 日・23 日・30 日・8 月 6 日・20 日・11 月 12 日	6	66

榴ケ岡市民センター

〔沿　革〕

日本住宅公団の高層共同住宅の建設に伴い、一階・地階部分の一部を市民会館の分館として位置付け、昭和 48 年 6 月に開館し、平成元年4月に公民館が併設され翌年 4 月に榴ケ岡市民センターに改称された。

当市民センターは、市民の憩いの場である榴岡公園の東側に位置し自然環境に恵まれ、近くには仙台市歴史民俗資料館・国の合同庁舎・クリネックススタジアム宮城などがある。中心市街地として都市基盤整備が進み古くからの街並みが日々変化している中、新旧地元住民の交流の場として、また各種会合や生涯学習活動の場として多くの人々に利用されている。

〔特色ある事業〕

事業名	「平和学習」語り部ボランティア養成講座		
参加者	戦中・戦後の体験者	参加延人数	43人
開催日	全4回　9 月 1 日(水)、9 月 8 日(水)、9 月 15 日(水)、2 月 3 日(木)		
協力者・協力団体	共催:仙台市戦災復興記念館		
ねらい	平和だからこそ伝えなくてはならない戦争時代の辛かった事、悲しかった事、小学生だった頃の話、地域住民の貴重な体験を通して戦争と平和について子ども達に語り継ぐ「語り部」のボランティアを養成する。		
概要・成果	実際に活動している団体からの講話、戦災復興記念館の見学と体験を語り継ぐ意義を学ぶ話法、戦争体験者同士の話合い。 受講生は平和にたいする思いも強く、これからの世代にどう伝えるかを考えている。太平洋戦争を体験したとはいえ、当時の年齢や記憶の差があり情報交換することによりお互いの体験を知る機会となった。また、「平和を伝える会」発足することとなった。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
パパとママのほっとステーション	子育て中の保護者が、育児の不安やストレスの解消と子どもの発育について学ぶ環境を提供し、より健やかな育児の手助けを目的とする。また参加者同士の交流を図っていく。	11 月 5 日・12 日・19 日・12 月 3 日	4	14
榴ヶ岡おはなしの部屋	読み聞かせや手遊びを通して、親子のスキンシップを図り、また絵本を通した子育てを充実させる。	6 月 2 日・11 月 11 日・1 月 26 日	3	45
「地域が育む子ども達」	「地域が育む子ども達」企画検討委員会で決定した講座を開催する。テーマは「伝えよう・つなげよう　わがまちを」。	11 月 20 日	1	60
星座観察会	家族や地域の人たちと一緒に天体観察を行うことで、相互のコミュニケーションを深め、宇宙に対する興味・関心を醸成する。	9 月 30 日・12 月 17 日	2	266
家族で体験！榴ヶ岡学びの広場	保護者と子どもが共通の体験を通して、コミュニケーションを深め、土日を利用して地域の伝統や歴史等を学ぶ。	6 月 26 日・10 月 13 日・11 月 13 日・2 月 5 日	4	84
インリーダー研修会	地域の子ども会の活性化を促進するために、子ども会のリーダーの育成と世話人を対象に学習の機会を提供する。	2 月 27 日	1	84
地域が伝える平和学習	戦争体験者である地域の高齢者から戦中戦後の学校や家庭での体験、復興にいたるまでの様子を聞く。	11 月 12 日・26 日・12 月 1 日・8 日	4	189
仙台でやってみよう！新体験	若い世代の転勤者を対象に仙台に親しみ、地域とのコミュニケーションを図っていく。	7 月 3 日・10 日・17 日・31 日	4	20

足元から考える国際理解・国際協力	国際都市仙台の一市民として、身近な活動から国際理解・国際協力に関われることを知る機会をつくる。	2 月 2 日・9 日・16 日	3	49
榴ヶ岡老壮大学	長寿高齢化が進む中、社会の仕組みや生活習慣の変化・新技術の対応等を学び、一人ひとりの人生を豊かにするための学習を開催する。また受講生同士の交流を図る。	4 月 15 日～3 月 3 日	12	944
すずむし配布会・交換会	「すずむし」を通し、杜の都の自然環境を守り、小さな命の大切さを学ぶ機会とする。	8 月 7 日・27 日・31 日	3	291
エコで作る伝統の仙台七夕	チラシや包装紙等を再利用した「環境にやさしい七夕飾り」を作るとともに地域交流も図っていく。	6 月 25 日・7 月 9 日・8 月 6 日・31 日	4	26
平成仙石線物語企画講座ー仙石線今昔ものがたりー	仙石線を中心とした地域交通網と街づくりとの関連講座を開催	9 月 3 日・17 日・10 月 12 日・26 日	4	65
つつじがおかワイワイまつり	「榴岡かいわい学びのコミュニティづくり推進委員会」が中心となり、地域の多様な団体が子どもの健やかな育ちを支援するとともに地域のコミュニティづくりをしていく。夏まつり・冬まつりを開催。	8 月 28 日・1 月 29 日	2	798
五輪楽舎～地域と学ぶ～	地域課題やニーズに即した講座を開催し、学びを通した地域コミュニティづくりを推進する。	4 月 8 日・5 月 13 日・6 月 11 日・7 月 16 日・9 月 29 日・2 月 10 日	7	200
萩こぼれて企画検討委員会企画講座「癒しの音楽会へようこそ」	4社会学級とセンターとの企画検討委員会で話し合いを重ね、「元気・一緒・癒し」をテーマに、参加型・体験型のコンサートでコミュニケーションに主眼を置き地域活性化を目指し地域交流の場を提供	10 月 24 日	1	100
五輪楽舎～地域と学ぶ～企画検討委員会	五輪町内会メンバーとともに、地域課題やニーズを把握し、学びを通したコミュニティづくりの事業を開催する。	4 月 8 日・6 月 25 日・7 月 9 日・8 月 6 日・9 月 10 日・10 月 15 日・11 月 12 日・1 月 21 日	8	45
「地域が育む子ども達」企画検討委員会	榴岡地区の市民団体といっしょに、地域ぐるみで、子どもとの関わりや子育てのための環境づくり事業を検討する。	7 月 3 日・8 月 19 日・10 月 14 日・11 月 20 日	4	26
「萩こぼれて」企画検討委員会	市民センター管内の4社会学級とともに、地域の課題やニーズを探り地域への情報発信および地域活性化のため事業の企画運営を図る。	6 月 8 日・7 月 16 日・8 月 10 日・9 月 28 日・10 月 24 日	5	35
原町地域連携事業原町小学校区地元学	センター・原町小学校が軸となり地元学推進委員会を結成し地域の協力を得ながら地域住民と小学生の交流を深め、地域の歴史・文化・暮らし等について学び、地域コミュニティの活性化とする。	6 月 8 日・7 月 8 日・7 月 16 日・9 月 29 日・10 月 8 日・11 月 12 日・2 月 10 日・3 月 10 日	8	807
榴ヶ岡市民センター・榴岡公園軽体育館まつり	榴岡軽体育館利用のサークルの学習成果発表の場と地域住民の参加による地域コミュニティ活動の活性化を促進する。	10 月 23 日	1	620
榴ヶ岡市民センター懇談会	地域の課題や解決策をテーマに話し合う。また市民センター事業運営についても意見交換をする。	9 月 10 日・12 月 3 日	2	23
「平和学習」語り部ボランティア養成講座	戦中戦後の貴重な体験をとおして平和の大切さを語り継ぐボランティアの養成講座	9 月 1 日・9 月 8 日・9 月 15 日・2 月 3 日	4	43
読み聞かせボランティアステップアップセミナー	市民センターで養成した読み聞かせボランティア「おはなし いっちょばこ」の活動支援として、技術向上と活動の活性化を目的とした研修行う。併せて新規のメンバーを募る。	12 月 15 日・12 月 22 日	2	37
「平成仙石線物語」企画委員会	市民センター管内を走る仙石線の沿線上にある地域の街づくりや現状を学ぶ講座等を企画する。	4 月 23 日～2 月 21 日	12	62

東部市民センター

〔沿　革〕

昭和 47 年 5 月に旧保健所庁舎の一部を改装し開館した「東部市民福祉会館」を前身としている。昭和 58 年 4 月に全面改装され、平成に入り「東部市民センター」に改称、平成 5 年 4 月には「東部児童館」が併設されている。

当市民センターは、宮城野区役所から北東へ約 0.7km の地点に位置し、通称「中原地区」といわれる住宅地にある。付近には、東仙台・苦竹・原町などそれぞれに歴史を持つ住宅地や商業地が広がっている。近年、新田や新田東地区の人口増加により館利用管轄地域の範囲が拡がってきている。

〔特色ある事業〕

事業名	市民企画講座　手作りヨットでGO！GO！梅田川		
参加者	小学生	参加延人数	29人
開催日	全2回　8 月 3 日(火)、8 月 4 日(水)		
協力者・協力団体	市民企画委員、ジュニアリーダー、みずほ工務店		
ねらい	市民企画会議を通し、今年度は近くの木工所の廃材を利用して子ども達に思い思いの舟を作らせ、梅田川で舟の競走をする。これらの体験を通して、小学生が梅田川を身近に感じ、興味や関心を持つ機会とする。		
概要・成果	・今回、夏休み前半の期間で日時・時間の設定も良く、申込者数が募集人数をはるかに上回った。企画内容も子ども達が自分なりの工夫で舟を作って、自ら川で流す一連の作業ができ、子ども達にとって梅田川が身近に感じられ、地域に対して関心を持つよい機会となった。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子どもあっての親「子供からのシグナルをつかむには」	子供の訴えのシグナルを見逃さないために親子間のコミュニケーションのあり方を学ぶ	2 月 1 日･8 日	2	28
親子で挑戦 野菜づくり	季節の野菜作りを通し、作物の成長と育成の苦労と共に食物の大切さを学び、作業を通して親子間のコミュニケーションづくりを図る。地域の子育て支援区クラブと連携し、子ども達が健全に育つ地域づくりをする。	4 月 17 日･5 月 15 日･6 月 19 日･7 月 17 日･8 月 21 日･9 月 18 日･10 月 16 日･11 月 20 日	8	144
東部あそびの原っぱ	地域の小学校・社会学級・諸団体と連携し、遊びを通した子ども同士および地域の子どもと大人との世代間交流を図り、地域での子どもを育てる環境づくりをする。	7 月 16 日･27 日･28 日･8 月 3･12 月 11 日･1 月 26 日	6	394
インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るための学習	2 月 6 日	1	59

食育講座ー子ども料理教室 「作ってみよう！おいしいごはん」	子供が料理を通し、その楽しさや食の大切さを学ぶ	11 月 27 日･12 月 4 日･11 日･18 日	4	40
市民企画講座 「手づくりヨットでGO!GO!梅田川」	廃材を利用して、子ども達が舟をつくり、梅田川で競争をして、梅田川を身近に感じ興味や関心を持つ	8 月 3 日･4 日	2	29
東部こども企画会議	地域の子どもが自ら地域活動に貢献するため、講座の企画･運営･指導を行うことにより、地域に対する意識関心を高める。「中学生企画･小学生対象こども防犯講座」を実施。	6 月 1 日･7 月 1 日･26 日･30 日･8 月 5 日･9 月 1 日･10 月 1 日･12 月 11 日	8	125
楽しく学ぶ「こども防犯講座」	子ども犯罪防止について、その備えと対応について子ども自身が判例や危険な場所を学ぶことで、子どもの注意喚起を促し、安全な地域社会を作る。	7 月 30 日･8 月 5 日	2	33
楽しさ再発見　大人も楽しむ絵本講座	絵本を通し親子･家族のコミュニケーションを深めるきっかけづくりをする	6 月 22 日･29 日･7 月 6 日･13 日	4	55
男の茶の湯	日頃の忙しさにストレスを抱えて働く男性を対象に、茶の湯の精神や作法を通して、受講生同士の心の交流と癒しの場を提供する。	7 月 3 日･10 日･17 日	3	23
川に学ぼう～しぜん･ちいき･くらし 「梅田川の源流をたずねる」	地元を流れる梅田川の源流や川に生息する生物を学ぶことで、実際の梅田川が地域にとって大事な川であることを改めて知る機会とする。	5 月 20 日･27･6 月 3 日	3	27
おじいちゃん･おばあちゃん大集合！ 「みんなで気軽にレク･スポーツ」	地域高齢者の心身の健康維持のために気軽に参加できるスポーツ･レクリエーションを提供	7 月 7 日･14 日･21 日･8 月 27 日･9 月 3 日･10 日･17 日	7	104
東部いきいきスクール	シニア世代の交流と生涯学習の場	4 月 21 日～3 月 9 日	12	
わたしのまちのイチオシ大集合 ～あなたの大切なイチオシを撮影しよう～	地域の写真撮影を通して、日常見慣れた風景が地域の資源として再認識するとともに、地域の良さを改めて感じ、地域に対する愛着を持つ機会とする。作品展を開催し、地域の方とも、想いを共有し、地域づくりにつなげる。	9 月 4 日･11 日･18 日･25 日	4	25
東部ふれあいコンサート	地域住民が音楽を通し交流の場を作り、気軽に集うことができる	11 月 26 日･2 月 20 日	2	73
東部ふれあいまつり	当市民センター利用サークルの発表と地域住民の交流	10 月 3 日	1	1,050
東部市民センター地域懇談会	地域住民･団体から事業への要望･地域課題を聞き、次年度の企画に向けて話し合う	4 月 23 日･24 日･2 月 26 日	3	39
食育ボランティア養成講座	子供達が料理を体験する作業をスムーズに介助しながら、食の大切さを伝えるサポーターを養成	10 月 23 日･30 日	2	23
市民企画会議「ふるさと梅田川」	小学生が地域の資源を守り、受け継ぐための具体的な講座を企画する。	4 月 16 日･5 月 14 日･22 日･6 月 8 日･7 月 7 日･8 月 3 日･10 月 7 日	7	49

幸町市民センター

〔沿　革〕

平成 5 年 4 月 20 日、地域住民の長年の念願が叶い、幸町児童館及び幸町コミュニティ防災センターを併設した複合施設として開館した。

当施設がある幸町中学校区は、近年大型商業店舗の進出、民間マンションの建設などで町並みの変容著しい幸町・大梶地区と、与兵衛沼、桝江の森などの緑豊かな自然に恵まれた枡江地区からなる。仙台市ガス局をはじめ、県・市障害福祉センターなど公共施設やきぼう園、いずみ授産施設などの福祉施設とともに、国、県、市の公団住宅があり、民間も含め、集合住宅が多い地域でもある。ここ数年で地域の環境は大きく変化し、住民として、子育て中の世代や若年層の増加がみられる。

〔特色ある事業〕

事業名	学校へ行こう隊		
参加者	成人	参加延人数	111人
開催日	全12回 5 月 12 日(水)、6 月 30 日(水)、7 月 15 日(木)、7 月 22 日(木)、9 月 3 日(金)、10 月 19 日(火)、10 月 22 日(金)、11 月 26 日(金)、12 月 14 日(火)、12 月 15 日(水)、1 月 18 日(火)、2 月 18 日(金)		
協力者・協力団体	地域一般成人、センター受講生(生涯大学、陽だまりサロン)、 管内小中学校(幸町小、中・幸町南小・枡江小)、地域ボランティア		
ねらい	学校教育活動の中に地域人材が活躍する場を設け、地域住民と学校の連携、交流を促進する。地域住民と児童生徒が共に学び合い、感動を共有する事で世代間交流を深め、お互いを理解し合う場を構築する。		
概要・成果	年度当初、学校教育活動への参加、協力を呼びかける「学校へ行こう隊」を公募。同時に、センター企画講座である、「生涯大学」「陽だまりサロン」の受講生にも参加を呼びかける。 大豆作り・工作・戦争体験・しめ縄作り・昔遊び・和楽器演奏等を通して、小学生と地域の方との交流等を実施。 回かさねることにより、活動の内容が定着してきており、地域の方の協力者も増えている。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
ママのお助け講座	子育て中の方に充実した学びの時間と情報交換の場の提供。食育や幼児の救急・応急処置などを実施	9 月 15 日・22 日・29 日	3	69
ママのリフレッシュ講座	子育てによる心身のストレスの解消するためのアロマオイルを用いたマッサージなど実施	7 月 9 日・16 日・23 日	3	49
インリーダー研修会	子ども会活動についての講話や工作・ゲームなどを実施	2 月 5 日	1	60

さいわいどんぐりクラブ	ザリガニ捕り・科学実験・工作など体験学習を主に実施	7 月 24 日・8 月 18 日・19 日・20 日・10 月 8 日・12 月 4 日	7	98
地元学The幸町 ～与兵衛沼を知ろう記録に撮ろう～	幸町地区の貴重な自然資源の与兵衛沼を様々な視点から学ぶ。地元に愛着と関心を深める。	6 月 4 日・11 日・18 日・25 日 7 月 2 日	5	36
からだを動かさナイト講座　～卓球編～	中高年向けに卓球をとおし健康な体作りなどを実施	8 月 27 日・9 月 3 日・10 日・17 日・10 月 1 日・8 日	6	70
旬を学ぼう・旬を食べよう	地元で収穫された旬の食材を使って調理実習を実施	11 月 20 日・12 月 11 日・1 月 29 日	3	41
暮らしハンディ体験	障害がある方との交流と体験等を通しお互いを理解する場の提供。地域で求められるサポートのあり方を探る	6 月 2 日・9 日・16 日	3	25
市民環境講座「ﾐﾆﾐﾆ菜園講座」	緑のカーテン作りとセンター敷地に四季の野菜を栽培し、食の安全や環境について学ぶ	5 月 15 日～10 月 16 日	12	143
幸町生涯大学	防犯・文学・歴史等の講話や軽体操、医療講座、受講生自主企画講座など高齢者を対象とする教養講座を実施	4 月 22 日～2 月 17 日	11	500
陽だまりサロン	茶話会で話し合い講座の内容を決め、自分史・ブローチ・蒸しパン・伝統料理等を実施	5 月 27 日～12 月 10 日	10	134
学校へ行こう隊	大豆作り・工作・戦争体験・しめ縄作り・昔遊び・和楽器演奏等を通して、小学生と地域の方との交流等を実施。	5 月 12 日～2 月 18 日	12	111
幸町市民センター・児童館ふれあい祭り	各団体・サークルのステージ・展示発表の場と地域住民の交流の場として実施。	10 月 31 日	1	3,000
ハッピーナイトコンサート	市民センター利用サークルと地域の方のダンスやギター演奏等のコンサートを実施	12 月 18 日	1	60
地域懇談会	地域の諸団体と情報や意見を交換する。地域の現状とニーズの把握のために実施。	5 月 21 日・28 日	2	41
ジュニアと遊ぼう	工作やゲームで学校間や世代間交流を図る。ジュニアリーダーに活動の場の提供として実施	12 月 2 日・9 日	2	32
市民企画会「企画委員会」	企画委員となった市民が学習ニーズを事業に反映させ、事業の計画にあたる。	7 月 7 日～2 月 2 日	13	44

田子市民センター

〔沿　革〕

平成11年8月、仙台市で53番目の市民センターとして開館した。仙台市東部に位置し、市中心部と直結するJR 仙石線（最寄駅：福田町駅）や国道45号線等の交通利便性から人口が急増し、近郊都市化が進行している田子地域にある。施設規模としては児童館とコミュニテイ防災センターを併設し、多目的ホールや会議室2室、和室2室、調理実習室、児童館図書室があげられる。幼稚園や小中学校、高校等の教育施設に恵まれ、地域リーダーとして活躍する人材も豊かで、地域づくりに関する住民意識が高く、防災訓練等の特色ある活動が活発に行なわれている。
田子市民センターは、これらの立地要件を活かし、地域団体や学校との連携に努め、事業を展開している。

〔特色ある事業〕

事業名	田子地区地域防災訓練～中学生の地域力～		
参加者	田子中学校生徒・田子中学校区10町内会	参加延人数	545人
開催日	全1回　11 月 5 日(金)		
協力者・協力団体	田子中学校、田子中学校PTA、田子中学校区10町内会、高砂地区第一民生委員児童委員協議会/福田町包括支援センター		
ねらい	田子中学校区 10 町内会と田子中学校が合同で防災訓練を行うことで、生徒と地域住民がお互いの存在を確かめ、発災時における協力体制とそれぞれの役割を認識し、地域住民としての意識を喚起し地域活性化につなげる。		
概要・成果	田子中学校と10 町内会および市民センターが実行委員会を組織し運営する。生徒はいったん帰宅し、「花火」をもって発災の合図とし、各町内会一時避難所での町内会独自の訓練（安否確認・車いす搬送・担架・リヤカー搬送など）を実施する。その後、町内会有志と指定避難所（中学校）に向かい、避難所運営模擬会議・煙体験・消火器体験などの合同の訓練を行う。 地域防災会議として広域に展開でき大きく効果を上げることができた。中学生が地域住民としての意識を高め、年代を越え互いに存在を確認しあい地域力の高まりに通じていく道筋となった。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
田子っこ　親子クッキング	宮城の地場産品（大豆・米粉）を取り上げ地産地消について理解を深めると共に、親子コミュニケーションを図った。	10 月 23 日・30 日	2	20
すてきなママのいろいろ TIME	子どもから離れ日頃の疲れを癒すと共に、日常生活の中でおきがちな子どもの事故の防止方法を学習。気軽にできる親子体操を楽しんだ。	9 月 15 日・22 日・29 日	3	66
あつまれ！にぎやかキッズ！	化学実験や光るキーホルダー作りを通して科学の楽しさに気付く機会を提供した。	10 月 2 日・1 月 29 日	2	41
インリーダー研修会	子ども会活動全般・世話人の役割・レクゲームの進め方を学んだ。	2 月 12 日	1	22
タイルで作ろう！アートに作ろう！	環境美化を目指して絵柄を決めタイルを素材に「破損・汚損」した図書室の壁面美化に取り組んだ。	9 月 14 日・15 日・16 日・17 日	4	87

学びの杜	児童が地域の指導者から遡上する鮭の採捕・採卵の指導を受け、学校で稚魚を育て、放流することを通して、自然環境を守り、命を育むことの大切さを学んだ。	11 月 16 日・22 日・2 月 22 日	3	285
夏の講座	地域の人材や、学校と協力しながら児童に交流と体験学習の場（天体観測、動物とのふれあい、ボッチャなど）を提供した。	7 月 16 日～8 月 7 日	11	295
三館共催事業「郷土七北田川下流域過去から未来へ」	高砂・田子・福室市民センターとの共催で、七北田川下流域の成り立ちや歴史を学び、地域の魅力を再発見し、地元に対する関心と愛着心を高める。	9 月 4 日・11 日・18 日	6	284
介護予防教室	要介護状態にならないための体操、認知症対応の講話	9 月 16 日・30 日・10 月 7 日	3	58
食の市民企画　安全安心クッキング	企画員が育てた伝統野菜（田子芋、仙台白菜、余目の曲がりねぎなど）を用いて、安心・安全な食材の調理を体験し、地域住民との交流を図った。	11 月 19 日	1	27
食の市民企画	有機農法による野菜の栽培をとおして農業全般について学ぶとともに、安全な食品について学んだ。	5 月 14 日～11 月 26 日	14	199
田子老壮大学	高齢者の学びや活動への意欲に応えた講話、運動、そのための自主企画を実施。	5 月 12 日～2 月 8 日	10	580
田子っこの四季	七北田川河畔植物観察会や、地域人材から四季おりおりの伝統行事（伝統七夕作り・正月飾り作り等）について学びながら世代間交流を図った。	4 月 24 日・7 月 2 日・3 日・11 月 13 日・12 月 11 日・17 日	6	62
ミニコンサート in 田子	地域で活躍する音楽家によるコンサート、音楽にのせた朗読の発表を実施。地域住民と交流を図った。	6 月 9 日・12 月 12 日	2	41
みどりなライフ	「緑のカーテン」を作ることで、楽しく環境について学んだ。	6 月 19 日・26 日・7 月 10 日・31 日・8 月 7 日・21 日	6	56
田子地区地域防災訓練～中学生の地域力～	生徒はいったん帰宅し花火を合図に各町内会の一時避難所で活動後、指定避難所に集合し模擬避難所運営委員会開催等の訓練を実施。	11 月 5 日	1	545
市民企画会議「田子を愛する住民塾」	平成１９年度から「地域防災」をテーマに行なってきた。今年度は田子中学校と１０町内会を巻き込んだ田子地区地域防災訓練を実施	5 月 25 日～3 月 31 日	10	461
たごっ子まつり	小中ジョイントコンサート・ステージ発表・展示・模擬店等による地域交流	2 月 19 日	1	2,500
田子市民センター懇談会	地域の課題とその対応方法を懇談会メンバーと市民センターにより定期的に話し合った。	5 月 25 日・6 月 18 日・7 月 16 日・8 月 27 日・2 月 18 日・3 月 5 日	5	85
地元学　企画会	地域住民による学びの交流の中から「わたしが暮らした田子のむかし」再編纂をテーマとし、わかりやすい注釈、写真などを添付し、地元学掘り起こし作業に取り組んだ。	4 月 1 日～3 月 31 日	14	93
はじめよう！緑のボランティア	植栽管理を学び、その知識と技術を地域に還元した。	6 月 4 日・18 日・7 月 2 日・16 日	4	37
図書ボランティア養成・フォローアップ講座	絵本の歴史に始まり、たくさんの絵本の世界に触れると共に図書ボランティアの役割について考えた。	10 月 20 日・27 日	2	16

福室市民センター

〔沿　革〕

この地域は西に七北田川、北は多賀城市に接し、南は仙台港背後地に囲まれた地域で、かつては豊かな田園地帯であった。昭和 30 年～40 年代にかけて住宅地や市営住宅が造成され、住環境が急速に整備された。国道 45 号線、JR仙石線の沿線という利便性から、最近では仙台港背後地の開発や商業施設の増加に伴い、高層住宅、集合住宅が増え、人口は増加傾向にある。旧来の農地は激減したが、今も七北田川周辺の豊かな自然は健在である。当センターは中野中学校区を管轄地域として平成 15 年 3 月に開館し、児童館、コミュニティー防災センターを併設。年々利用者も増加し地域住民の生涯学習の拠点として、広く親しまれ利用されている。

〔特色ある事業〕

事業名	子育てママのピヨピヨカレッジ		
参加者	一歳児未満(第一子)の幼児を子育て中の親子	参加延人数	52人
開催日	全7回 6月18日(金)、7月16日(金)、9月17日(金)、11月12日(金)、12月17日(金)、1月21日(金)、2月18日(金)		
ねらい	当地区は乳幼児を抱える核家族の若い世代が多く居住している。孤立しがちな子育て中の保護者を対象に、子育ての情報交換や悩みを話し合い、支えあう仲間づくりの一助とする。また、子育て中でも社会参加ができることを認識し、自分たちで課題を見つけ解決できるように支援する。		
概要・成果	乳幼児を抱えての防災・ママのホームエステ・骨盤体操で元気な子育て・マネー講座等を行った。毎回、講座後半に実施した参加者全員での交流会でコミュニケーションがとられ、仲間づくりの一助となった。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子育てママの「ピヨピヨカレッジ」	子育て中でも社会参加できることを認識し、子育ての情報交換や悩みを話合い仲間作りの一助とする ・乳幼児を抱えての防災 ・ママのホームエステ ・マネー講座	6月18日・7月16日・8月27日・9月17日・11月12日・2月18日	7	52
インリーダー研修会	子供会運営のノウハウやレクリェーションの技術を学び子供会の活性化を図る	2月5日	1	56
キッズわいわいクッキングクラブ	野菜栽培や調理を通し食の楽しさや大切さを学ぶ	4月24日・5月22日・6月12日・7月10日・8月28日・9月30日・11月19日・12月12日	8	102
ボケとツッコミ講座	「お笑い」を通して同世代はもちろん異世代とのコミュニケーション力の向上を図る	9月20日・27日・10月22日・29日・11月19日・2月6日・13日	7	17

市民企画絵馬と歴史のミステリーウォークラリー	地域の歴史的価値のある遺物等を学び、地域の良さを見直す。また、伝統文化、民俗について学びを深める	9月26日・10月23日	2	35
市民企画　中世・多賀国府と武士	伊達政宗以前の地域の歴史を掘り起こす事で、地域の成り立ち、良さを再発見する	11月20日・27日	2	69
和歌で親しむわたしのまち	地域を舞台に詠まれた歌の背景を紐解き、地域の魅力を探る	6月3日・10日・17日・7月1日・8日	5	124
三館共催事業「郷土七北田川下流域過去から未来へ」	高砂・田子・福室市民センターとの共催で、七北田川下流域の成り立ちや歴史を学び、地域の魅力を再発見し、地元に対する関心と愛着心を高める。	9月4日・11日・18日	6	284
市民センターin 高砂住宅	市営住宅に居住する足腰の悪い方等閉じこもりがちな入居者の為にラフターヨガの出前を行う（町内会、民児協共催）	12月3日・2月20日	2	60
福室老壮大学	高齢者が生涯学習に積極的に取り組むことで充実した生活ができるよう支援	5月26日～2月23日	10	648
ふくむろ和みサロンin中野栄	気軽に集うことができるコンサートの開催で地域住民の交流や世代間交流を図る	2月26日	1	61
社会学級連携事業	地域の方々が大勢で楽しめるコンサート等の企画をする（今回はイケメンズのコンサート）	11月13日	1	104
福室小・中野栄小学校学社連携事業	地域人材や住民と協働しながら地域資源を活用した講座の開催	9月24日・30日・10月1日・11月26日	5	368
ふくむろ防災塾	防災訓練のノウハウを学びながら福室小学校での避難所訓練を計画、実行することで地域の連携と防災意識の向上を図る	5月20日・6月19日・7月17日・9月17日・11月19日・12月17日	6	190
福室市民センターまつり	センター利用者、地域住民の学習成果を発表する場を提供するとともに地域住民の交流を図る	10月16日	1	2,400
地域懇談会	地域課題の収集とセンター事業への理解を深めてもらう場とする	4月16日・6月11日・18日・3月8日	4	49
緑のカーテンプロジェクトF	環境にもやさしい緑のカーテン作りを学び、ボランティアを育成することで地域に緑のカーテン作りを普及させ地域全体で環境対策に取り組む	4月24日・5月22日・6月5日・19日・7月10日・24日・8月28日・11月20日・12月25日	9	68
市民企画会「地域のたからをテーマに企画しよう！	講座の企画運営にかかわることで、まちづくりへの参加意識を向上させる	4月15日～12月2日	15	114

若林区中央市民センター

〔沿　革〕

当市民センターは、昭和 53 年、当時の養種園の改築に伴い、養種園の複合施設として「南小泉市民福祉会館」の名称で開館した。その後、条例改正により「南小泉市民センター」と名称を変えたが、平成5年9月28日、若林区文化センターの新設に伴い移転し、現在の「若林区中央市民センターとなった。旧建物は、児童館・社会福祉協議会等との複合施設となり、「若林区中央市民センター別棟」として運営されている。

若林区文化センターは、市民センター・図書館・市政情報センターが併設されている複合施設であり、当市民センターは地域の生涯学習活動の拠点として多くの区民に活用されている。

〔特色ある(地区館)事業〕

事業名	市民企画講座「アッとたまげた若林―キラリ 女・男・ひと―」		
参加者	若林区民	参加延人数	75人
開催日	全4回　10 月 29 日(金)、11 月 12 日(金)、11 月 13 日(土)、11 月 27 日(土)		
ねらい	若林区在住で、幅広く魅力的な活動をしている「人」を紹介し、あらためて地域のことを発見、再認識する場を提供する。また、地域住民の交流と活性化を図る機会とする。		
概要・成果	1回目:七郷朗読奉仕会の皆さんのお話と朗読　2回目:ユニバーサルファッション工房繕代表者のお話　3回目:ラジオ DJ の顔も持つ徳照寺副住職のお話　4 回目:歌手仙台のジュリーをゲストにラジオ収録 地域の人材を活かすことができた。幅広く活動している地域の人材を知り、改めて地域を再発見し、身近に感じることのできる良いきっかけとなった。		

〔平成 22 年度 (地区館)事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
おはなしと音楽のひろば	読み聞かせボランティアによる絵本の読み聞かせとママさんブラスによる演奏会	7 月 8 日・11 月 30 日	2	164
子育てママのリフレッシュタイム	親の時間と子どもの時間の持ち方のお話と交流会、リフレッシュするためのハンドマッサージとネイルの実技を行った。	11 月 11 日・18 日・25 日	3	23
インリーダー研修会	子ども会のリーダーになる児童及び世話人を対象に子ども会活動についての知識やレクリェーションなどの実技を学習した。	2 月 26 日	1	99
こども夏まつり	ジュニアリーダーや地域のボランティアグループに、本を読んでもらったり、折り紙やゲームを通して楽しみ交流を深めた。	7 月 22 日	1	314
子どもワクワククラブクッキングクラブ	1回目:栄養バランスを考えたワンプレートランチ作り　2回目:小学生親子を対象にアウトドア(海岸公園冒険広場)でクッキング　3回目:クリスマスのメニュー3 品を作った。	7 月 3 日・10 月 2 日・12 月 11 日	3	55
子どもワクワククラブサイエンスたまて箱	1回目:光の三原則を学び乱反射を利用した光る箱を作った。2回目:LED のしくみを学び LED を使ったオルゴールを作った。	8 月 29 日・1 月 23 日	2	32

子どもワクワククラブ工作教室	1回目：自然のものでクラフト作りをした。道具の使い方も習った。2回目：磁石で人形を動かすことができるペーパークラフトを作った。	8 月 1 日・21 日	2	18
やってみよう！ノルデック	ノルディックウォークについての講話と実技	9 月 4 日・11 日・18 日	3	48
仙台七夕に願いを	折り紙ボランティアの皆さんの指導で、七つ飾りを中心とした七夕をつくり、文化センターのエントランスホールに飾った。また、来館者にも短冊に願い事を書いてもらい、笹だけに飾った。	7 月 2 日・9 日・16 日・23 日	4	38
市民企画講座「アッとたまげた若林～キラリ女・男・ひと～」	1回目：七郷朗読奉仕会の皆さんのお話と朗読　2回目：ユニバーサルファッション工房繕代表者のお話　3回目：ラジオ DJ の顔も持つ徳照寺副住職のお話　4 回目：歌手仙台のジュリーをゲストにラジオ収録	10 月 29 日・11 月 12 日・13 日・27 日	4	75
若林区民文化セミナー	「伊達政宗の城造りと防衛戦略」 第1部 なぜ「仙台」だったのか？　第2部 政宗の仙台防衛構想　第 3 部 若林城はなぜ造られたのか？のテーマで講演。他に、各市民センターの講座レポート等をパネルに展示	2 月 27 日	1	141
本の世界は夢いっぱい	図書館のバックヤード見学と図書館の上手な活用方法を学び、また図書館職員によるブックトーク実演	9 月 14 日	1	18
健康アップ体操	健康増進のためのウォーキングやストレッチ、肩こりや腰痛改善のための体操、転倒予防のためのエクササイズを学んだ。	10 月 7 日・14 日・21 日	3	51
南小泉老壮大学教養コース	食生活、歴史、社会、異文化などの多様な内容での講座を行った。	4 月 14 日～3 月 2 日	11	852
南小泉老壮大学健康コース	健康に関する講話や実技を中心に映画鑑賞、朗読などの講座を行った。	4 月 28 日～3 月 9 日	11	827
タぐれどきのミニコンサート	宮城県仙台第一高等学校吹奏楽部、若林区吹奏楽団、齋藤惣一朗氏による歌や演奏等のミニコンサートを行った。	7 月 24 日	1	130
南小泉老壮大学公開講座	東北弁での落語（川野目亭南天）と漫才（今野家なにもかにも）を通して、コミュニケーションツールとしての言葉の大切さを学んだ。	2 月 6 日	1	677
社会学級連携事業企画会	南小泉小学校社会学級と地域ニーズに沿った事業を実施するために企画会を行った。	6 月 2 日・7 月 2 日・8 月 6 日・8 月 27 日・9 月 17 日	5	15
ミュージックあ・ら・かると	市民センターや地域で音楽活動している8団体の皆さんが実行委員となってコンサートを運営した。	1 月 16 日	1	118
若林区中央市民センター学習発表フェスタ	地域や若林区中央市民センターで活動しているサークルや個人が、日頃の成果を発表する場として行った。	2 月 19 日・20 日	2	2,136
若林区中央市民センター事業懇談会「田んぼっ区懇話会」	地域の課題やニーズを話していただき、主催講座に関しても提案をいただいた。	5 月 29 日・9 月 25 日	2	11
読み聞かせボランティア　養成講座	ボランティアとしての心構えを学習したうえで、読み聞かせの方法や絵本の選び方、わらべ歌などを教わり、実際に読んでみて指導を受けた。	5 月 21 日・28 日 6 月 4 日・11 日・18 日・25 日	6	138
市民企画会「若林をもっと知ろう」	企画スタッフが職員とともに地域の学習ニーズや課題を話し合い、「若林をもっと知ってもらう」講座を企画立案、実施にあたった。	5 月 12 日～12 月 7 日	14	30

七郷市民センター

〔沿　革〕

地元住民の要望により七郷公民館として昭和 58 年 4 月に保健センター・コミュニティ防災センターの複合施設として開館。平成元年には、七郷公民館・市民センターと呼称し、若林区の拠点館となる。平成 2 年七郷市民センターと改称。平成 5 年 9 月には若林区中央市民センター開館に伴い、拠点館機能を移行した。平成 14 年 4 月児童館を併設、さらに平成 22 年 2 月大規模改修工事を終え、リニューアルオープンした。

近年、荒井土地区画整理事業により新しい街並みが形成され、加えて地下鉄東西線整備事業も荒井起点ルート決定で、市民センターの果たす役割は大きくなっている。新旧住民が交流しながら発展する街づくり、文化づくりに市民センターは機会と場を提供している。

〔特色ある事業〕

事業名	第 27 回七郷市民まつり		
参加者	地域住民	参加延人数	15，000人
開催日	11 月 27 日(土)・28 日(日)		
協力者・協力団体	連携：七郷地区連合町内会、七郷学区民体育振興会、社会学級、婦人防火クラブ、JA他		
ねらい	市民センターを利用している団体やサークルに学習成果の発表の場を提供し、生涯学習活動への意欲を高める。地域内外住民との交流の場とし、地域の活性を促す。		
概要・成果	地域の関係団体が実行委員会の中心となり、地域住民で作り上げていく事業。 また、祭りにかかわることにより地域社会との連携、コミュニティづくりの活性化に繋げる。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子育て応援講座「大丈夫！行き詰らない子育て法」	子育てに関する悩みについて、何に原因があるのかに気づき、改善していく方法を学ぶ。講話と話し合い。	7 月 8 日・15 日・22 日	3	25
七郷子どもクラブ	週休2日制における子ども達の居場所づくりと、子ども達を取り巻く環境の充実を図る。料理教室、マジック教室等	6 月 5 日・19 日・7 月 23 日・9 月 25 日・2 月 18 日	5	96
インリーダー研修会	子ども会活動の充実と活性化を図るためのインリーダーと世話人に対する研修。講話、演習、実技。	2 月 26 日	1	61
荒浜キッズ	ふるさとの歴史・文化・伝統を学ぶ世代間交流	12 月 18 日・1 月 22 日・2 月 19 日	3	43
メンタルヘルス講座「心の病の回避法と対処法」	誰もがかかる可能性が高い「心の病」の見分け方と予防法について学ぶ。講話と話し合い。	3 月 5 日	1	10
人生をもっと豊かにする講座「隠れた自分の魅力を発見しよう！」	「心理テスト」「美術手法」などを通して、自分の人生を見つめ直し、更なる人生を豊かで有意義なものにする。	7 月 28 日・8 月 4 日・11 日	3	37

「ノルディックウォーキング」で荒浜を歩こう	ノルディックウォーキングを体験し実践する事によって健康づくりへの意識を高め、取組んでいく環境づくりをする。	6 月 10 日・17 日・24 日	3	34
健康リフレッシュ運動講座 「エアロビ・有酸素運動に挑戦！」	無理なく楽しくリフレッシュできる有酸素運動を行うことで、体力と免疫を増加させる事の大切さを知り、健康について前向きに考える。エアロビクス。	9 月 3 日・10 日・17 日	3	22
温故知新講座 「藤沢周平を最も知る人のお話」	藤沢周平の文学を学ぶことにより現代社会、地域社会にも通じる人間的ふれあいやお互いのやり取りを学び取る。	12 月 17 日	1	32
七郷歴史探訪	七郷の地域の歴史を学ぶことにより地域への愛着と興味関心を深める。七郷かるたを資料として活用した講話や散策の実施。	9 月 25 日・10 月 2 日・9 日・16 日・23 日	5	98
いいっちゃ、仙台弁と七郷カルタ	七郷カルタを使って地域の歴史を学ぶ	11 月 5 日	1	25
メンズクッキング	基本的な調理法を学ぶことによって自立的な生活力を高め、男性の家事参加を促進する。健康的な食習慣の実践につなげる。	1 月 29 日・2 月 5 日・12 日	3	41
パソコン講座 「パワーポイント編」	中学生との広報誌作りを通して世代間交流を深めながら社会活動での自信を高める。	1 月 29 日	1	10
第 28 回 七郷老壮大学	地域の高齢者が生き生きと生活するための生きがいづくりや学習の場を提供する。健康・音楽・文化・経済・自然科学様々な分野の講話や実技。	4 月 21 日～3 月 2 日	11	993
街かどコンサート	市民文化事業団と共催によるコンサート	3 月 5 日	1	68
七郷防災講座 ～防災の意識を高めよう～	地域連携防災講座	9 月 2 日・30 日・10 月 7 日	3	81
「七郷学びの応援隊」企画会	身近で関心が高い地域課題について理解を深め、その解決のための講座開催に向けて企画会議を運営する。	5 月 27 日・6 月 3 日・10 日・17 日・24 日・10 月 21 日・28 日	7	49
リニューアルオープニングセレモニー	リニューアルオープンを記念し、センター利用者を主体としたサークルの演芸発表と記念講話を行う事によって、地域住民との交流と親睦を図る。	4 月 17 日	1	0
第 27 回七郷市民まつり	市民センターを利用している団体やサークルに学習成果の発表の場を提供し、生涯学習活動への意欲を高める。地域内外住民との交流の場とし、地域の活性を促す。	11 月 27 日・28 日	2	15,000
地域『懇和』会	地域の方々からの様々な要望や意見を聞き出し、市民センターがそれらを反映できるような企画・運営を行う。併せて親睦を深める。	2 月 6 日・3 月 6 日・8 日	3	40
傾聴ボランティア講座 「話を引き出す聴き方とは？」	傾聴には、塞いでしまった心の扉を少しずつ開放し活性化していく効果がある。このスキルを身につけてボランティアにつなげ、自らもやりがいを見出す。講話と実践。	6 月 16 日・23 日・30 日・7 月 7 日	4	70
ジュニアリーダーと遊ぼう	ジュニアーリーダーと一緒に様々な遊びを通して、集団遊びの楽しさや体験学習の大切さを学ぶ。	1 月 6 日	1	53
「七郷の防災講座」企画会	宮城県沖地震の時は、多数被害が出た地域である七郷地区。必ず来るといわれている宮城県沖地震にそなえて、地域で出来ることを学ぶ講座を企画する。	5 月 21 日・6 月 4 日・18 日・7 月 9 日・8 月 28 日	5	34

荒町市民センター

〔沿　革〕

昭和 47 年に旧斎藤記念館を全面改築し、「荒町市民福祉会館」として昭和 48 年 5 月に開館した。昭和 58 年 4 月「荒町市民センター」と名称変更になり今日に至る。建物は施設の老朽化と機能拡充の必要性から現在地に改築され新館として平成 22 年 2 月 2 日にオープンした。

当市民センターは、仙台市のほぼ中心部、昔からの老舗街である荒町商店街の一角に位置しており、仙台藩の名残を今尚残している地域である。

また、地下鉄五橋駅から徒歩 5 分、JR 仙台駅から徒歩 20 分と交通の便に恵まれ地域の方はじめ市内全域から多くの市民に利用されている。日中はもとより、夜間も勤め帰りの勤労者の活動の場として、幅広い年齢層に活用されている。

〔特色ある事業〕

事業名	あらまち子ども企画室		
参加者	地域の小中学生	参加延人数	144人
開催日	全26回 5 月 14 日(金)、5 月 28 日(金)、6 月 4 日(金)、6 月 13 日(日)、6 月 18 日(金)、7 月 9 日(金)、7 月 18 日(日)、8 月 20 日(金)、9 月 3 日(金)、9 月 10 日(金)、9 月 23 日(木)、10 月 1 日(金)、10 月 2 日(土)、10 月 13 日(水)、11 月 5 日(金)、11 月 19 日(金)、11 月 26 日(金)、12 月 3 日(金)、12 月 17 日(金)、12 月 23 日(木)、1 月 7 日(金)、1 月 14 日(金)、1 月 21 日(金)、1 月 28 日(金)、1 月 29 日(金)、2 月 11 日(金)		
協力者・協力団体	荒町社会学級、ジュニアリーダー(ワンマイル荒町)		
ねらい	この地域は核家族世帯が多く、世代間交流も少ないため、地域にすむ様々な人と交流する機会を作る。そこで地域の小中学生が一年を通した活動計画をたて、地域人材や地域で活動するジュニアリーダーを助言者として活用し、子供の主体性や社会性を養う。		
概要・成果	一年間通しての活動で、異学年の交流ができ、子ども達同士良い関係を築くことができた。センター所属のジュニアリーダーが一緒に活動し、子ども達の中から次年度ジュニアとして活動する子も出てきた。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
荒町でつながろう～子育ての輪～	子育て中の母親対象に地域で支えあえる関係づくりを目指す。	10 月 29 日・11 月 26 日・2 月 25 日	3	41
あらまち子ども囲碁クラブ	囲碁を通して子どもたちに余暇活動の場を提供し、地域の囲碁ボランティアとの交流を図る。基礎と対局　囲碁指導ボランティアの数を増やしながら活動する。	4 月 10 日～2 月 26 日	22	169
インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活動する児童と世話人を対象にした講座。講話「子ども会活動について」 実技「レクリエーションゲームの進め方」	2 月 19 日	1	63
あらまち子ども企画室	地域の小中学生が自ら一年を通した活動計画を立て、地域に住む様々な人と交流する機会を作る。地域人材やジュニアリーダーを助言者として活用し、子どもの主体性や社会性を養う。	5 月 14 日～2 月 11 日	26	144

郷土史講座	郷土史に関心を持つ学習者対象に開催し地域活性化への一助とする講座。 明治維新から第二次世界大戦頃に活躍した仙台藩士にスポットをあて、市井の人々の暮らしに迫る。	6 月 10 日～9 月 16 日	10	477
荒町いきいき講座	聴覚障害者を対象に、気軽に参加できる情報交換や生涯学習の場を提供する講座。 仙台の参加型イベント「すずめ踊り」を楽しむため、ステップなどを体験する。	9 月 9 日・16 日	2	52
若林区民文化セミナー	若林区を中心にした歴史学習	2 月 27 日	1	141
あらまち町民大學シルバーセミナー	地域高齢者が健康で心豊かな生活を送るために、生涯学習の機会を提供する。健康・くらし・教養・社会問題などの定例講座とコーラス・ハーモニカ・散策・川柳などのクラブ活動を支援。	4 月 21 日～3 月 2 日	11	700
介護予防教室	五橋地域包括支援センターとの共催で、介護予防の知識を提供する。広く地域住民の関心を高め介護予防の向上を図る。	5 月 20 日・27 日・6 月 4 日・18 日・7 月 15 日	5	109
伝統の仙台七夕	地域を盛り上げるため荒町の七夕に参加し、地域活性化の一助とする。 講話「仙台七夕の由来」 実習「七夕飾り作り」	6 月 22 日・29 日・7 月 6 日・13 日・27 日	5	129
すずめ踊り　お囃子盛り上げ隊	仙台伝統のすずめ踊りを継承・継続するために、すずめ踊り自主サークル「荒町すずめっこ」専属のお囃子養成を目指す。	4 月 18 日～8 月 2 日	14	137
社会学級連携事業～つながる力を広げよう～	社会学級生と地域住民がともに学ぶことにより、教育力の向上、ネットワークの活性化を図る。	11 月 20 日・1 月 15 日	2	47
荒町市民センターフェスティバル	地域住民及び利用サークルによる作品展示、ステージ発表をすることにより生涯学習の振興及び地域住民の交流とコミュニケーションづくりの促進を図る。	10 月 2 日・3 日	2	1,250
荒町事業運営懇談会	センターの事業運営をより良いものにするため、地域住民・地域団体代表者・利用者を対象に、意見および情報交換・要望聴取、事業運営についての説明・協力要請などを行う。	6 月 11 日・11 月 19 日・2 月 18 日	3	27
本の楽しさを伝えよう	活動中のサークルのスキルアップを目指す。子どもと保護者のためのお話会について学ぶ。	9 月 3 日・10 日・17 日・10 月 12 日	4	41
ママの企画会議室	地域に若い世代の転入が増えているため、子育て中の保護者につながりの場を提供するとともに、自ら課題を見つけ解決するための機会を設ける。	6 月 1 日・15 日・11 月 12 日・26 日・2 月 25 日	5	34

六郷市民センター

〔沿　革〕

昭和 56 年地域住民の福祉増進を目的に、保健センターとの複合施設「六郷市民福祉会館」が開館し、昭和 58 年に「六郷市民センター」と名称を改め地域の社会教育活動の場として地域に定着した。平成元年には公民館としての機能が加わり、平成 2 年には「六郷児童館」が併設され、生涯学習の拠点として現在に至っている。

六郷地域は名取川と広瀬川の合流点を有しており、河口には美しい干潟や貞山堀運河、屋敷林の居久根など自然環境や伝統が残されている。農業地域である東六郷地区と宅地化が進む新旧住民の混在する六郷地区に二分され、高齢化が進んでいるものの、1 万5千人弱の人口で推移している。

〔特色ある事業〕

事業名	六郷地域防災事業		
参加者	一般	参加延人数	477人
開催日	全2回　7 月 31 日(土)、11 月 6 日(土)		
協力者・協力団体	連携:六郷地区防災対策推進委員会(町内会、小・中・高等学校、老人クラブ、婦人防火クラブ、消防団他)		
ねらい	高い確率で発生が予想される宮城県沖地震に対処するため、市民が自分自身の安全を確保し、地域においても被害状況の把握や、要援護者のサポートなどにより被害を最小限度にとどめるような地域防災体制の確立に向けて、自主的な防災訓練を行う。		
概要・成果	7月の講座では、2年前の栗原市での地震災害時に実際に救助活動をした、若林消防署職員にスライド等を通しながら地域コミュニティの災害対策の必要性を学び、意識を高める機会にすることが出来た。11 月の防災訓練では、地域住民や各諸団体役員等383名の参加が有り、災害への関心の高さがうかがえた。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
中高生のための「六郷倶楽部」	地域の中高生の居場所作り、仲間作りの支援として、中高生が気軽に参加できる講座の開催や自主活動の支援を行う。	12 月 18 日・2 月 5 日・2 月 12 日	3	73
六郷ウィンタースクール	センターで活動しているサークル等を講師とし、小学生の社会学習の場や異年齢間交流の場を提供する。	1 月 5 日・6 日・7 日	3	38
インリーダー研修会	地域の子ども会活動の充実を図るために、子ども会活動に必要な知識等を学習する場を提供する。	2 月 19 日	1	45
公開講座「六郷を探る」	六郷の地域資源である歴史や自然について学ぶことで、六郷の良さを再発見し地元への愛着心を育てる。	1 月 29 日	1	37

貞山堀でノルディックウォーキング	仙台市の高齢者福祉計画に基づいたノルディックウォーキングを利用した健康づくりを進めるとともに、地域魅力を発信する。	6 月 12 日	1	14
若林区民文化セミナー	若林区には様々な文化・歴史・自然等の地域資源が豊かに存在している。「若林区民文化セミナー」を実施することで、地域の隠れた魅力を再発見し、地域固有の資源を最大限に活用した地域づくりを行う契機とする。	2 月 27 日	1	141
六郷あすなろ大学	地域の高齢者が生き生きと生活するために、生きがい、健康、教養を中心とした学習の場を提供すると共に、受講生同士の親睦を図る。	1 月 20 日・2 月 17 日・3 月 10 日	3	217
街かどコンサート	街へのアクセスが不便な地域がら、子供達や年配者が演奏会に出向く機会は少なく、改修工事後の市民センター利用拡大にに繋がるよう、地域住民や家族が気軽に生演奏を聴けクラシック音楽が身近に感じられるよう演奏会を開催する。	3 月 6 日	1	40
六郷地域防災事業	近い将来起こることが予測される災害に備え、地域防災体制の確立に向けて自主的な防災訓練、啓蒙のための講演会等を行う。	7 月 31 日・11 月 6 日	2	477
市民センター事業運営懇談会	地域の課題検討を通じて市民センターの役割を明確にする中で、センターの運営や事業に対しての理解を得るとともに、聞き取った地域住民の意見を今後の事業等に反映させる。	7 月 9 日・11 月 9 日	2	23
「ハートフル六郷」市民企画会議	心通う温かみのある地域づくりを目指し、六郷地区の地域団体とともに、地域交流の場、地域住民のふれあいの場の提供を目的とした事業の企画を模索する。	9 月 21 日	1	12

沖野市民センター

〔沿　革〕

当市民センターは、平成３年４月、児童館・老人福祉センター及びデイサービスセンターとの複合施設としてオープンした。平成 4 年センター前広場には、芝生と多種の木が植えられ「光と風」を設計コンセプトとした豊かな広場を持つ市民センターとして、地域住民の憩いとふれあいの場所として利用されている。

地域住民の生涯活動に対する関心は高く、また自主サークル活動も盛んであり、その利用者数は年々増加の傾向にある。

〔特色ある事業〕

事業名	沖野で地産地消～スローフード～		
参加者	成人	参加延人数	73人
開催日	全4回　9 月 29 日(水)、10 月 6 日(水)、10 月 20 日(水)、12 月 2 日(木)		
協力者・協力団体	JA仙台、近隣農家		
ねらい	自然に恵まれ、田畑が点在している地域の特徴を生かし、農業や食の安全について学び地元産の野菜を使った調理実習や農園見学を通じてスローフード・地産地消について考える。		
概要・成果	地域の農業について学んだり、交流したり、地産地消やスローフードについての理解を深めた。地元産の野菜を使った料理を学び、地元野菜に対する理解を深め、食材の良さを見直すきっかけとなった。 また、学んだ成果を小学校の豆腐づくりの授業に協力する形で、地域貢献につなげることができた。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
おはなし　いっぱい	お話や読み聞かせを開催し、豊かな感性を養い夢を育む機会とする。	6 月 16 日・7 月 21 日・9 月 22 日・2 月 5 日	4	81
インリーダー研修会	子供会活動の充実を図る為、児童及び世話人が子供会運営の知識や進め方を学ぶ。	2 月 19 日	1	52
仙台七夕七つ飾りを作ろう	伝統的な仙台七夕七つ飾りの作り方を通して地域の高齢者と交流する。	6 月 26 日・29 日・7 月 9 日・16 日	4	342
学校・地域連携事業バイリンガル沖野っ子	国際化に対応できる感覚を身に付けたバイリンガル沖野っ子の誕生を目指し、ゲーム感覚で英語に親しむ。	11 月 6 日・13 日・20 日・27 日	4	17
語り部による「宮澤賢治の童話鑑賞」	語り部による宮澤賢治の童話を鑑賞することにより、賢治について興味をもち、調べようとする態度を育み、読書量が増すよう方向付けをする。	10 月 19 日・11 月 19 日	2	155
沖野で地産地消～スローフード～	地域農業や食の安全について学び、地元産の野菜を使った調理実習や農園見学を通じてスローフード・地産地消について考える。	9 月 29 日・10 月 22 日・11 月 26 日・12 月 2 日	4	73

パークゴルフで地域の輪	自然豊かな海岸公園の施設を知る機会を提供しながら、誰でも楽しめるスポーツを通じて地域活性化に繋げる。	4 月 21 日・5 月 28 日・6 月 25 日・9 月 8 日	4	73
地域施設交流事業～ボッチャに挑戦～	障害の有無に関係なく楽しめるボッチャを通して心のバリアフリー社会を目指す。	9 月 15 日・22 日	2	104
支え合いのまち沖野	講話・体操などを通して高齢者同士が支え合い気軽に参加できる環境づくりを目指す。	9 月 17 日・10 月 19 日・12 月 11 日・1 月 19 日	4	152
沖野耕友大学	講話・健康体操・音楽鑑賞自主企画講座など高齢者が学習することにより社会参加、交流を図る。	5 月 14 日～3 月 11 日	12	624
学校・地域連携事業「パソコン寺子屋」	小学校のパソコンルームを使いパソコンを学び地域に全体でパソコンのレベルアップを図る。	7 月 17 日・22 日・11 月 13 日・20 日・12 月 11 日・25 日	6	49
ふれあいコンサートin おきの 2010	地域で活動したり、センターを利用している音楽サークルが一同に会し成果を発表し地域の交流を図る。	11 月 27 日	1	380
沖野地区市民まつり	地域コミュニティの拠点として生涯学習活動者の成果発表の場とする。	11 月 2 日・3 日	2	5,600
懇話会	地域情報の収集とセンター事業に対する理解を深める為意見交換の場とする。	6 月 10 日・11 月 17 日・2 月 9 日	3	30
市民センターへ行こう・ジュニアとあそぼう（ザリガニ釣り）	ジュニアリーダーに活動の場を提供し自らの運営で小学生と交流する。	7 月 24 日・25 日	2	66
読み聞かせボランティア　フォローアップ講座	センターで養成したボランティアの活動内容を充実させる為、知識や技術を学ぶと共に、新たにボランティアを養成する。	5 月 13 日・20 日・27 日・6 月 3 日	4	140
市民企画会議	地域の様々な人と音楽祭開催に向け、協働体験を通じて行動する力を養い、市民協働を推進する為に企画会を実施する。	5 月 11 日・25 日・6 月 8 日・22 日・7 月 8 日・22 日・8 月 12 日・26 日・12 月 1 日	9	141
サークル体験講座	何か始めたいと考えている人々に、各種サークルの活動を紹介することで学習のきっかけを提供し、同時にサークル活動の活性化も図る。	4 月 17 日～7 月 16 日	13	40

若林市民センター

〔沿　革〕

当市民センターは、平成3年4月に若林児童館、コミュニティ防災センターの併設施設として開館した。以来、地域の社会教育活動や福利厚生活動に活用され、親しまれて現在に至っている。管内は政宗ゆかりの史跡や商人街の歴史を伝える町名を残し、広瀬川の自然に恵まれている。また、平成6年度から地域町内会等と一体となった「若林ふれあいまつり」を開催し、平成9年度からはコスモスを育て、その開花時に地域住民が集う「若林コスモスまつり」を定例行事として開催している。

〔特色ある事業〕

事業名	地域に交流の輪を広げる「はーとふるサロン」		
参加者	地域住民	参加延人数	企画会議：32人 サロン：82人
開催日	企画会議 全6回 9 月 1 日(水)、9 月 8 日(水)、9 月 15 日(水)、9 月 22 日(水)、9 月 29 日(水)、3 月 9 日(水) サロン 全3回　12 月 15 日(水)、2 月 16 日(水)、3 月 3 日(木)		
ねらい	核家族化が進み地域交流の機会が少なくなってきている。市民センター利用者に呼びかけ、地域交流の輪を広める企画を考え、市民センターに気軽に立ち寄れる場を作る。		
概要・成果	市民センターや児童館を利用している人たちが企画員となり託児を付けた子育て中の方も含めて闊達で新鮮な意見が多く出された。 趣旨や記録を確認しながら進めた結果、内容の濃い 3 講座が企画された。 1 回目：食卓に彩りを添える折紙　2 回目：若林 3 丁目の昔遊び　3 回目：雛サロン 地域の方たちは昭和時代の物品や作品の提供などでも関わり子ども連れとの交流の輪を広げ、好評だった。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
パパとあそぼう～「パパ友もつくろう」の巻	父親と子どもが遊びを通してコミュニケーションづくりをする場を設け、父親の子育て参加を促す。	7 月 25 日・8 月 8 日・9 月 5 日	3	47
インリーダー研修会	子供会活動の充実を図るため、子供会のリーダーや世話人が、子供会活動の進め方やゲームなどを学ぶ	2 月 26 日	1	75
地域を知って好きになろう	若林小学校5年生対象に若林歴史かるたを素材に地域について学び、地域を知るとともに良さを再認識する。	7 月 29 日・10 月 27 日	2	51
仙台再発見！ 伝承七夕を作ろう	古城小学校 5 年生と PTA、地域の方を対象に仙台七夕の成り立ち等を学び、作った作品を施設や学校に飾ることで地域の人にも伝統文化を伝える。	5 月 25 日・6 月 26 日・7 月 6 日・12 日・16 日・21 日	6	447
子育て世代の方へ ～書でアート～	子育て世代の人が「書」を自己表現の手段として描くことで自分らしさを再認識し、これにより余裕ある子育てとする。	5 月 19 日・26 日	3	34

介護者のメンタルヘルス	介護する人がストレスを溜め込まないよう、心の持ち方やストレスのかわし方を知るとともに、健康的な生活を送る知恵を学ぶ	1 月 26 日・2 月 2 日・9 日	3	41
働きマンのトキメキ時間割	市民センターの利用が少ない働き盛りの20～30代の人の利用を促し、交流、仲間作りを図る。	10 月 24 日・11 月 6 日・20 日・12 月 4 日・18 日	5	55
若林区民文化セミナー	若林区に存在する文化的資源を知る機会を提供し、これらを活用した地域作りの契機とする。	2 月 27 日	1	141
エコ夢考房	家庭の中で眠っている不用品を生活用品に再利用する方法を学び、環境問題への関心を高める。	7 月 13 日・23 日・30 日	3	21
若林老壮大学	高齢化社会の幅広い内容の学習を行い、生きがいのある生活の確立を目指す。	4 月 16 日～3 月 4 日	12	974
四季のコンサート	地域の人に、身近なセンターでさまざまなジャンルの音楽を聴く機会を提供するとともに、人々の交流の場とする。	4 月 24 日・7 月 24 日・10 月 31 日・1 月 22 日	4	224
地域に交流の輪を広げる「はーとふるサロン」	地域の人々が気軽に集えるよう、企画員が企画したサロンを開催し、地域住民の交流の場とする	12 月 15 日・1 月 28 日・3 月 3 日	3	82
若林ふれあいまつり	市民センター利用団体の作品展示やステージ発表の場とするとともに、地域団体などと連携し、地域の人の交流の場とする。	6 月 27 日	1	2,000
若林コスモスまつり	地域で育てたコスモス園の周辺で、ステージ発表や出店を行い、地域の人々の交流の場とする。	10 月 9 日・11 日	2	730
若林地域懇話会	地域の方々と地域課題やニーズの意見交換を行い今後の講座の参考とし、生涯学習の場として機能の充実を図る。	10 月 5 日・2 月 26 日	2	21
コスモスボランティア・ステップアップ講座	コスモスまつりに向けて養成したボランティアの増員を図り、花を育てるより高度な技術を学び、地域に広める。	6 月 19 日・7 月 3 日・17 日・8 月 21 日・9 月 4 日・18 日・10 月 2 日・16 日・11 月 20 日	9	61
庭の助っ人・選定ボランティア養成講座	高齢者世帯などへ庭木の剪定をするボランティアを養成し、地域貢献を図るとともに、人に優しい地域社会を目指す。	6 月 5 日・12 日・19 日・7 月 3 日 10 日・17 日・11 月 27 日	7	26
ジュニアと遊ぼう	ジュニアリーダーによる遊びを通して地域の子どもたちの交流を深め、ジュニアリーダーの広報を図る。	10 月 11 日	1	60
はーとふるサロン企画会議	サロンを運営するにあたり企画員がアイデアを出し合い、地域の人々が気軽に集えるように話し合う。	9 月 1 日・8 日・15 日・22 日・28 日・29 日	6	32

太白区中央市民センター

〔沿　革〕

太白区中央市民センターは、平成 11 年 6 月長町商店街の中核をなすJR長町駅前に太白区文化センター、太白図書館、太白区中央児童館及び太白区情報センターからなる複合施設として開館した。JR長町駅前と国道旧 4 号線沿道という立地条件に恵まれ、バスや地下鉄などの公共交通機関の利便性に優れているため、近隣の広い地域の市民が学習活動に利用している。

当市民センターの周辺地域は、昔から仙台市南部地域における商業の中心として活況を呈してきた歴史のあるところであるが、近年においては地下鉄沿線の開発が著しく、大規模小売店の進出やマンション建設が進み、またJR東北本線の高架化やJR長町駅の移設に伴う新駅の開通などに伴い、長町地区の交通の利便性が更に増し今後大きく変貌を遂げようとしている。

〔特色ある（地区館）事業〕

事業名	市民企画講座「長町名物物語～お土産品開発～企画会議」 ながまちおみやげプロジェクト		
参加者	成人	参加延人数	企画会議：65人 プロジェクト：31人
開催日	企画会議：全6回 5 月 27 日(木)、6 月 3 日(木)、6 月 10 日(木)、6 月 17 日(木)、6 月 24 日(木)、7 月 1 日(木) おみやげプロジェクト：全3回 10 月 7 日(木)、12 月 3 日(金)、1 月 8 日(土)		
協力者・協力団体	(株)宝饅頭本舗、(株)ささ圭		
ねらい	長町地区は昔から物資の流通の拠点であったが、それ故か特産品、お土産品が見当たらない。そこで長町地区限定のお土産品を開発し長町地区をアピールすることで地域活性化の一助とする。		
概要・成果	企画員は、一つのものを作り上げていく困難さを体験しながら、良いものを作ろうと気迫がこもった議論を重ね、「ながまちおみやげプロジェクト」で、「がんづき」「まんじゅう」「鮭ハンバーグ」の試食会を行うことができた。 おみやげを開発するという目的を掲げることで、その到達するまでの過程で地域課題の共有や地元商店主の方々とのつながり、また地元の歴史や風土等現状リサーチをする際にもこれまで知られなかった様々なことが再認識された。		

〔平成 22 年度 （地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子育てをもっともっと楽しく～ココロとカラダに元気をチャージ～	1回目は親子で体を使って歌や音楽に合わせて楽しく遊び、2回目は託児つきで、親はおもちゃ作り、3回目も託児つきの調理実習でおやつ作りをした。2、3回目には職場体験の中学生も参加。	11月11日・18日・25日	3	40
まちのお菓子屋さんをオープンしよう！	子どもたちが自分の住んでいるまちを歩き、食材や地域の食文化・地域の人材などを調べたり、おやつ作りに挑戦する体験を通して、長町地域のまち資源と地域性・生産から流通など、地域と食環境の関わりを学んだ。	9月11日・18日・10月2日	3	88
インリーダー研修会	子ども会活動の活性化を図るために、子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象にした研修を行った。	2月19日	1	83
ながまちっこ倶楽部	学校を離れ、様々な体験学習を重ねることで、社会性を身につけようと、科学実験、国際理解プログラム、夏のおやつ、ベガ号等を実施。地域の人々との関わり、触れ合う機会を提供した。	8月20日・21日・22日・10月15日・	4	43

ウエルカムながまち転入者家族講座	転入者への情報提供と、暮らしをエンジョイできるよう仙台弁、歴史散歩、郷土料理、情報交換会を実施し仲間つくりのきっかけとした。	5月8日・15日・22日・29日	4	49
太白区中央老壮大学校　公開講座	1回目は、区内祭事（フェスタ）に参画し落語を通して地域や人との繋がりを深めた。2回目は、マリンバ演奏を通して広く市民に生涯学習活動の魅力を推進できた。	10月24日・2月18日	2	1,107
太白区中央老壮大学校 いきいき健康コース	地域や人との関わりの中で毎日を心豊かにいきいきと健康的に過ごしていくために高齢者に学習する機会を提供した。	5月14日・6月4日・7月2日・9月3日・10月1日・24日・12月3日・1月7日・2月18日	9	577
太白区中央老壮大学校 せいかつ教養コース	健康・文化・音楽・生活等、広範囲にわたって時代に即した事柄を、講話や実技・館外学習等で学んだ。	5月14日・6月11日・7月9日・9月10日・10月8日・10月24日・12月17日・1月14日・2月18日	9	706
太白区中央老壮大学校 ふるさと文化コース	コースの特徴を活かし、地域の歴史・文化・習慣などを学び、学習成果の発表の場を設けるなどして自主的な活動促進と交流を図った。	5月18日・6月18日・7月16日・9月17日・10月24日・11月19日・12月17日・1月21日・2月18日	9	664
ながまち夜のプロムナード	1回目は地域で活動している団体とストリートジャズフェスの参加者によるコラボ演奏会、2回目は同じくストリートジャズフェスの常連参加団体による演奏会を開催。	8月21日・2月12日	2	130
市民企画講座 ながまちおみやげプロジェクト	市民企画講座「長町名物物語」により企画した。長町地区限定のお土産品を開発しアピールすることをねらいとした第一弾。	10月7日・12月3日・1月8日	3	31
町内会ハートフル出前講座	「成年後見制度」について講義を聞き知識を深めたことにより地域住民の心配が少しでも解消される機会に繋がった。また連携したことで市民センターについての理解や関心を高めることができた。	9月24日	1	25
社会学級連携事業企画会議	地域活性化と地域ネットワークの構築を図る目的で、社会学級と連携し事業を行った。	5月26日・6月23日・9月1日・22日・10月20日・2月9日	6	45
社会学級連携事業	社会学級と連携し事業を行うことで、地域における諸問題を共有し、それらを解決するためのきっかけとなった。	12月1日・2月2日	2	140
ながまち交流フェスタ2010	今年度は1日のみの開催で、太白区文化センター・楽楽楽ホール・太白区中央市民センター全館を使用して、舞台発表部門・展示発表部門・体験味覚部門それぞれの発表をおこなった。	10月24日	1	2,500
魅力アップ懇話会	当センターの事業をより魅力あるものにするために、町内会・地元商店会・生涯学習ボランティア・市民センター利用者などからの助言を受け、事業の手法・内容・運営等の参考とする。	6月5日・11月13日	2	22
市民センター登録団体・サークル懇談会	希望する団体にサークル体験の機会提供をしたり地域課題等の意見交換会を行い、市民センター主催事業への参画を促した。	4月21日・22日・6月19日・3月5日	4	36
竹細工名人養成講座	長町駅前商店街七夕飾りの竹を再利用し、竹細工ボランティア養成目的の3ヶ年計画の最終年、技術の研鑽を積んだ。	9月11日・18日・25日・10月9日・16日	5	31
伝統の仙台七夕作り隊 養成講座	「伝統の仙台七夕作り」を5回の講義・実技で体験した。参加協力した「たいはっくる自治会子ども会」に実技指導する機会も組み入れたので受講生は、関心を持って取り組むことができた。講座終了後、自主サークルが結成された。	7月3日・10日・17日・24日・28日・31日	6	178

生出市民センター

〔沿　革〕

昭和24年、生出村公民館として発足、生出小学校の一隅で公民館活動を行なってきた。昭和31年仙台市との合併により「仙台市公民館生出分館」と改称された。

地域住民の強い要望から昭和 42 年 5 月、地域社会教育の拠点として現在地に生出公民館が建設され、事業が活発になった。その後昭和 55 年 5 月に、地域住民から自由に利用できる体育館を併設した公民館の新設が要望されるようになり、公民館・診療所・保健センターが一体となった複合施設としてオープンに至った。その 10 月には第 1 回生出コミュニティまつりが開催された。平成 2 年に生出市民センターに改称され、市民相互の交流と地域活動の振興の拠点、また地域づくりの拠点として利用されている。

〔特色ある事業〕

事業名	おいで健康づくり		
参加者	地域住民	参加延人数	266人
開催日	全8回 6月24日(木)、6月27日(日)、6月30日(水)、11月6日(土)、11月18日(木)、11月25日(木)、12月4日(木)、3月8日(火)		
協力者・協力団体	生出学区連合町内会、太白区保健福祉センター、太白区中央市民センター		
ねらい	こどもから高齢者まで「世代を超えた健康づくり」をテーマに、地域の各種団体が連携して事業を行うことにより、健康づくりに対する意識の共有化とともに、地域健康とコミュニティの活性化を図る。		
概要・成果	健康づくりを「食」「運動」「子育て」の視点から捉え、それぞれの分野において、多角的な取組みを行った。 「食」:栄養に関する食育講座を実施(3回)。 「運動」:ウォーキングで健康の関わりを実践(2回) 「子育て」:孫育てセミナーを実施(3回)		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に子ども会活動の充実を図るための研修会を実施する。	2月12日	1	61
クラシック演奏に親しむ	クラシック音楽について講話を聞き、楽器に触れたり、演奏を鑑賞することで音楽的情操が養われる機会を提供する。	9月29日	1	61
いきいき坪沼っ子アントレ	米・野菜作りを通して地域への理解を深め、コミュニティ祭りに参加し、野菜を作ることの大切さと販売の大変さを学ぶ。	4月14日・7月10日・11月6日・12月10日	4	144
もぎたて野菜の漬物講座	地域講師の指導で漬物という食文化の伝承と異世代間交流を目指す。	12月2日・9日	2	28
フラで欲張り健康	健康な体づくりと孤立しがちな高齢者の交流の場を目指す。	9月30日・10月7日・14日・21日・23日	5	54

生出の生活・文化から学ぶ	生出の郷土から生活の智恵、季節の移り変わりの行事などを地元講師より学ぶ。	5 月 15 日・5 月 29 日・7 月 3 日・7 月 31 日・8 月 1 日・12 月 18 日	6	59
出前講座	受講生の利便性を考えて、地域に出向いての教養講座・健康講座を行う。	6 月 2 日～2 月 12 日	15	311
生出朗壮大学	地域の中高年に生涯学習と交流の場を提供する。	5 月 21 日～2 月 18 日	10	176
おいで健康づくり	健康づくりをテーマに地域の団体が連携し意識の共有化とコミュニティの活性化を図る。	6 月 24 日・7 月 10 日・31 日・8 月 28 日・9 月 11 日・10 月 16 日・30 日・3 月 8 日	8	266
蛍観察会	坪沼地域の魅力的な自然を広く市民に発信し、蛍の観察を通して、地域住民の環境保全に対する意識を喚起。	6 月 17 日・7 月 10 日	2	1,408
蛍と平家琵琶の夕べ	坪沼地域活性化のため、祭囃子、平家琵琶の演奏や地域住民と市民との交流の場を提供し、伝統文化を広く PR する機会。	7 月 10 日	1	,1400
防災講座「災害時ボランティア体験」	地域独自の防災力を高めるため、中学生のボランティア体験を通して災害に備える町づくりを考える機会。①ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ体験者講話 ②防災体験	6 月 22 日・23 日	2	283
いざというときの自主組織～地域がひとり残らず生き残るために	発災時の要支援者体制づくりや公助が間に合わないことを想定した避難所運営の組織作りについて学んだ。	11 月 27 日	1	47
花植栽ボランティア講座	センター周辺の環境美化を目的として、花や緑を植える植栽ボランティアを目指す。	6 月 3 日・10 日・17 日・24 日	4	48
生出コミュニティまつり	地域住民による日頃の生涯学習の発表と地域住民の交流の機会を提供するとともに市民センター主催事業の実績紹介の場とする	10 月 23 日	1	1,850
地域懇談会	地域住民とセンター事業や施設などについて意見交換の場を設ける。	12 月 23 日	1	11
わんぱく広場	コミュニティまつり開催にあわせて自分たちのコーナーを企画し、実践する。みんなで協同で企画することを学ぶ	10 月 23 日	1	60
茂庭・赤石再発見	地区内の名所・旧跡を訪れ地域外交流と地域活性化を目指す。	10 月 1 日・2 日・3 日・5 日・6 日	5	52
市民企画講座	地域課題の解決と地域コミュニティのづくりのきっかけとする。地域で関心の高い防災講座についての企画会議を実施。	5 月 12 日・6 月 16 日・7 月 7 日・11 月 17 日・12 月 1 日	5	14

中田市民センター

〔沿　革〕

昭和 44 年 10 月に、中田中学校跡地に同校の旧体育館と旧校舎の一部を改築して仙台市で 5 番目の公民館として開館。昭和 56 年 3 月に本館を鉄筋コンクリート二階建てとして新築。平成 2 年 4 月に「中田市民センター」と改称。平成 19 年 7 月からの外壁塗装や体育館暖房装置設置等を内容とした大規模改修工事を経て、平成 20 年 1 月にリニュアルオープンし、現在に至る。

平成元年度から平成 11 年 6 月までの間は太白区内市民センター13 館の拠点館として太白区全体の生涯学習推進の重責を担っていたが、現在は地区館として事業を展開している。

〔特色ある事業〕

事業名	災害に備えて安心しませんか?－地域の中での防災学習－		
参加者	地域住民	参加延人数	75人
開催日	全4回　7 月 6 日(火)、7 月 25 日(日)、11 月 13 日(土)、11 月 27 日(土)		
協力者・協力団体	連携:中田地区町内会連合会		
ねらい	現在中田地域では町内会ごとに防災マップを作成しているが、活用できていない。現在ある地域マップの活用術を地域へ発信することで防災意識を高める。あわせて災害時の救助方法などを学ぶことで、自分なりに災害への備えをするための一助とする。		
概要・成果	普通救命救急は多くの参加者があり、熱心に救命方法を学んだ。 地域防災の話は、地域の問題を提示し、活発に議論できた。 DIG(災害図上訓練は子どもたちが自発的に学び、実際に地域を歩きながら検証することでより具体的に危険な場所と役に立つ場所を学ぶことができた。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子育てサポート講座「なかだっこランド」	新しく転居してきた親子が体操などの活動や既存の子育てサークルとの交流を通し、情報提供や仲間作りを支援し、センター利用のきっかけを作る	7 月 14 日・21 日・28 日・8 月 18 日	5	66
家族で作ろう楽しもう	工作など作って遊ぶ体験を祖父母、親子世代が一緒に楽しむことで世代を超えてともに体験する喜びを得る機会を提供する	12 月 11 日・18 日・2 月 19 日	3	53
インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活躍する児童および世話人を対象に子ども会についての知識やレクリエーションゲーム等を学習する機会を提供する	2 月 26 日	1	67
本はともだち－おはなしひろば	読書活動推進のため、本の紹介、昔話など子どもたちに本の楽しさを体感できる場を提供し、図書室の利用促進を図る	4 月 21 日・5 月 19 日・6 月 23 日・7 月 21 日・9 月 29 日・10 月 27 日・12 月 22 日	7	437
中田　七夕　DE　ないと	身近な夏の風物そして伝統ある七夕づくりを通して地域の活性化と世代間交流を図る。	7 月 24 日・27 日・31 日・8 月 3 日・4 日・6 日	6	101

秋休み～ディキャンプ in なかだ	秋休み期間の児童を対象に地域の人材や素材を活用した野外体験学習を行うことで、地域資源の有効活用と子どもたちの経験値を高める	10 月 9 日	1	21
緑のカーテンを作ろう！	中田小学校で緑のカーテンを育てることを通して、子どもたちが環境問題にに対する理解を深め、子どもたち自身が環境に対する優しい生活を推進するきっかけ作りとする	6 月 14 日・9 月 13 日・11 月 15 日	3	95
おやじと学校に泊まろう	指定避難所である小学校を会場に体験学習を通して、防災意識を高めるとともに参加者同士の交流を図る。また地域の団体同士の協力体制を強化する一助とする	7 月 17 日・18 日	1	93
中田歴史講座	中田の歴史を学び、地域に対する愛情を育み、それぞれが歴史を踏まえたまちづくりを考える場を提供する	12 月 19 日	1	100
地球にやさしい生活はたのし	日常生活においてごみの減量化など環境にやさしい生活が求められている。生ごみからの堆肥づくりや雨水利用など実践方法を学ぶ	6 月 24 日・7 月 18 日・11 月 2 日・16 日	4	37
災害に備えて体験しましょう	まち歩きを通して、建物の耐震性や危険性に気づいた. 講話や演習を通して、災害への備えについて考える機会を提供する	2 月 5 日・20 日・3 月 6 日	3	22
なかだ健康くらぶ	ウォーキングを中心に、高齢者に健康や体づくりのためのプログラムを提案し、自立した生活をするためのステップとする	6 月 4 日・11 日・18 日・25 日・7 月 2 日	5	66
中田老壮大学	高齢者が定期的に学習の機会を持つことで心身ともに健康な生活を送るための提案と、社会との接点を継続し、活動しやすい環境づくりの一助とする	5 月 20 日～3 月 3 日	10	425
ロビーコンサート『中田音楽歓』	センターを利用する音楽サークルの発表の場とするとともに地域住民が気軽に音楽に触れ、交流する機会づくりをする	7 月 3 日・11 月 20 日・1 月 22 日・3 月 5 日	4	213
なかだ篝火コンサート	古くからの地元住民と新しい住民が音楽を通して集い、交流することにより、地域に対する理解を深め、地域全体の活性化を図る	9 月 18 日	1	500
中田まつり	市民センター利用サークルが学習成果を発表する場であり、地域コミュニティの拠点としての市民センターの存在を多くの人たちに知ってもらう	10 月 23 日・24 日	2	6,750
地域懇談会	地域住民が考える地域課題や地域情報についての情報を交換・収集し、市民センターへの意見、要望を聞き取る場とする	6 月 30 日・11 月 10 日・2 月 22 日	3	31
災害に備えて安心しませんかー地域の中での防災学習	災害に対し地域として備えるため、新たにAEDマップを作成し、また、現在ある地域防災マップの活用術を地域へ発信することで防災意識を高める	7 月 6 日・11 月 13 日・27 日	6	75
ジュニアリーダーと遊ぼう	ジュニアリーダーが自主的な企画を実施する場を設けることにより、メンバーのスキルアップを図り、更なる活動につなげる	10 月 24 日・12 月 25 日	3	258
市民企画講座『中田のまち探検隊』	地域住民が地域資源や魅力に気づき、問題点や課題を発見し、新しい街づくりへ向けて考える	8 月 21 日・28 日・9 月 4 日・25 日・10 月 2 日・30 日	6	25
サークル体験会ーセンターでやってみようよ面白体験ー	市民センターを利用しているサークルを、体験学習を通じて地域住民に広く知ってもらう機会をつくることで、学習情報とサークル活動の支援を行う	10 月 29 日・11 月 25 日・1 月 27 日・3 月 6 日	4	41

西多賀市民センター

〔沿　革〕

西多賀地区は、桜で有名な三神峯公園や富沢遺跡があり、仙台でも暖かく環境に恵まれた、住みやすい土地である。昭和 50 年代、福祉に対する住民の要望が多様化し、自らが福祉活動に参加する傾向が現れてきた。そのため、活動拠点となる地域の施設を求める要望が高まったことから、昭和 53 年仙台市として 5 番目の福祉会館として開設した。昭和 58 年、地域住民のより幅の広い利用を可能にするため、名称を市民センターと改めた。平成元年政令指定都市移行に伴い地域の社会教育充実のために公民館が組み込まれ、生涯学習の拠点として活用されている。平成 3 年には児童館が併設された。以後子どもから高齢者まで誰でも気軽に利用できる市民センターとして親しまれている。

〔特色ある事業〕

事業名	すこやかな成長を地域で支えるために		
参加者	中学生	参加延人数	461人
開催日	全3回　5 月 25 日(火)、8 月 7 日(土)、10 月 24 日(日)		
協力者・協力団体	西多賀中学校、太白区保健福祉センター		
ねらい	核家族化や少子化の現代社会の中、地域で子どもを育てようといわれているが、犯罪の増加などの安全に対する意識が日常の地域住民同士の関わりをも減少させている。地域住民や大人と中学生が関わり、心身共に著しく成長する時期を地域で支えていくために学校と連携した事業とする。		
概要・成果	妊婦疑似体験、育児疑似体験、センターサークル「西多賀卓球同好会」の方々と西多賀中学校卓球部の部員との交流練習会、西多賀中学校の吹奏楽部の「第13回　西多賀ふれあいまつり」への参加など。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
すこやか子育て	託児を経験したことのない母親が託児付き講座を体験し学ぶ機会を持つことで、子育てに前向きになれるよう支援する。	6 月 22 日・6 月 29 日・7 月 6 日・7 月 13 日	4	52
おはなしひろば	本に親しむ機会の提供として、小学生を対象におはなし会を開催し、心豊かな子どもの育成に寄与する。	4 月 21 日～2 月 16 日	12	321
虫とり名人になって、標本をつくろう	実験・体験の授業が少なくなった子供達に自然に対する観察眼を育てるために標本づくりの基礎の習得。	7 月 31 日	1	14
インリーダー研修会	子ども会活動の活性化を図るために子ども会についての知識や活動に必要な技術の習得につながる学習の場を提供する。	2 月 5 日	1	77
飛べ！天沼のホタル	センターで飼育しているホタルを放流し、夏には観察会等を実施することで地域の「天沼」への関心を高め、地域愛を育む。	4 月 17 日・6 月 26 日	2	87
大事にしたい伝統行事「仙台七夕のいわれ」「冬の昔遊び」	地域の講師を迎え、伝統の仙台七夕七つ飾りの作り方を提供する。地域の方とけん玉・こまなどの遊びと餅つきを一緒に体験する。	7 月 22 日・12 月 11 日	2	50

西多賀“通”になる検定	地域のことを学び、地域に対する愛着心を育む。西多賀に関する様々な事項を検定形式で学ぶ。問題を通して地域をアピールする。	10 月 23 日～11 月 10 日	1	59
西多賀のおもしろ歴史　～街道を歩く～	古人が巡った街道を歩き地域を学び、郷土の成り立ちを再認識する。また学習の成果を集積し数年かけて歴史マップ作りも考える。	5 月 23 日・6 月 20 日・27 日・7 月 4 日	4	89
はじめませんか～ノルディックウオーキング～	高齢化率が進展している。要介護者とならないために、健康維持のための運動の方法を学び、健康に関心をもって頂く。	10 月 10 日・10 月 17 日	2	32
金剛沢小学校社会学級共催 「健康ウォーキング」	疲れやすく運動不足になりがちな現代人に「歩くこと」の大切さを伝える講座。内蔵や血液の健康を維持することができる体つくりを学ぶ。	11 月 9 日	1	25
男子初めて厨房に入る（料理入門）	団塊の世代への家庭と地域の居場所づくりのためにサークル化を目指した料理講座基礎編。	5 月 16 日・5 月 23 日・5 月 30 日・6 月 6 日	4	57
西多賀寿大学	高齢者の誰もが地域の中で孤立することなく、心豊かに暮らし続けられるよう、社会の変化に対応できる力を身につける為に多種な学習を深め、大学生同士の地域交流を促す。	5 月 19 日～2 月 16 日	10	614
「あたま」も健康ですか　～認知症の予防について～	地域課題である認知症の増加に対し、正しい理解、予防方法、介護保険との関係について学ぶ。	10 月 7 日・14 日	2	32
西の平・金剛沢サロン	高齢者が地域で豊かに暮らす為に近隣に声がけして気軽に参加できるサロン風な場とする。また災害時に地域に顔見知りを持てるように交流を図るため、高齢者が参加しやすいよう、地域へ出向いての開催とする。	11 月 25 日	1	10
すこやかな成長を地域で支えるために	心身ともに著しく成長する中学生を地域で支えるために命の大切さを知る機会や地域交流など学校と連携した事業を実施する。	5 月 25 日・8 月 7 日・10 月 24 日	3	461
花ボランティア養成講座 ー天沼公園に花壇を作ろうー	地域の資源天沼公園に花壇をつくり、四季を通じた草花の手入れの方法を取得し、継続して花壇整備をするボランティアの育成	5 月 13 日～10 月 28 日	11	70
金剛沢小学校社会学級共催事業企画会	社会学級と共に高度な家庭教育の事業を企画実施するためのプランニングの場とする。連携を持つことにより、社会学級の組織力とセンターの講座のノウハウを提供でき地域学習を展開できる。	7 月 9 日・11 月 9 日・26 日	3	22
第１３回　西多賀ふれあいまつり	作品展示、演芸発表、お茶席、ジュニアリーダーコーナー、こどもまつりなどを実施し、学習発表の場、地域交流の場とする。	10 月 23 日・24 日	2	3,850
西多賀市民センターと地域を結ぶ懇談会	地域課題や学習ニーズの把握のために、地域の各団体の方々を委員とする地域懇談会を開催する。	6 月 25 日・7 月 1 日・8 日・23 日	4	29
おはなしボランティアスキルアップ講座	質のよいおはなし会を提供するために、おはなしボランティアのスキルアップを目指す。	2 月 2 日・10 日・16 日	3	61
ジュニアと遊ぼう	幼児から小学生を対象に気軽に参加できる交流の場を提供する。ジュニアリーダーの資質向上を図る。	7 月 17 日・10 月 24 日・1 月 29 日	3	135
西多賀検定委員会	地域についての知識と理解を深めることを目的とする。「西多賀検定」の問題作成と運営を行う。	5 月 27 日～12 月 26 日	12	60
市民企画会議 「市民が気軽に参加できる講座を企画しよう」	地域の方が気軽に参加でき、地域交流を促し、ほっとできる時間を共有できるような講座を企画する。	8 月 28 日・9 月 30 日・11 月 25 日	3	15

八本松市民センター

〔沿　革〕

当市民センターは、八本松地区の国有地を取得し、昭和 59 年 9 月にコミュニティ防災センターを併設した複合施設として着工し、昭和 60 年 5 月に開館した。さらに平成 20 年 4 月には、八本松児童館が新たに併設された。近辺には広瀬川が流れ豊かな自然環境に恵まれ、歴史資産として国指定を受けた郡山遺跡、北目城跡がある。長町副都心長町駅東再開発が行われ、歴史的情緒を持ち合わせつつ近代的な街並みを呈した地域である。

建物は八本松公園と隣接しており、町内会の集会や文化活動、レクリェーション、スポーツにと、子供から高齢者まで誰もが気軽に利用できる市民センターとして、地域住民に親しまれている。

〔特色ある事業〕

事業名	八本松データ館		
参加者	成人	参加延人数	53人
開催日	全7回 8 月 28 日(土)、9 月 11 日(土)、10 月 2 日(土)、10 月 9 日(土)、10 月 22 日(金)、11 月 2 日(火)、12 月 17 日(金)		
協力者・協力団体	せんだいメディアテーク		
ねらい	あすと長町の開発や郡山遺跡の整備などで変貌する八本松・郡山地域の風景の記録を、地域資産として残すべく集積する。		
概要・成果	地域の方に昔の写真の提供依頼をし、撮影年月や撮影場所を検証しながら写真をデータ化した。市民まつり「第15回うぶすなフェスティバル」で展示発表し好評を得た。 写真の他に貴重なアルバムや、地図などを持参された方もあり、昔の地域の様子への関心の高さがうかがえる。古い写真をきっかけに地域への関心を喚起できたので、今後も継続し、さらに広く写真を集め地域の資産としてデータを蓄積する。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
八本松子育てカフェ	子育て中の母親に仲間づくりの場を提供し、親子で楽しみ子育てについて学ぶ講座として、親子リトミック・育児相談・おやつ作り・フェスティバル参加などでコミュニケーションを育んだ。	5 月 12 日～12 月 22 日	10	308
ハート＆ハート　コンサート	若い世代の親子がコンサートスタッフとして参加しコンサートの運営など体験した。　「あきらちゃん＆らーめんちゃん」遊びうたコンサート開催。	4 月 14 日・21 日・23 日・24 日	4	340
インリーダー研修会	子ども会活動の充実と活性化を図るため、子ども会のリーダーとなる児童及び世話人を対象に「子ども会の意義と行事プログラムの立て方・子ども会活動と世話人の役割」について学習	2 月 5 日	1	71
こどもわくわく体験	学校ではできない経験や体験を学ぶ事を目的に、ドッジボール大会・陶芸・ベガ号・花あそびを実施。	6 月 2 日・7 月 24 日・10 月 13 日・1 月 21 日	4	204
八本松広瀬川探検隊	地域にある広瀬川についての環境学習。広瀬川の生き物観察とカヌー体験。サケの遡上の観察	7 月 31 日・11 月 14 日	2	83

パソコン講座 ーかんたんエクセル活用法	地域活動に積極的に参加できるパソコンスキルを身につける。郡山中学校のパソコン室を会場に、生徒も講師アシスタントとして参加。	7 月 27 日・28 日・30 日	3	84
八本松寿大学	歴史講座・音楽鑑賞・聴覚支援学校交流会・民謡・認知症サポーター養成講座など	5 月 12 日～2 月 9 日	10	586
市民企画講座 ―学びま専科―	こころとからだの健康をテーマとし、卓球講座2回、調理実習4回、エネルギー講座＆アロマフットセラピー1回を実施。	7 月 16 日・28 日・11 月 27 日・12 月 8 日・2 月 25 日・3 月 4 日・6 日	7	114
社会学級共催企画講座 「こどもを狙う危険な落とし穴～ちょっと待て！そのケータイ」	社会学級共催の講演会。大人も子どもも利用しているインターネットや携帯電話の問題点を学び、トラブルに巻き込まれない為の対処法を身につける。	9 月 17 日	1	47
地域防災講座	宮城県沖地震の災害防止講座と普通救命講習講座を実施し、八本松地域合同防災訓練に参加。	10 月 2 日・10 月 16 日	2	612
手話の広場	手話講座基礎学習編と聴覚障害を持つ子ども達対象の遊びの広場編。遊びの広場では、ニュースポーツ大会・クルスマスリースづくりなど、のびのび活動できる場となった。	5 月 16 日・9 月 4 日・5 日・11 日・12 月 5 日	5	54
社会学級共催事業企画会議	八本松・東長町・郡山各小学校社会学級・市民センター共催で、企画会議により講座講演等を企画する。	6 月 8 日・7 月 7 日・21 日・9 月 9 日・9 月 17 日	5	44
第１５回うぶすなフェスティバル	プレフェスタダンスパーティー3回、前日祭・本祭り開催。フリーマーケット・作品展示・舞台発表・縁日・抽選会など地域市民と共に祭りを行いコミュニティづくりの推進に寄与する。	4 月 24 日・25 日・11 月 5 日・6 日・7 日	5	4,380
ふれあいコンサート	地域住民に生の音楽に触れ親しむ機会と集いの場を提供。クラシック、ジャズ、クリスマスイベント、街かどコンサート市民センター編等開催。	5 月 9 日～3 月 4 日	11	590
市民懇話会 いいまち八本松を考えよう	連合町内会、小学校と協働しネットワークづくり・地域課題を見出す。	12 月 4 日	1	6
八本松歴史再発見	重要な遺跡を抱えるこの地域について学び、その歴史的遺産について認識し広報する人材を育成。文化財課による遺跡学習・見学会開催。そののち遺跡案内マップ作成。	6 月 11 日～12 月 17 日	11	107
八本松剪定ボランティア養成講座	剪定技術のスキルアップを図りボランティア活動を推進。	5 月 22 日・29 日・6 月 5 日・9 月 18 日	4	51
八本松データ館	変貌する八本松・郡山地域の風景の記録を地域資産として集積。 借用した写真などの資料のデータ化・編集作業。センターまつりにて発表。	8 月 28 日・9 月 11 日・10 月 2 日・9 日・22 日・11 月 1 日・12 月 17	7	53
市民企画会議 ー学びま専科ー	地域課題や現代的課題など、素案から取り組み企画運営する。	6 月 16 日・23 日	2	12
うぶすな塾	地域指導者を招き、囲碁教室開催2回開催・浴衣着付けの基本と帯結びを学ぶ。	5 月 21 日・5 月 26 日・8 月 3 日	3	64

八木山市民センター

〔沿　革〕

八木山市民センターは、昭和62年4月6日、仙台市南西部に位置し昭和30年後半～40年代中頃にかけて整備・開発された豊かな自然と調和の取れた住宅地である八木山地区に、開館。

センター隣接地が、平成 27 年開業予定である地下鉄東西線の西起点（動物公園駅）となることから平成 20 年 11 月体育館が新たにセンター北側に増設された。市民の自主活動及び生涯学習の拠点施設として利用され親しまれている。また、八木山動物公園や八木山ベニ-ランドなどのレクリエーション施設をはじめ、大学、野草園、放送局、総合病院など学術・文化・医療等の施設が揃い、地域住民ばかりでなく広く仙台市民に親しまれている地域でもあるので、今後ますます大きな変貌が予想される。

〔特色ある事業〕

事業名	こどもにやさしい yagiyama ～秋の八木山フェスタ～		
参加者	一般	参加延人数	9000人
開催日	全1回　11 月 3 日(水)		
協力者・協力団体	共催：八木山動物公園、仙台市公園緑地協会、八木山ベニーランド、東北工業大学		
ねらい	官民の枠を越え、八木山動物公園、八木山ベニーランド、仙台市公園緑地協会及び東北工業大学との共催、並びに八木山地区の2連合町内会との連携を図り、①こどもにやさしい八木山②地域の交流③公営と民営のコラボレーションをテーマに八木山の活気ある人づくり、街づくりを目的に開催する。		
概要・成果	八木山・八木山南両小学校と PTA の協力を得て、ポスターコンクールを実施した。地域の子ども達とその家族に、フェスタの認知を高め、参加意識を持ってもらう効果は大きかった。 市民センター利用のサークルの方々の協力も定着し、地域との交流に貢献している。今回は市民センター企画のおもちゃ交換会を開催、地域の子どももボランティアスタッフとして参加した。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
親子のおはなし会「クリスマス　スペシャル2010」	情操豊かな子どもの育成と親子の温かいコミニュケーションを促がすことを目的に絵本や紙芝居などで楽しい時間を過ごす	12 月 11 日	1	27
ジャンボかるた大会	遊びを通して父親と子どもの絆を深める	1 月 23 日	1	45
インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、児童及び世話人を対象に学習する	2 月 19 日	1	74
自転車で学ぶ社会のルール	悲惨な事故から身を守る為、通学や移動に自転車の使用頻度が多くなる前に、正しい交通規則や整備の仕方を学ぶ	7 月 2 日	1	265
八木山子どもひろば	「子どもの居場所作り」と異年齢間の交流を目的に健全な余暇活動の場を提供する	7 月 24 日・8 月 21 日・9 月 25 日・11 月 20 日・12 月 18 日	5	66
子どものための囲碁教室	子どもの土曜日の居場所作りとして健全な余暇活動の場を提供する	4 月 3 日～3 月 5 日	30	559

YAGIYAMAカップ3on3大会	中学・高校生などの若い世代がセンターを利用したり、事業に参加するよう3on3バスケット大会を開催する	2月19日	1	29
「地域の先輩からワンポイントアドバイス」英語について	地域の中学生が小学生にあそびながら楽しく英語を教えることで親睦と交流を図る	9月25日	1	16
八木山自然探索講座	環境保全の大切さを理解し、自ら進んで活動するきっかけ作りの場となるよう八木山地区の自然について学ぶ	4月15日～2月17日	10	462
やぎやまシニア大学	高齢者の生きがい作りや社会活動の参加を促がす為の多分野における教養講座	5月13日・6月10日・7月8日・9月9日・10月14日・11月11日・12月9日・1月13日・2月10日	9	399
こころにひびけコンサート	地域住民が気軽に音楽を楽しめる機会と住民相互の交流の場を提供する	8月27日	1	55
科学の目で文学に迫る～奥の細道・科学でたどる～	講座から新たな興味へと発展し互いに触発し交流が深められるよう地域人材を活用し、科学の目で奥の細道を辿る	7月3日	1	53
「八木山いま・むかし」～変貌する八木山を後世に伝えるために～	地下鉄工事に伴い大きく変貌しつつある八木山の今昔を探り、後世への伝承と新たな地域住民相互の交流を図る	6月12日・7月10日・8月28日・9月18日	4	100
在仙外国人向け日本語講座「日本語ティールーム」	在仙の外国人に生活日本語を指導し快適に生活できるよう支援することで国際交流と相互理解を深める	通年	69	2,475
こどもにやさしいyagiyama～秋の八木山フェスタ～	八木山の活気ある人・街づくりを目的に地域ぐるみで祭りを開催する	11月3日	1	9,000
第２２回八木山市民センターまつり	地域住民の交流と地域の活性化を目的に地域住民とセンターで活動するサークルの発表の場として、まつりを開催する	10月9日・10日	2	2,800
「八木山気軽に事業運営懇談会」	地域課題や多彩なニーズ、センターに対する要望等気軽に話合う	12月4日・2月4日	2	12
図書ボランティア研修会	図書室の円滑な運営に役立つ技術を学び市民の読書推進に貢献する	6月8日・2月22日	3	77
「日本語ティールーム」託児ボランティア研修会	託児を希望する学習者が安心して学習できるよう託児する上での技能を高める研修を行う	5月28日・9月22日・12月10日	3	37
「日本語ティールーム」教師ボランティア研修会	外国人学習者の支援のために、問題の解決に必要な知識の習得と指導の技能を高める研修を行う	6月25日・11月19日	2	33
市民企画会議　パパもおいでよ「いっしょにあそぼう！！」	地域住民が企画等に関わることで経験したことを地域活動に還元できるよう子育て支援事業を企画・運営する	6月5日～1月23日	10	26

山田市民センター

〔沿　革〕

当市民センターは、コミュニティ防災センターを併設して昭和 62 年 4 月 17 日に開館した。

本地域は旧笹谷街道に沿った地域で戦後住宅街として開発、発展してきた。当市民センター周辺は縄文遺跡や鹿除土手などの歴史遺産や昔ながらの自然を残す恵まれた環境のなか、太白消防署や郵便局、鉤取球場、縄文の森広場など防災・防犯、スポーツ施設、学びの場となっている。また、国道 286 号線沿いには近年大型商業施設などの進出がみられる。こうしたなか、当市民センターは地域の生涯学習や地域コミュニティづくり、交流の場として地域住民に広く活用されている。

〔特色ある事業〕

事業名	江戸人から学ぶ生活の知恵ー江戸しぐさ		
参加者	一般	参加延人数	70人
開催日	全1回　10 月 8 日(金)		
協力者・協力団体	連携:上野山小学校社会学級、太白小学校社会学級		
ねらい	「江戸しぐさ」から江戸商人の暮らしの知恵を学ぶことで今に生かし、豊かな人間関係の一助とする。		
概要・成果	江戸の町に住んでいた人々のトラブルを防ぐための知恵「江戸しぐさ」を学んだ。 「江戸しぐさ」という先人の知恵を多くの方に知って頂き、人を思いやることの素晴らしさを改めて見直すことで、日頃の自分自身の行動や考え方等を考える良い機会になった。 社会学級との連携講座だったが、一般の受講生が講演会に参加することで、社会学級の活動や市民センターとの連携事業についての理解が広まった。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子育てママの山田ほっとカフェ	子育ての不安やストレスの解消の為に様々な観点から学びを提供し、子育ての一助とするとともに、仲間作りに繋げる。	9 月 15 日・29 日・10 月 20 日	3	55
インリーダー研修会	子ども会活動の意義、インリーダー・世話人の役割などを学び、子ども会活動に役立てる。	1 月 29 日	1	51
「ごはん」を食べよう！	自分で調理をする機会が多くなる中学生・高校生に調理実習を通して「米」を食べることの大切さ、「米」のおいしさを実感してもらう。	7 月 25 日・8 月 8 日・22 日	3	22
山田わんぱくクラブ	子ども達がいろいろなことに挑戦し、命を大切にする心、生きる力を養い、心豊かな精神、考える力、想像力を育てる。	6 月 19 日・7 月 24 日・8 月 21 日・10 月 13 日・11 月 27 日・12 月 18 日	6	135
働く世代のためのリフレッシュ講座	働く世代を対象にヨガを学んでもらい、肉体的な症状だけでなくストレス解消に役立ててもらう。	11 月 19 日・26 日・12 月 3 日・10 日・17 日	5	68
山田歴史散歩 一羽黒大権現と山田羽黒神社	地域の歴史に触れ現地探訪することで、地域への愛着心を育て、その魅力を再発見するとともに、地域住民の出会いの場や学びあいの場を提供する。	10 月 29 日・11 月 10 日	2	38

身近な薬草で健康づくり	身近にある薬草の正しい使い方や、日常生活への活用方法を学び健康への意識を高める。	5 月 19 日・6 月 2 日・16 日	3	79
山田あばいん倶楽部	地域住民の特技、知識をお持ちの方々に活動の場を提供すると共に、地域の方々が気軽に楽しく参加していただき、交流できる場を提供する。	6 月 30 日・7 月 7 日・8 月 4 日・9 月 1 日・10 月 6 日・12 月 1 日・2 月 2 日	7	51
江戸人から学ぶ生活の知恵 ―「江戸しぐさ」	江戸の町に住んでいた人々のトラブルを防ぐための知恵「江戸しぐさ」を学び、スムーズな人間関係を築くための一助とする。	10 月 8 日	1	70
市民企画講座「身近にエコを楽しもう」	深刻化している環境問題について、身近にできることを取り上げ、日常生活でも環境に配慮できるような生活方法を学び環境についての意識向上に役立てる。	11 月 18 日・12 月 2 日・16 日	3	50
山田豊齢大学	高齢者が地域の中で孤立することなく暮らす為の生涯学習や交流の場を提供する。	5 月 20 日～3 月 10 日	10	594
山田いきいき健康塾	高齢者はもとより若い世代からの健康づくりへの意識改革と市民が取り組みやすい健康づくりの環境整備を展開する。	6 月 11 日・18 日・9 月 3 日・17 日・10 月 1 日・11 月 16 日・30 日・12 月 7 日・14 日	9	204
鈎取山親子スタンプラリー大会	昨年作成した鈎取山マップを活用して親子でスタンプラリーを行うことで、地元にある自然に親しみ、参加者相互の交流の機会とする。	11 月 20 日	1	9
社会学級連携事業企画検討会	社会学級が地域の抱える課題や問題について情報交換し、地域への学習課題を提起し、学習機会を提供するための検討会を開催する。	5 月 21 日・7 月 16 日・10 月 8 日	3	30
山田ふれあいまつり	地域住民と市民センター利用者の学習成果を広く発信し、相互の交流をはかる。	11 月 6 日・7 日	2	3,750
山田みんなのオン・ステージ	センターを利用するサークルや地域のサークルに発表の場を提供するとともに、地域住民の交流を促進する。	6 月 5 日・7 月 22 日・9 月 18 日・10 月 16 日・12 月 4 日・2 月 12 日	6	332
山田地域懇話会	地域の有識者と地域の課題、ニーズについて意見交換し、よりよい市民センター事業の実施、地域拠点としての機能充実を図る。	10 月 16 日・2 月 19 日	2	31
「山田あばいん倶楽部」運営ボランティア養成講座	「あばいん倶楽部」の事業をボランティアによる手作りで実施するために、また地域の住民が市民センターや地域の施設に積極的に関わることを目的として運営するボランティアを養成する。	6 月 30 日・7 月 7 日・9 月 1 日	3	30
市民企画会「環境にやさしいまちづくり」	環境問題について地域住民とともに取り組み、企画展開する。	5 月 20 日・27 日・6 月 17 日・8 月 26 日・10 月 17 日・11 月 18 日・12 月 2 日・16 日	8	39
山田サークル体験会	地域住民に活動の機会を提供するとともにサークル活動の活性化に役立てる。	1 月 8 日・18 日・20 日・21 日・28 日・2 月 3 日	8	41

茂庭台市民センター

〔沿　革〕

茂庭台地区は仙台市西部で青葉区に隣接し、西道路を利用すれば市内中心部より約20分の距離に位置する。当センターは昭和63年4月にコミュニティ防災センターとともに設置され、平成元年4月から地域社会教育の拠点として公民館事業が開始され、平成 2 年から児童館が併設された。近隣には高層マンションや多くの福祉施設があり、周囲の自然環境と調和し地域コミュニティの場となっており、高齢者、子ども、福祉施設の方々、外国人居住者の利用も多く生涯学習の輪も広がっている。また、地域住民、各種団体に参画を頂き地域性を生かした事業、地域人材を活用した講座や地域課題に即した講座を開催している。

〔特色ある事業〕

事業名	よみがえれ！水道山		
参加者	成人	参加延人数	70人
開催日	全7回 4月23日(金)、5月13日(木)、6月10日(木)、7月8日(木)、9月9日(木)、10月7日(木)、11月18日(木)		
協力者・協力団体	茂庭台剪定クラブ		
ねらい	自然公園である水道山には遊歩道などがあるものの、殆ど整備されずに雑然としていたため、21 年度の講座で倒木の除去や遊歩道の整備などを行い、地域住民の関心も高まって来た。22 年度も整備作業を継続して行い、水道山を甦らせ、地域の憩いの場にすることを目的にする。		
概要・成果	水道山を地域の憩いの場としての整備が進んだ。遊歩道、倒木整備など行い、倒木や伐採した木を利用し、ベンチやイスなどに再利用することができた。 目的を共有することで参加者の交流が深められた。また、その後参加者が市民センター・児童館行事等のボランティアスタッフとして協力してくれるなど活動が広がった。		

〔平成22年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
ベガ号がやってきた「星空観察会」	星座観察会を通じて、親子のコミュニケーションを図る	11月19日	1	69
乳幼児親子「おしゃべりカフェ」	乳幼児の母親を支援する為に地域の子育てネットワークを整備し、母親の孤立化を防ぐ。	5月27日・7月29日・11月26日・12月1日	4	149
インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、子ども会のリーダーとして活動する児童及び世話人を対象に子ども会についての知識やレクリエーション・ゲームなどを行う。	2月12日	1	61
梨野こどもファーム	児童館・地域支援団体と協働し、子どもたちが地域の畑で野菜を育てることにより、土に触れ地元でつくった野菜に関心をもつことを目的とする。	5月15日・6月12日・7月24日・9月18日・10月23日・11月6日	6	126
中学生避難所ボランティア体験2010	中学校の生徒が、災害時の避難所ボランテイアをするための初心者訓練。学年別に仮設トイレ設置、応急手当訓練、AED講習を体験	6月9日	1	240

みんなができる「エコ」体験	家庭で出たゴミのリサイクルに関心を持ち、ゴミ削減の意識を高める。	5 月 26 日・6 月 2 日・9 日	3	25
茂庭台大学	健康で前向きに過ごすことの提案や趣味を広げる機会など様々な学習機会を提供。また運営委員会による企画は受講生同士の交流を深めた。	5 月 21 日～3 月 4 日	10	390
ふれあいサロン	一人暮らし高齢者が地域に溶け込めるよう、茂庭台地区社会福祉協議会とともにサロンを開催する。	8 月 6 日・12 月 11 日	2	106
チャレンジ・ザ・ゲーム　2010	市民センター周辺のスポーツ広場や街並みを活かしたスポーツ企画で地域交流活性化を図る。	10 月 23 日	1	69
「よみがえれ！水道山」 水道山自然観察とクラフト	市民企画により開催。地域の里山の植物観察会と里山の素材を使用しクラフト作りを行う。	6 月 5 日・10 月 9 日	2	32
音楽のある街茂庭台「ふれあいコンサート」	市民企画員と協働しコンサートを企画運営することで、世代を超えた住民交流の場を設け地域活動の活性化を図る。	10 月 16 日・12 月 18 日	2	130
体験したい！おしえたい	地域住民の知識や特技を活かせる場を提供することで地域人材を発掘し、住民の交流を図る。	6 月 10 日・24 日・7 月 1 日・15 日・22 日・8 月 27 日・9 月 10 日・10 月 15 日・11 月 12 日	9	64
茂庭台地区市民文化祭	地域のサークル、個人が参加してステージ発表・展示発表・お話会・出店を行った。じどうかんまつりも同時開催した。	10 月 2 日・3 日	2	2,800
地域懇談会 （事業推進委員会）	地域課題のアセスメントを行い、課題解決のための事業へと反映させる。また各団体のネットワーク化を促進する。	7 月 2 日・9 月 10 日・10 月 15 日・11 月 19 日・1 月 14 日・2 月 22 日	6	90
ジュニアリーダーと遊ぼう	ジュニアリーダーの活動を地域の方々に広く知ってもらうと共に、中高生の活動の活躍の場を提供する。	7 月 25 日・10 月 3 日	2	170
「よみがえれ！水道山」 整備事業	里山を整備し憩いの場にすることを目的に開催。遊歩道、倒木整備など行い倒木を利用しベンチなど作成。	4 月 23 日・5 月 14 日・6 月 25 日・7 月 9 日・9 月 10 日・10 月 22 日・11 月 18 日	7	70
市民企画「水道山の自然と素材」	地域の里山を素材に「植物観察会」「クラフト作り」を企画開催した。	4 月 3 日・10 日	2	6
音楽のある街茂庭台「ふれあいコンサート」企画会	「ふれあいｺﾝｻｰﾄ」を企画運営し、住民の音楽発表の場、住民が気軽に音楽を楽しみ交流できる場を提供する。	4 月 10 日・5 月 28 日・6 月 30 日・7 月 30 日・12 月 17 日・1 月 21 日・2 月 26 日	7	35

東中田市民センター

〔沿　革〕

東中田市民センターは、平成元年４月に児童館、保健センター、コミュニティ防災センターを含む複合施設として開館した。

仙台市太白区の東南端・名取川下流域に位置するこの地区は、名取川と広瀬川の合流点にも近く、素晴らしい自然環境に恵まれ、古墳や寺社仏閣などの歴史的資産を有している。

農村地帯であったこの地域に、近年は高層の市営住宅や高齢者福祉関連施設、ミニ開発による一戸建て住宅が次々に建設され、商業地帯の発展も著しい。新旧住民が混在し、地域が急速に発展している地域環境にあって、今後、総合的かつ重層的な地域コミュニティの確立が望まれている。

〔特色ある事業〕

事業名	東中田防災ボランティア養成講座		
参加者	地域住民	参加延人数	197人
開催日	全3回　7 月 15 日(木)、7 月 24 日(土)、9 月 7 日(火)		
協力者・協力団体	東中田町内会連合会、四郎丸小学校、地区社会福祉協議会		
ねらい	確実に発生するといわれる宮城県沖地震に備えて、地域防災の総合力を充実させるために、中高生や主婦、高齢者などを対象として、防災ボランティアを養成し、地域の防災意識の向上を図るとともに、災害に対応できる体制の確立をめざす。		
概要・成果	地域住民を対象として、防災についての講話、避難所でのトイレ組み立て訓練、AED 取扱訓練等の講座を実施し、地域防災力を高めた。 町内会や地域の団体と連携して、より実践的な緊急避難体制を確認することができた。また、町内会だけでなく、地域の学校と連携することで、より多くの地域住民に防災意識を喚起することできた。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
ママといっしょに遊ぼう！	育児で孤立しがちな若い親を対象として本の読み聞かせ、工作など親子遊びの講座を実施し、受講者同士が交流を図った。	6 月 23 日・29 日・7 月 7 日	3	78
親子で作る楽しい朝ごはん	一日の食事の要となる朝食づくりを親子で実習し、栄養バランスや食の大切さを学んだ。	6 月 19 日・26 日・7 月 3 日・10 日	4	56
インリーダー研修会	子ども会の世話人と児童を対象として、子ども会活動の意義や役割について講話から学び、活動に役立つゲームをジュニアリーダーと一緒に実習した。	2 月 5 日	1	21
かにっこおはなしタイム	センターで育成した読み聞かせボランティアを活用して、小学生を対象とした児童書や名作などの読み聞かせ会を行った。	5 月 12 日・7 月 14 日・9 月 8 日・11 月 10 日・1 月 12 日・3 月 9 日	6	164
人形劇がやってくる	昔話を題材とした人形劇の鑑賞会を行い、劇団員と交流を図りながら、子どもたちと地域の高齢者が観劇した。	11 月 25 日	1	109

母なる川一名取川を探る	親子を対象として、名取川の上流から下流までの移動学習を行い、流域の歴史や自然、環境等について学んだ。	6 月 12 日・7 月 17 日・10 月 16 日・11 月 20 日	4	97
東中田わくわくタイム	学校の長期休み中に開催し、小中学生が普段学ぶ機会が少ない課題をセンター利用サークルや地域講師の協力を得て、地域の大人と共に学んだ。	7 月 10 日～10 月 8 日	12	264
介護を見直そう	介護の基本を講話と実技から学び、学習後の茶話会で、孤立しがちな介護者同志の交流を図った。	10 月 21 日・28 日・11 月 5 日	3	58
楽々クッキング	そばうちと地場野菜の料理実習から食生活の見直しと食育を進め、託児付、夜間講座も設けて、男女を問わず料理への参加を促した。	9 月 3 日・10 日・17 日・12 月 10 日	4	40
社会学級連携事業「洞口家住宅見学 」	社会学級生が企画・運営し、近くにある県の有形文化財・洞口家住宅を見学し、地域への理解を深めた。	7 月 22 日	1	25
市民企画事業「東中田ふるさと再発見」	市民企画員が企画して、史跡探訪とシンポジウムの講座を開催し、地域講師から地域の歴史や風習を学んだ。	10 月 13 日・20 日・23 日	3	72
身近かなリサイクルパートⅡ～ゴミ削減とリサイクルを考える～	ごみリサイクル施設の見学と不用品を活用した小物の製作を行い、ごみ削減と環境問題に対する意識を高めた。	7 月 6 日・27 日・8 月 3 日	3	47
東中田老壮大学	現代社会に対応したテーマや健康増進等について、地域の高齢者が共に学び合い、互いに交流と親睦を深めた。	5 月 12 日～3 月 2 日	10	545
東中田健康づくり講座「ノルディックウォーキング」	高齢者がノルディックウォーキングを体験して健康増進への意欲を高め、名所・見所を巡る活動コースを歩くことで地域への理解も深めた。	5 月 22 日・29 日・6 月 5 日	3	41
社会学級連携事業	地域の社会学級・2団体と連携し、生涯学習のあり方や事業企画について共に学び、連携事業を企画運営した。	5 月 10 日・24 日・28 日	3	36
東中田市民まつり	地域の4団体が共催し、センター利用サークルやボランティアが運営にあたって、バリアフリーに配慮したまつりを開催した。	10 月 3 日	1	3,800
東中田ファミリーコンサート	地域の音楽団体に呼びかけ、出演者自らが実行委員となり、地域に密着したアットホームなコンサートを企画運営した。	2 月 12 日	1	115
東中田地域懇話会	各回毎に参加者とテーマを変えた懇話会で情報交換をはかり、市民センターへの理解を得るとともに、地域課題について話し合った。	11 月 27 日・2 月 3 日・19 日	3	33
東中田防災ボランティア養成講座	地域住民を対象として、防災についての講話、避難所でのトイレ組み立て訓練、AED 取扱訓練等の講座を実施し、地域防災力を高めた。	7 月 15 日・24 日・9 月 7 日	3	197
『～東中田～ふるさと再発見』市民企画会議	公募した市民企画員が、地域への理解と愛着を深めることを目的として、地域資源、魅力を学ぶ講座を企画運営した。	4 月 21 日・28 日・5 月 12 日・10 月 27 日	4	15

柳生市民センター

〔沿　革〕

当市民センターは、平成9年 4 月に、市内52番目の市民センターとして児童館・コミュニティ防災センターを併設して開設された。

当地域は、市内最南端部に位置し住宅地・商業地として発展している。また自然環境に恵まれ、柳生和紙など伝統工芸も残されている。マンション等の建設に伴い、他地域からの転入者も多く、若年層の世帯が比較的多い地域である。

こうした地域の特性と施設の機能を活かしながら、住民の多様化に対応した生涯学習の地域拠点として各種事業を展開し、地域のコミュニティ・住民の自主的活動の場としての役割を担っている。

〔特色ある事業〕

事業名	柳生和紙講座		
参加者	成人	参加延人数	69人
開催日	全4回　10 月 7 日(木)、10 月 14 日(木)、10 月 21 日(木)、10 月 31 日(日)		
協力者・協力団体	柳生和紙工房、柳生和紙プロジェクト		
ねらい	柳生地区の伝統工芸である和紙に関わる人材の高齢化に伴う支援の必要性や柳生和紙の歴史の伝承および地域資源の保存の大切さを知ってもらう。		
概要・成果	地域で唯一残っている和紙工房で歴史や製造工程を学びながら和紙漉きを体験し、一閑張り(和紙の柿渋塗り)の作品制作を行った。完成品は市民センターまつりで展示発表した。 和紙の特性を活かした作品制作などを通して柳生和紙の魅力にふれ、貴重な地域資源を伝えていく大切さを再認識した。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子育て支援「親子でホップ・ステップ・ジャンプ」	①講話「心と体の発達」②わくわくおやつで健康作り③絵本や手作りおもちゃで育む心④ママさんブラスぴよぴよ隊と交流会を通して、育児不安の解消と仲間づくりに役立った。	6 月 22 日・29 日・7 月 6 日・17 日	4	33
夏休み体験学習「おもしろ科学実験」	仙台高専名取キャンパス「リカレンジャー」による空気砲、ブーメラン作りなどの科学あそびを行い科学の不思議を体験した。	7 月 24 日	1	45
インリーダー研修会	西中田・柳生小の地区子ども会のリーダーとなる児童および世話人を対象に子ども会活動に必要な知識や技能を学習した。	2 月 12 日	1	76
ミュージックベル講座	子ども達の健全な居場所作りとして練習を重ね、オータムコンサートでその成果を発表した。また、地域の高齢者サロンより演奏を依頼され発表し、子ども達の大きな自信につながった。	8 月 21 日・28 日・9 月 4 日・11 日・18 日・25 日・10 月 2 日	7	61
小学生手話入門講座	聴覚障害のある講師より手話の直接指導を受ける。手話通訳として「柳生手話サークル」が毎回支援を行い、基本的な手話の習得と障害者への正しい理解を深めた。	5 月 29 日・6 月 26 日・8 月 28 日・9 月 25 日・10 月 23 日・11 月 27 日・1 月 22 日・2 月 26 日	8	86

柳生中学校開放講座	柳生中教職員、地域ボランティアを講師に各種検定、科学実験、パソコン、音楽鑑賞、民族舞踊、ブックトーク、卓球、料理など17講座を開講し、地域の学習の場を提供した。	7月6日～12月4日	49	674
バック・トゥ・ザ小学校	西中田小4学年の音楽の授業を一緒に体験、郷土の民謡について学び、発表した。	9月28日	1	6
楽しく・無理なく健康づくり！「ノルディックウォーキングに挑戦」	年代・性別・体力にかかわらず自分のペースで取り組めるノルディックウォーキングを体験した。受講者はその後も継続して取り組んでいる	9月2日・9日・16日	3	29
柳生和紙講座	柳生和紙の継承者である佐藤さんの工房で和紙漉き体験、和紙を使った作品制作およびセンターまつりでの展示発表を行った。	10月7日・14日・21日・31日	4	69
楽しもう！退職後ライフ	①金制度の仕組み②ノルディックウオーキング体験③～⑥地域サークル活動見学などをとおして、地域で活動するヒントを見つけることができた。	1月29日・2月5日・18日・19日・26日・3月9日	6	37
柳生シニアスクール	地域の学びの場として、旅、文学、落語、音楽などの教養講座および高齢者福祉制度、環境施設見学など様々な課題に対応した講座を実施し、自己のライフスタイル向上に活かすことができた。	5月26日～2月23日	10	350
おいしく学ぼうin柳生	柳生産野菜の栄養価と無駄なく活用する調理法を学んだ。また産直野菜を使った柳生小学校の給食を試食した。	11月16日・30日・12月14日	3	35
街かどコンサート	仙台国際音楽コンクール関連事業として市民センターを会場にピアノとヴァイオリンの演奏を楽しんだ。本格的なクラシックにふれるよい機会となった。	3月9日	1	82
オータムコンサート	地域の学校や市民センター利用サークルの音楽の成果発表の場を提供。12団体が参加し、今後の活動の励みになった。	10月2日	1	1,100
柳生市民センター・児童館まつり	市民センター利用サークルや管内小中学校・各町内会等の作品展示および児童館子ども遊びのコーナーを設け、世代を超えた地域住民の交流の場となった。	10月31日	1	1,200
町内会交流会	中田西部町内会の9町内会の代表者との懇談をとおし、市民センター事業を紹介し支援と協力を求めた。また事業に対する要望・意見、地域情報を収集することができた。	7月10日・2月25日	2	24
地域懇話会	小中学校や地域の関係団体との意見交換を行い、地域課題やニーズを共有し市民センター事業へ反映させることができた。	6月30日	1	10
お話ボランティア養成講座「お話楽しみたい」	幼児対象の読み聞かせボランティアを養成した。毎月おはなし会を開催し、センターまつりにも参加した。	5月21日・28日・6月4日・11日・18日	5	48
柳生あそびの広場ージュニアと遊ぼう	小学生がジュニアリーダーと一緒にゲームや工作をとおして交流し、学校外で楽しく活動することを学んだ。	12月18日	1	33
市民企画会議「団塊の主張」	退職者の地域デビューへのきっかけとするために、市民センター事業の企画運営に携わり「楽しもう！退職後ライフ」を企画した。	6月26日・7月23日・9月29日・12月4日・17日	5	9
サークル一日体験	サークル活動の活性化を図るため、センターで活動する自主サークルの活動紹介をした。18サークルが参加し体験者20名のうち18名が入会した。	11月27日・30日・12月1日・2日・3日・4日・8日・9日・14日	9	22

秋保市民センター・馬場市民センター・湯元市民センター

〔沿　革〕

秋保市民センターは、社会教育法の制定に伴い、昭和 26 年 4 月秋保村公民館が設置され、昭和 42 年 4 月町制施行に伴い秋保町公民館、昭和 63 年 3 月仙台市と秋保町の合併により秋保公民館、平成元年 4 月に秋保市民センターと改称され現在に至っている。

馬場市民センターは、昭和 52 年 3 月旧秋保町時代に開設され昭和 63 年 3 月仙台市と秋保町の合併により馬場公民館、平成元年 4 月に馬場市民センターと改称され現在に至っている。

湯元市民センターも昭和 53 年 3 月秋保町時代に開設され、昭和 63 年 3 月仙台市と秋保町の合併により湯元公民館、平成元年 4 月に湯元市民センターと改称され現在に至っている。

〔特色ある事業〕

事業名	秋保郷土かるた大会		
参加者	地域住民	参加延人数	148人
開催日	全1回　1 月 15 日(土)		
協力者・協力団体	共催:秋保学びのコミュニティづくり推進事業「がんばれ秋保っ子推進委員会」、秋保郷土かるたの会		
ねらい	秋保の風土・伝統・文化についてわかり易くつづった「秋保郷土かるた」を用いて大会を行い、自分達の暮らしている地域についてさらに理解を深める。また、小学生から老人会会員まで、広く世代間交流の場とする事で，地域の一体化を促進する。		
概要・成果	「秋保郷土かるた大会」を用いたかるた大会。秋保地区小中学生、地域住民が3人1組でチームを編成し対戦した。今年から秋保学びのコミュニティ推進事業の一環として事業を開催した。学校の先生方の協力を得ることができた。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
あきう子育て広場	絵本の読み聞かせや手遊び、親子遊びの大切さを学んだ。親子でのクッキング体験や、子育ての悩みについて情報交換や交流会を行った。	7 月 8 日・10 月 14 日・11 月 25 日	3	52
秋保ファミリー体験講座「あきう遊々クラブ」	秋保の自然の中で、季節ごとの自然観察会や作品作りを親子で体験。樹木博士認定問題に取組み、認定証を交付した。	6 月 27 日・8 月 8 日・10 月 31 日・11 月 28 日・1 月 16 日	5	70
インリーダー研修会	子ども会活動に必要な知識や技術などについての研修会。	6 月 19 日	1	28
がんばれ秋保っ子	学校の枠を超え、秋保地域の子ども達が一同に介し、キックベースボール大会とニュースポーツ体験を行った。昼食に芋煮を食べながら交流した。	10 月 17 日	1	121
中学生の市民企画講座「楽しいひと時をお茶と共に」	中学生が企画した講座。日本の伝統文化である茶道を通し、歴史や作法を学び親しんだ。市民センターを利用している茶道サークルとの世代間交流を行った。	9 月 4 日	1	13

共に学びあう、「あきう元気畑」塾	「野菜づくり」を行う上で留意すべき諸問題について学びながら、土づくりや野菜づくりを体験した。	4 月 18 日・5 月 9 日・7 月 18 日・8 月 22 日・2 月 6 日	5	101
郷土愛を育む「地域の食材を使った料理を学ぶ」	秋保地域の食材を使って、昔から伝わる料理を学び実習した。	7 月 29 日・9 月 9 日・11 月 11 日・1 月 13 日	4	65
秋保自然工房「山の恵みクラフト」	里山の役割ついて学び、受講生自ら材料を採取しクラフト制作。地域の社会福祉施設を訪問し、利用者とともにクラフト制作を行った。	9 月 5 日・10 月 3 日・11 月 7 日・12 月 5 日・1 月 20 日・28 日	6	56
市民企画講座「生活百科☆馬場塾」	市民企画会議を経て企画した講座。 ①つんぬき製作②フラダンスを踊ろう	8 月 27 日～3 月 6 日	20	291
秋保自然紀行「森づくりとトレッキング」	里山の役割や自然保護について学び、秋保地域の里山・奥山の植生観察とトレッキングや枝打ち作業体験を行った。	5 月 26 日・6 月 16 日・10 月 27 日・11 月 10 日・12 月 8 日	5	63
あきう熟年のひろば	高齢者が学習し、教養を高めるため、健康・教育・文化・手作り等の講座。秋保小学校と連携し、世代間交流「山の子フェスティバル」・「塩沼亮潤大阿闍梨」特別公開講座を行った。	5 月 20 日・6 月 23 日・7 月 15 日・9 月 16 日・10 月 21 日・11 月 18 日・12 月 16 日・1 月 20 日・2 月 17 日	9	526
秋保地域出前講座	地域町内会や高齢者サークルと連携を図り、講座の出前をし、地域住民に学習の場を提供した。	8 月 3 日・5 日・12 月 18 日・2 月 13 日・20 日	5	93
秋保学びのコミュニティづくり推進事業「がんばれ秋保っ子推進委員会」秋保郷土かるた大会	秋保の風土・伝統・文化についてわかり易くつづった「秋保郷土かるた大会」を用いたかるた大会。秋保地区小中学生、地域住民が3人1組でチームを編成し対戦した。	1 月 15 日	1	148
秋保ふるさと文化祭	地域の文化団体、中学校、幼稚園、個人や秋保市民センターを利用するサークルの作品、及び主催講座の作品や写真の展示発表。	10 月 23 日・24 日	2	1,457
秋保ふるさと文化祭移動展示会	ふるさと文化祭で出展した作品を、秋保・里センターでの展示発表。	11 月 6 日・7 日・8 日・9 日・10 日・11 日・12 日・13 日・14 日	9	2,356
秋保ふるさと舞台発表会	秋保地域で活動している団体、個人の技芸の発表。	3 月 6 日	1	250
地域懇談会	秋保三地区（長袋・馬場・湯元）ごとに、それぞれの市民センターを会場とした、地域住民による懇談会。	7 月 17 日・9 月 18 日・2 月 20 日	3	53
市民企画会（市民参画型事業）	地域懇談会で要望があり、馬場地域の方々を中心に市民企画会議を開き、講座を企画・運営した。	5 月 12 日・19 日・28 日	3	14
秋保歴史散策「秋保郷の史跡巡り」～長袋・境野編～	秋保長袋・境野地区の史跡を探訪、学習し、マップを作成。	5 月 29 日・6 月 26 日・7 月 31 日・9 月 25 日・10 月 30 日・11 月 20 日・27 日・12 月 18 日	8	96

富沢市民センター

〔沿　革〕

富沢市民センターは、平成 13 年 11 月、地下鉄富沢駅近くにコミュニティ防災センターを併設し開館した。

富沢地区は、名取川・JR東北線・国道 286 号線に囲まれた地域で、中央部を笊川が流れ、かつては富沢・大野田遺跡のある田園地帯であった。地下鉄開業以来、交通の利便性から宅地化が急速に進み、高層マンションと昔ながらの農地が混在する地域である。単身・核家族世帯が多く、住民の転出入の頻度も高い。

当市民センターは、市民が気軽に利用できる共有スペースとして親子室・娯楽室・図書室やラウンジを有し、年間を通し多くの地域住民が来館、生涯学習の拠点として活用されている。

〔特色ある事業〕

事業名	とみざわ子どもの広場		
参加者	小学生と保護者	参加延人数	211人
開催日	全10回　5 月 15 日(土)、6 月 12 日(土)、7 月 11 日(日)、7 月 24 日(土)、8 月 7 日(土)、9 月 11 日(土)、10 月 9 日(土)、11 月 13 日(土)、1 月 29 日(土)、2 月 5 日(土)		
協力者・協力団体	わくわくどきどき実験室・大野田老人福祉センター・富沢おりがみ同好会・(株)仙花・NPO 法人科学心を育む会　ほか		
ねらい	小学校が休日の土日を利用して多様なテーマを設け，子供たちの体験・学習の場を提供する。学校・家庭を離れての学びのなかから，気づきや理解を深めていき，学ぶ力・考える力を育み自立や社会性の向上を図る。		
概要・成果	笊川観察や科学工作など様々なテーマを設け、子供たちの体験・学習の場を提供した。 ⅰ. 仙台中央卸売市場花き部見学　ⅱ. 笊川観察会春編　ⅲ. 折り紙でミニ七夕作り ⅳ. 笊川観察会秋編　ⅴ. ビーチコーミング　ⅵ. 感光紙とレンズでカメラを作る ⅶ. 昔遊び・餅つき　ⅷ. 簡単な科学工作		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
おはなしの部屋	絵本の読み聞かせ・手遊び等で幼児の情操教育に役立てた。また、子育て世代の交流の場を提供した。	5 月 12 日～3 月 9 日	10	403
きらきら子育て倶楽部	幼児を持つ親へ、発達に応じた育児アドバイスと交流の場を提供し、子育てを支援した。	11 月 5 日・19 日・12 月 3 日	3	23
チビッ子夏まつり	子供縁日・フリーマーケットなど未就学児と保護者を対象にしたイベントを、育児サークルが企画運営し、親子交流・地域活性化を図った。	7 月 30 日	1	700
家庭教育講座「子どもの心にアンテナを」	テレビ・ゲーム・携帯が子供に与える影響とその対処法について学び、健やかな親子関係の構築を図った。	11 月 2 日	1	29
【市民企画講座】子育てママのひといき講座	物づくりやミニゲームで交流を図り、子育て以外に自分の時間を楽しみ交流することで、孤立感・閉塞感の軽減の一助とした。	12 月 1 日・8 日	2	14
インリーダー研修会	子ども会活動のための児童と世話人向け研修会	2 月 19 日	1	71

とみざわ子どもの広場	笊川観察や科学工作など様々なテーマを設け、子供たちの体験・学習の場を提供した。	5月15日～2月5日	10	211
地元野菜と秋刀魚に親しむ食育講座	中学生が地元野菜と旬の魚の調理体験を通して、地域に根ざした食文化への関心を深めるとともに、地域住民との交流を図った。	9月14日～10月7日	10	591
健康食で生活力アップ	食事と生活の関係を学び、健康的な献立を調理実習した。	7月2日・11月27日・2月26日	3	37
とみざわ散歩道	地域にある知的財産や豊かな自然を、専門家の道案内で散策しながら学び、理解を深めた。	5月22日・9月18日・11月16日	3	58
【市民企画講座】あつまれ仙台ビギナー　～転勤妻の交流会～	地域の方を講師に、交流茶話会や郷土料理を調理・試食した。地域情報を発信し共有することで、転入者の地域コミュニテュー参加の契機とし育成を図った。	10月29日・11月12日	2	34
富沢シニアクラブ	高齢者の生涯学習推進と親睦を図った。	5月20日～2月17日	10	413
とみざわファーム	農作業を体験し、野菜つくりをとおして住民の交流を図った。	5月18日・6月15日・7月27日・8月25日・9月22日・11月19日・2月15日・3月4日	8	43
吹奏楽に親しもう～音楽は人と人をつなぐ～	普段なかなか聴く機会のないレベルの高い吹奏楽の演奏をとおして、地域の方が共有できる心豊かな時間をもつ機会とした。	2月8日	1	200
街かどコンサート	地域の方が、気軽にクラシックコンサートを楽しむ機会を提供し、若い音楽家の質の高い演奏に触れることで、心豊かなひと時を共有する時間を創出した。	3月3日	1	168
大野田小学校・西多賀小学校社会学級共催事業企画会議	小学校区の学習団体と協力・情報交換をしながら、地域の家庭教育向上をめざした講座を企画した。	6月15日・11月2日・2月8日	3	17
富沢市民センターまつり	市民センター利用団体、町内会等の参加発表の場とし、地域住民のコミュニティつくりの場とした。	10月2日・3日	2	1,600
市民センター懇談会	地域課題やニーズの収集、情報の共有化をはかり、センター事業の運営に活用した。	9月17日・2月18日	2	27
図書室サポーター養成講座	新規ボランティア育成と既存ボランティアのスキルアップを行い円滑な図書室運営をめざした。	5月19日・7月8日・9月11日・1月22日	4	30
市民企画検討会「とみざわお茶っこ会議」	地域住民を企画員として、転入者への地域情報発信や、新旧住民の交流を目的とした講座を、企画・運営した。	5月14日・6月4日・11日・25日・7月9日・23日・9月10日・10月29日・11月12日	9	76
市民企画検討会「とみざわママステーション」	育児サークル間の交流を図りながら、子育て中の人が参加できる講座を企画・運営した。	5月26日・6月23日・7月21日・9月29日・10月27日・11月25日・1月26日	7	24

泉区中央市民センター

〔沿　革〕

昭和 22 年 9 月、七北田中学校内に七北田公民館として開設され、昭和 43 年 7 月には、市名坂字東裏の現在地に移転し、今日まで泉区の生涯学習の拠点として、その役割を担ってきている。平成 16 年 1 月、施設の老朽化と機能拡充の必要性から改築され新館としてオープンした。

当地域は従来の歴史的・文化的要素が残されている七北田地区と仙台市の副都心として急速に発展した泉中央周辺の都市化との混在する地域であり、住民を取り巻く学習環境は大きく変化しつつある。このような状況の中、現代社会に対応した生涯学習事業の展開を図るため、拠点館として機能がますます重要になってきている。

〔特色ある(地区館)事業〕

事業名	子育て支援機関連携　泉区中央おやこまつり		
参加者	未就学児とその親	参加延人数	182人
開催日	全6回 6 月 3 日(木)、6 月 24 日(木)、7 月 15 日(木)、8 月 26 日(木)、9 月 2 日(木)、9 月 9 日(木)		
協力者・協力団体	連携:七北田児童センター、子育て支援機関ほか		
ねらい	前年度の懇話会において、子育てに関わる機関が連携して合同のイベントを開催したいとの意見が出されたことを受け、未就園児を対象とした地域のおまつりを開催する。これによりお互いの関係をより深め、地域に住む若い親子の交流を促す。		
概要・成果	地域の子育て支援機関と連携しイベントを開催した。企画や準備を通して親交が深まり互いの活動への理解も深まった。大勢の親子の参加があり、イベント当日は社会教育実習生や学生ボランティアにも支えられた。今後のより良い関係に繋がる第一歩になったと評価できる。		

〔平成 22 年度 (地区館)事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子育て支援機関連携泉区中央おやこまつり	子育て機関と連携し、未就園児と保護者を対象にまつりを開催し、交流を図る。	6 月 3 日・24 日・7 月 15 日・8 月 26 日・9 月 2 日・9 日	6	182
すくすく育つ子どもごはん	子どもの「食」について学ぶことで家庭における「食育」について考える。	9 月 29 日・10 月 27 日	2	28
作ってみよう！七夕かざり	七夕について学んだ後、実際に仙台七夕を制作し、伝統文化に親しむ。	7 月 28 日・29 日	2	46
こども映画会	夜間にこども映画上映会を開催し、家族で憩える場を提供する。	2 月 26 日	1	20
いずちゅーキッズ	体験学習を通して、考える力・学ぶ力を身に付け、学校や学年を超えた交流を図る。	5 月 29 日・7 月 27 日・8 月 4 日・11 月 27 日	4	82

星はともだち	家族で星や月を観察することで、天文や自然への関心を深める。	7月21日・31日	2	73
暮らしア・ラ・カルト	誰もが気軽に参加できる講座を地域の達人を講師に迎え開催することで地域のニーズに応える。	10月14日・28日・11月11日・18日・25日・12月2日・9日	7	99
はじめよう！ノルディックウォーキング	七北田公園の自然を楽しみながらノルディックウォーキングで健康づくりをする。	5月18日・5月25日・6月1日	3	36
男の健康づくり	食生活の大切さを認識し、運動不足の解消と健康増進を図る。中年男性層に出会いや仲間づくりの場を提供する。	10月3日・17日・11月7日・21日	4	58
泉老壮大学	高齢者に定期的に学習の機会を提供し、交流を図りながら自主活動へ発展させる。	5月12日・6月9日・7月7日・8月11日・9月8日・11月10日・12月8日・1月12日・2月9日	9	502
みんなのコンサート	地域住民が気軽に集えるコンサートを開催し、参加団体と地域の交流を図る。	12月19日	1	170
変わる言葉変わらない想い	若者の言葉遣いや気になる日本語について学び、語り合いながら、社会学級生と地域の方たちが交流を深める。	1月18日	1	29
めくりめくってぶっちゃけ談義	地域住民のコミュニケーション能力を高めるとともに、住み易い地域社会の実現を目指す。	2月4日	1	32
七北田小学校・市名坂小学校社会学級連携企画会	誰もが参加できる生涯学習講座を合同で企画し、地域住民との交流を図る。	7月14日・8月31日・10月6日・11月5日・12月7日・1月10日・18日	7	40
泉区中央市民センター　合同サークル体験・発表会	サークル体験・発表会を実施することで各サークルの活性化地域交流を図る。	7月1日・8月5日・10月30日・10月31日・11月18日	5	648
泉中央懇話会	地域の子ども会役員との懇話会を実施し意見・要望を聞き、子育て支援を行う。	5月20日・6月17日	2	20
ジュニアと遊ぼう	ジュニアリーダーに活動の機会を提供し、近隣の小学生が集団で遊ぶ楽しさを実感することで異年齢交流を図る。	7月17日・12月11日	2	24
男の企画会	仕事や家庭での役割が一段落した男性に地域のことや自身の生涯学習などについて、語り合ってもらう。	6月23日～2月4日	12	52
子育て支援スキルアップ講座	地域の子育て支援団体にスキルアップ講座を提供し活動の活性化を図る。	11月11日・18日	2	33
読み聞かせボランティア養成講座	読み聞かせサークルを養成し、児童センターなどで活躍できる場を提供する。	6月11日・18日・25日・7月2日・9日・16日	6	89

根白石 市民センター

〔沿　革〕

昭和 21 年 11 月、根白石小学校内に設置され、昭和 23 年役場の移転に伴い独立施設としての活動がはじまる。昭和 28 年公民館新築促進が決議されてから 10 年の経過を経て昭和 38 年 7 月、待望の公民館が移転新築された。以来 20 年余、根白石唯一の社会教育施設として活動を続けてきたが、老朽化により昭和 63 年根白石字杉下前に新築移転、4 月に開館した。

当センターは、泉区西部に位置し泉ケ岳を背景に豊かな自然環境に恵まれている。周辺は田園地帯と近年の開発による住宅地からなり、多様な住民構成の生涯学習の場として、又スポーツ、コミュニティ、自主学習の場として広く利用されている。

館の特色として、299 席の移動式観覧席を備えた多目的ホールを有する。

〔特色ある事業〕

事業名	昔あそびボランティア養成講座		
参加者	成人	参加延人数	40人
開催日	全7回 7 月 8 日(木)、9 月 9 日(木)、11 月 11 日(木)、11 月 25 日(木)、12 月 8 日(水)、1 月 16 日(日)、2 月 10 日(木)		
ねらい	昔遊びの道具の作り方を身につけて、子ども達にその作り方や遊び方を指導するボランティアを養成する。		
概要・成果	身近にある竹を素材として遊び道具の作り方、竹の特性を学んだ。最終回の凧づくりでは、完成品を小学校の校庭を借りて一年生の生徒たちと一緒に揚げることができボランティアの一歩を踏み出すことができた。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
まめっ子くらぶ	大豆の種まきから収穫まで体験し、農業の現状やひとつの食材から様々な加工品ができることを学ぶ	5 月 22 日・6 月 26 日・7 月 17 日・8 月 7 日・28 日・10 月 16 日・30 日・11 月 6 日・13 日	9	122
放課後クラブ　あつまれ！元気キッズ	遠いために市民センターや児童館への来館が難しい子供たちに出前形式で普段学校では行われない様々な体験をさせる	7 月 17 日・9 月 11 日・10 月 16 日・11 月 17 日・27 日・12 月 1 日	6	200
男の腕まくり～クッキングデビュー～	健康に不安を覚える年代の男性に、いままでの食生活を見直し自分で作る楽しさを学ぶ	9 月 1 日・15 日・10 月 6 日・20 日	4	69
伝統　正月飾り	地域の人材を活用し根白石の正月飾りを作ることにより地域の伝統行事を学ぶ	12 月 23 日・1 月 13 日	2	43
楽しく・すっきり・ストレッチ【託児付】	幅広い年齢層に親しまれるストレッチ体操を通し、生活の中に運動を取り入れるとともに健康に対する意識の向上を図る	7 月 9 日・16 日・23 日	3	55

根白石民俗ミニ七夕づくり	根白石に伝わるミニ七夕飾りを近隣の地域住民が手作りしまつり会場に飾ることで地域交流に役立てる	7 月 13 日･14 日･21 日･22 日･27 日･28 日･8 月 3 日･4 日･5 日	9	114
市民企画講座「子どもの安全応急対応講座～救急車が届くまで」	幼児期に起こりやすい病気や思いがけない事故の備えた応急法など、救急車が着くまでにできる初期対応法を身につける。子どもを持つ親、孫を持つ世代の人が共に学び、子どもの安全について地域を共有する。	11 月 20 日	1	27
地域に役立つパソコン講座	広報紙作りに役立つ基本的な技術を学び効果的な地域の広報活動に役立てる	8 月 25 日･26 日･27 日	3	53
さわやか大学	高齢者が時代に即した学習をとおし積極的で生きがいのある暮しを送れるよう生涯学習と相互交流の場を提供する	5 月 20 日･6 月 24 日･7 月 22 日･8 月 26 日･9 月 16 日･10 月 21 日･11 月 25 日･12 月 16 日･2 月 17 日	9	255
出前講座	交通手段がなく市民センターへの来館が困難な地域の高齢者を対象に出前形式で生涯学習の場を提供する	6 月 23 日･9 月 7 日･10 日･10 月 5 日･1 月 21 日	5	104
ふれあい・発見！ウォーキングin根白石	運動や健康についての正しい知識を得て根白石地区を歩き世代を超えた交流をとおして地域のつながりを深める	11 月 14 日	1	27
冠のふるさと伝承まつり	子供たちが地域の財産である郷土芸能を受け継ぎ、その成果を発表する	10 月 17 日	1	500
地域ぐるみふれあいコンサート	管内にある 3 つの中学校吹奏楽部の合同でコンサートをとおして中学生同士や地域交流の活性化を図る	10 月 24 日	1	210
市民センターまつり	市民センター利用団体、サークルの学習発表および小学生の作品展示をとおして地域交流に役立てる	10 月 24 日	1	500
地域懇談会	地域住民から広く意見を交換し地域課題を共有し改善等に取り組むことで地域の活性化をはかる	7 月 27 日	1	18
昔あそびボランティア養成講座	昔遊びの道具の製作を身に付け子供たちに道具の作成指導や遊びを教えるボランティアを養成する	7 月 8 日･9 月 9 日･11 月 11 日･25 日･12 月 8 日･1 月 16 日･2 月 10 日	7	40
市民企画会議「みんなで・楽しく・子育て」	親子が孤立することなく安心して子育てができる環境を考える	6 月 4 日･7 月 2 日･8 月 25 日･9 月 7 日･10 月 29 日･11 月 20 日･12 月 1 日	7	14

南光台市民センター

〔沿　革〕

昭和52年4月、南光台公民館として開館し、その後、平成2年4月に南光台市民センターと改称され、地域住民の交流の場・生涯学習の場として、その役割を担ってきた。

また、昭和62年8月に泉図書館南光台分室がセンターに併設された。

〔特色ある事業〕

事業名	南光台地域防災力向上計画		
参加者	南光台中学校生徒・南光台地域町内会役員・地域住民	参加延人数	1,005人
開催日	全4回　6 月 29 日(火)、7 月 10 日(土)、11 月 22 日(月)、2 月 16 日(水)		
協力者・協力団体	南光台中学校・泉消防署南光台出張所・南光台地区町内会・老人会・婦人会		
ねらい	高齢者の多い南光台地区において、地域の防災戦力として中学生が果たす役割は大きい。災害発生時の様々な想定をもとに　中学生と地域の関係団体が協力しながら、各方面で連携した体制を整えていく。		
概要・成果	防災講演会、実技学習（簡易トイレ組み立て、非常食づくり、救急救命AED訓練、災害用伝言ダイヤル実践、多言語表示学習）、地域防災連絡会を行った。 中学生にとっては、地域の方たちと一緒に活動ができ、地域の一員としての自覚が生まれた。また災害に対する危機意識や共助の大切さが、中学生・地域住民それぞれの立場で大きく広がった。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
幼児の救急･応急対応講座～いざという時のために～	子供の急変や事故への対応について、応急手当や救命処置体験等を通し、いざという時に対応できるスキルを身につける。	12 月 10 日	1	5
スマイルひろば	「南光台スマイルひろば企画委員会」の企画事業①乳幼児を抱える育児中の母親と地域をつなぎ、地域で活動しているサークルや人材を活用しながら、楽しい子育てを提案し、地域で安心して子育てができる環境づくりを目指す。	5 月 28 日･6 月 25 日･7 月 23 日･10 月 29 日･11 月 26 日･2 月 25 日	6	133
子育てママのための心と体のセルフメンテナンス	「南光台スマイルひろば企画委員会」の企画事業②子育て中の方々の、様々な悩みを共有し地域課題について考え解決策を見いだし、広く子育て世代を応援し、安心して子育てができる地域づくりを目指す。	11 月 19 日･26 日･12 月 3 日	3	65
キッズ・チャレンジクラブ	小学生を対象に、学校・家庭以外での体験学習や活動の場を提供し、異年齢交流を図ることで、子どもの社会性や創造力を育む。	8 月 28 日･9 月 11 日･12 月 18 日･2 月 26 日	4	70
夏まつり子ども大会わくわくプレイパークin夏まつり	毎年恒例の地域の夏祭りの「子ども会大会」に参加して地域と積極的な交流を図り地域活性化をめざす。	8 月 19 日	1	41

ワケルくんに学ぼう（南光台小学校）	子どもの社会性や豊かな情緒を育むための学習の機会を、小学校と連携して子どもに提供する。	6 月 29 日･30 日	4	136
ワケルくんに学ぼう（南光台東小学校）	子どもの社会性や豊かな情緒を育むための学習の機会を、小学校と連携して子どもに提供する。	6 月 9 日	2	78
仙台の伝統をまなぶ講座	仙台の伝統行事や伝統料理を学ぶことで、仙台の魅力を再発見する。伝統七夕づくり･仙台雑煮づくり等	11 月 12 日･ 1 月 13 日	2	25
ふれあい広場で健康づくりースロージョギングから始めようー	さまざま目的でジョギングをする人が増えているが、自己流で走るとマイナスになる。そこで正しいフォームで走る技術を身につけ、健康づくりを推進する。	10 月 26 日･11 月 2 日･9 日	3	22
ストレス社会を生き抜くために	ストレスを抱えやすい現代社会において、体と心の健康についての知識を深くし、健康管理に役立てる。	6 月 30 日 7 月 7 日	2	9
最先端医療を学ぼう	南光台地域の 2 校の社会学級との連携で、地域の施設である仙台オープン病院を見学し地域医療支援病院について学ぶ。さらに仙台オープン病 院による最先端医療を学ぶことでこれからの自己管理について考える。	1 月 25 日	1	18
男の家事デビュー！ステップアップ	高齢社会を意識しいつでも自活できるよう、料理の基礎･基本、家事全般の豆知識を実技と講話で学習し、男性の家事参加を推進する。	9 月 18 日･10 月 9 日･11 月 20 日	3	41
南光台学院	地域に暮らす高齢者が社会の変化に対し学び、自らの視野を広げる機会と仲間づくりの交流の場を提供するために、講話･実技･見学等を実施する。	4 月 28 日～2 月 25 日	11	480
とっておきの市民センターコンサート 2010	健常者と障害を持つ方が音楽を通して集い合い、ふれあうことで両者の理解を深め、人と心のバリアフリーを目指す。（楽器演奏と歌唱）	12 月 4 日	1	63
南光台地域防災力向上計画	高齢者の多い南光台地区において地域の防災戦力として中学生が果たせる役割について地域人材とともに、実技をとおして学ぶ	6 月 29 日･7 月 10 日･11 月 22 日･2 月 16 日	4	1,005
社会学級連携企画会議	南光台小･南光台東小の社会学級生と企画会議を行い地域に向けて発信することを目的に講座を企画する。	6 月 8 日 ･7 月 8 日･ 1 月 18 日	3	6
南光台市民センターまつり	センター利用サークル及び地域団体等の活動成果を展示、ステージ、特設部門で発表し、併せて地域住民との交流を図る。	10 月 16 日･17 日	2	4,000
南光台市民センター懇談会	市民センターの事業運営に地域の課題や情報を的確に反映させるため利用者、町内会、商店会等地域団体と懇談会を設置する。	7 月 31 日･3 月 5 日	2	12
南光台アドバルーンとあそぼう	市民センターで活動しているジュニアリーダーのスキルアップと活動の広報をめざしゲームを中心に講座を実施する。	7 月 24 日･2 月 27 日	2	11
南光台ふれあい広場活用委員会	センター西側の「南光台ふれあい広場」を安全にかつきれいに広場が使用できるように、広場の整備や活用についての基盤づくりをする人材を育成する。	2 月 24 日	1	6
市民企画会 市民センターもりあげ隊	企画員を募集し市民センターの活性化に役立つ講座等の計画･実施を行う。また、運営の担い手になってもらい、地域人材の発掘につなげる。	3 月 4 日	1	6
南光台スマイルひろば企画委員会	市民センターと協働で子育て中の人のための講座を企画運営してもらう。地域人材として育成する。	4 月 16 日～3 月 4 日	11	96

黒松市民センター

〔沿　革〕

昭和 47 年 4 月開館の八乙女公民館(旭丘堤 1 丁目、建物面積 144 ㎡)を前身とする。平成 4 年 10 月移転新築により、拡充され「黒松市民センター」として、地下鉄黒松駅に隣接する現在地(黒松 1 丁目、延床面積 1、491 ㎡)に開館した。

当市民センターは地域における生涯学習の拠点として、また、交通の利便性により広域からの施設利用者にも活用されている。

〔特色ある事業〕

事業名	防災プロジェクト 2010 ～その時わたし達にできること～		
参加者	地域住民、中学生	参加延人数	642人
開催日	全1回　10 月 28 日(木)		
協力者・協力団体	八乙女中学校、泉消防署、仙台市水道局		
ねらい	高齢化した団地の中で、中学生は災害時に貴重な労力を提供できる。災害が発生した時に、適切な対応、処置ができるよう中学生と地域住民が一緒に体験学習を行う。その体験を通じて、自分で判断し災害を回避できる経験や知恵を育み、地域防災の「共助」の一助となれる人材を目指す。		
概要・成果	①講話 ②実技(避難所体験、バケツリレー、AED、蛍光灯落下実験 他) 地域住民との合同訓練に向けて町内会月例会に出席し町内会単位での参加を呼びかけ、新たな町内会も加わっての訓練が実施できた。アンケートでは、地域の参加の皆さんからは、生徒との一緒の訓練に一定の成果を感じていただけた。生徒たちからも、災害が起こった時のパニックぶりを考えることができたなど、将来に備えて考える機会を提供できた。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
黒松おやこひろば	子供を地域みんなで見守り、育む場。育児中の親子が気軽に集い、母子のつながりや、地域とのつながりを感じる場とする。【内容】絵本の読み聞かせ・歌遊び・紙芝居・ﾘｽﾞﾑ体操 他	4 月 23 日～3 月 4 日	16	223
一緒に育とう！私と子どものいい関係2010	初めての子育てをする保護者を対象として、安心して子育てが出来る知識を学ぶ場とする。【内容】①手遊びわらべ歌等実技②おやつ作り③おもちゃ作り④交流会	6 月 16 日・23 日・7 月 14 日・21 日	4	31
食育講座「気づいているかい？」	「身近な食」について学び、食に対しての意識を深める一助とする。【内容】講話・ワークショップ・伝統的な日常料理の調理実習	11 月 5 日・19 日・12 月 3 日	3	48
わくわくタイム	子供達が家庭や学校を離れて学びや体験の中で、「学ぶ楽しさ」の習得を図る。【内容】科学工作・七夕作り・JL と遊ぼう・星空観察・港工場見学・国際交流・リース作り・お菓子作り	5 月 15 日・6 月 12 日・7 月 10 日・8 月 7 日・9 月 11 日・10 月 9 日・11 月 13 日・12 月 11 日・2 月 5 日	9	216
黒松どきどきキャンパス	利用機会の少ない中学生や小学高学年に向けて、魅力ある体験学習を実施し、市民センターとの関わりや利用を促す。【内容】①昆虫標本作り②マイコン組立体験③科学実験体験	7 月 17 日・9 月 25 日・12 月 11 日	3	33
こどもキャリア講座	子供達に早い段階から、自分の将来について考える習慣や生きる力を身につけるための学びの場を提供。【内容】ワークショップ;①夢に日付をつける/未来設計図作成②未来の見つけ方	7 月 28 日・29 日	2	32

防災プロジェクト2010～その時わたし達にできること～	災害時に、適切な対応・処置が出来るよう中学生と地域住民が一緒に体験学習を行う。【内容】①講話/②実技;学年ごとに別ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ:避難所体験、バケツリレー、AED、蛍光灯落下実験他	10月28日	1	642
おもしろ体験～おうちの仕事～	家事を通して自分も家族の一員としての自覚を持ち、生きる技術や“おもてなしの心構”など生活の基本を身につける。【内容】①和のおもてなし②海外のおもてなしテーブルセッティング等体験	11月27日・12月4日	2	18
健康講座いきいき生活を“正しい姿勢”から	「身体にいい事」という視点で健康づくりを支援。身体の中心である「背骨・骨盤」について取り上げる。【内容】①講義②実技･･･姿勢の乱れや身体のラインの崩れを調整方を学ぶ。	5月26日・27日	2	29
市民環境講座「真美沢堤の自然林から見えてくる環境」	近隣地域にある真美沢公園の、自然林を観察し、身近なところから自然環境の状況について感じ、気づくための場を提供。【内容】春夏編:春の動植物を観察/秋冬編:秋の動植物を観察	7月3日・10月30日	2	21
食育講座なつかしいおやつ	心と身体の成長を豊かにする大切な時間であるおやつを取り上げ、おやつ本来の役割や食べ方などを学ぶ。【内容】①素材を生かしたおやつ作り「麦こがし」②「お餅」で保存食	12月8日・15日	2	19
「絵本の世界-小物で楽しむ」読み聞かせ基礎編	読み聞かせの手法を学び、ボランティア活動のスキルアップを図る。地域で子どもを育てるためのコミュニケーション術を知り、地域活動の充実を図る。【内容】①講話②小物作り③小物の使い方・手遊び	9月1日・8日・14日	3	47
社会学級共催事業危ないケータイ・楽しいケータイ～大人の知らないケータイの世界～	情報化社会と言われなか、小中学生を持つ保護者が、携帯電話について安心して対応できるよう、学ぶ場を提供する。【内容】講話・情報交換	2月10日	1	27
黒松寿大学	高齢者が意欲的に学習し、ライフスタイルのスキルアップを図り、健康で心豊かに生活を送るための生涯学習の機会を提供する。【内容】健康・環境・食生活・時事問題・国際交流・福祉等体験会や講義	5月20日・6月17日・7月15日・8月19日・9月16日・10月14日・11月18日・12月16日・2月17日	9	459
黒松市民センターまつり	生涯学習の振興及び地域住民の交流の場とコミュニケーションづくりの促進を図る。【内容】こどもまつり・作品展示・ステージ発表等開催	9月25日・26日	2	1,710
社会学級共催事業検討会	2つの社会学級と市民センターが協力し、地域課題を共有し、地域のネットワークや生涯学習環境の整備・向上を図る場とする。【内容】顔合わせ/内容検討/講座開催/評価と反省	6月8日・7月6日・9月7日・10月5日・11月9日・12月7日・2月9日	7	33
黒松市民センター懇談会	地域課題の共有・解決のため、地域団体から意見を聴取する。市民センター事業について地域団体に周知・報告する事により地域における学びの場、コーディネーターとしての理解を深める。	7月27日・2月22日	2	38
ボランティア支援講座ー情報発信・ビデオクリップを作ろうー	黒松市民センターを拠点とするボランティア活動団体の活動を地域に広く知ってもらう手段としてビデオクリップ作成を学習。【内容】①情報発信とは②ビデオクリップの作成③仕上/作品発表	2月9日・16日・23日	3	37
「絵本の世界」企画会	講座から立ち上がった読み聞かせサークルを対象に、“本に触れ親しむ事”をテーマにした講座を企画。実際に地域での活動・スキルアップを目指す。【内容】企画会議/講座開催/反省会	4月21日・5月19日・6月16日・23日・7月21日・8月24日・9月14日	7	22
市民企画会「おしゃべりサロン2010」	生活に密着した「食」をテーマに、市民による企画・講座開催を目指す。参加者が企画運営する事で地域の食のリーダーとして、スキルを得る一助とする。【内容】企画会議/講座開催/反省会	7月2日・8月6日・9月3日・11月5日・12月3日	5	41

将監市民センター

〔沿　革〕

昭和 47 年 11 月、将監団地の開発・発展を背景に地域住民の交流の場を「将監会館」として開館した。昭和 53 年 4 月、新たに地域生涯学習の拠点施設として名称を「将監公民館」に改め、昭和 54 年 6 月には研修室棟も竣工し施設の拡充が図られた。その後、仙台市との合併に伴い、平成元年 4 月から「将監公民館・将監市民センター」となり、翌年 4 月「将監市民センター」と改称された。

平成 3 年度には、施設の大規模な改築が行われ、平成 4 年 4 月新装開館し現在に至っている。当センターは、軽スポーツ活動が可能な多目的ホールを有し、多くの人々に利用されている。

〔特色ある事業〕

事業名	将監ふれあいコンサート		
参加者	地域住民	参加延人数	スタッフ会議：32人 コンサート：385人
開催日	スタッフ会議： 全5回　8 月 5 日(木)、8 月 25 日(水)、9 月 7 日(火)、10 月 7 日(木)、10 月 27 日(水) コンサート： 全1回　11 月 3 日(水)		
協力者・協力団体	「将監沼の自然」とふれあいを育む会		
ねらい	地域連携として、市民企画会議「将監ふれあいコンサートスタッフ会議」により、市民企画員と地域団体が協働で企画した地域住民のニーズを反映したイベントを開催し、世代間交流と地域住民の交流の推進を図る。		
概要・成果	地域でのイベントの開催や清掃など幅広く活動をしている『「将監沼の自然」とふれあいを育む会』と、新たに公募した市民企画員との協働で企画会を実施。コンサートの企画段階から参加することにより、参加者同士の連携と市民センターの事業や「育む会」の活動への理解が深まった。コンサートには、地域住民のみならず市外からの参加者もあり、有意義な交流の場となった。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
将監沼親子ウォッチング	地元の環境資源である将監沼を親子で散策し、子どもに豊かな生活体験の機会を提供した。	10 月 9 日・16 日	2	34
こどもチャレンジ講座「サイエンス・マジック」	身近にある材料を使って電気や化学の実験をし、科学を身近に体験した。	7 月 22 日・29 日・8 月 5 日・19 日	4	80
将監こども映画館	地域の子ども達に居場所を提供し、情操教育に効果的な映画の上映とボランティアによる絵本の読み聞かせ、折紙のプレゼントをした。	5 月 15 日・8 月 7 日・12 月 4 日・2 月 5 日	4	138
泉ヶ丘小学校連携講座「夏の講座」	交通アクセスが不便で来館が困難な、泉ヶ丘地区の親子を対象に、市民センターで活動しているサークル・グループの講師を派遣し、夏休み期間中多様な体験会を開催した。	7 月 23 日・24 日・25 日・30 日・31 日・8 月 1 日・6 日・7 日・10 日	9	175
将監東中学校連携講座「災害に備えて」	災害に備えて、将監中学校と連携して災害訓練及び防災訓練を実施した。	11 月 16 日	1	397

めざせ！体質改善！	体質改善に有効な軽体操を紹介し体験した。若い世代も参加できるよう託児付講座とし健康や運動への関心を高め、地域ぐるみの健康作りを推進した。	1 月 20 日・27 日・2 月 3 日・10 日	4	91
将監寿大学	健康講話、歴史、軽運動、時事問題等幅広い分野で実施し、受講生の親睦が図られた。	5 月 18 日～2 月 15 日	10	454
七夕飾りを作ろう	仙台七夕まつりについて学習し、大笹の七夕飾りを作製し地域に飾り付け、地域への関心・愛着を深めた。折り紙サークル活動の場を提供し資質の向上を図った。	6 月 12 日・26 日・7 月 10 日・24 日・31 日	5	136
将監の秋を楽しもう！	将監地区の「将監沼」の歴史・植物・生物を学び、将監沼を散策し、地域の魅力を再認識した。	11 月 13 日・20 日・27 日	3	55
天体観望会～ベガ号で星空を観よう～	星空講話の後、ベガ号で夜空の星を観測した。	9 月 17 日	1	76
4 館共催事業「グラウンドゴルフ大会にあつまれ」	児童館・児童センターとの共催で企画会議を重ね、子どもから高齢者までが気軽に参加し交流できるグラウンドゴルフ大会を実施し、地域の活性化と世代間交流を図った。	9 月 4 日	1	63
社会学級共催事業「簡単！即効！！ストレッチ」	将監地区３つの小学校の社会学級との共催で、地域の方々と共に手軽に出来るストレッチ運動を基礎から学び、健康作りについての意識付けをした。	11 月 11 日	1	33
街かどコンサート	地域の方々が気軽に参加でき楽しめるコンサートを開催し、地域住民の交流を図った。	3 月 5 日	1	52
市民企画講座「将監ふれあいコンサート」	市民企画会議「将監ふれあいコンサートスタッフ会議」により市民企画員と地域団体とが協同で企画した地域住民のニーズを反映したコンサートを開催した。	11 月 3 日	1	385
児童館・児童センター・市民センター4 館共催企画会議	児童館・児童センターと共催し、地域に密着した事業を実施するための企画会議を開催した。	4 月 15 日・5 月 20 日・6 月 17 日・8 月 27 日・9 月 3 日・9 日	6	44
社会学級共催講座企画会議	地域の３小学校の社会学級と共催し、地域のニーズにあわせた事業を実施するための企画会議を開催した。	6 月 17 日・8 月 3 日・11 月 2 日・11 日	4	29
将監市民センターまつり	市民センターの利用団体に学習の成果を発表する場を提供し、参加者間の親睦や地域住民との交流を図った。	10 月 2 日・3 日	2	2,300
将監まちづくり懇談会	施設や生涯学習についての要望や地域情報、課題について意見交換を行った。	1 月 26 日・2 月 23 日	2	16
ジュニアリーダーといっしょにあそぼう！	工作で紙飛行機を作って飛ばしたり、ダブルダッチを体験したあと、ジュニアリーダーとゲームをし、異学年と交流しながら集団遊びを楽しんだ。	8 月 20 日	1	46
市民企画会議「将監ふれあいコンサートスタッフ会議」	地域の幅広い年齢層の企画員を募集し事業企画を協同した。地域交流イベントの企画・運営をとおして、参加者同士の連携を深めた。	8 月 5 日・25 日・9 月 7 日・10 月 7 日・27 日	5	32
サークル体験しませんか	センターを拠点として活動しているサークルの体験会を実施し、学びのきっかけを提供した。	2 月 22 日・23 日・24 日・25 日・26 日・27 日・3 月 3 日	7	51

加茂市民センター

〔沿　革〕

昭和58年4月、加茂公民館として会館した。その後、仙台市と泉市の合併や公民館と市民センターの併設を経て、平成2年に現施設名に改称された。平成10年には併説していた加茂体育館が編入され、現在に至っている。開館当時は長命ヶ丘・泉中山の区域まで対象としていたが、平成5年4月の長命ヶ丘市民センターの開館に伴い、現在は加茂・虹の丘・上谷刈・みずほ台を対象としている。

当市民センター周辺には加茂神社や古内志摩の墓、中世の館跡である長命館公園などが点在しているほか、七北田川や丸田沢堤・三共堤がある水の森公園などの自然環境にも恵まれている。

〔特色ある事業〕

事業名	市民企画会「加茂コンサートを企画しよう」		
参加者	成人	参加延人数	80人
開催日	全13回 5月27日(木)、6月12日(土)、6月23日(水) 、7月7日(水)、9月22日(水)、11月11日(木)、11月21日(日)、11月28日(日)、12月5日(日)、12月8日(水)、12月11日(土)、12月12日(日)、12月17日(金)		
協力者・協力団体	地域住民		
ねらい	企画委員の持っている知識や経験を生かし、講座を企画・運営することで地域活動への繋がりを広げる。		
概要・成果	加茂市民センタークリスマスコンサート「Dreams Kamo True」(12月12日開催)を企画・運営した。企画委員の熱心な取り組みにより、企画進行スケジュールも的確に行われ、地域の方からも多くの賛同を得た。バレエ、ブラスアンサンブル、照明と地域にとっては大規模な企画となったが、企画委員の持てる力を存分に発揮でき、活動の飛躍に繋がった。		

〔平成22年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
楽しく子育てライフ	子育て中の世代を対象に親子でリトミックや英語で歌うことでリフレッシュを図った。また保護者を対象にコーチングの学びを通して互いの現状や不安を話し合うことで交流を図った。	6月3日・17日・7月1日・15日	4	36
親子で楽しむお話のへや	親子に読み聞かせや紙芝居などの楽しさを伝えるとともに、子どもの読書習慣を身につけるため、手遊びを交えながら絵本の読み聞かせを行った。	9月3日・10日・17日・10月1日・8日・15日	6	82
加茂子どもクラブ	天体観望会やバードウォッチングを通して自然とふれあい、仙台高等専門学校の学生製作のロボットを操作したりする体験等を通して学びを深めた。	5月21日・12月23日・2月26日	3	123
加茂中学校区青少年健全育成推進協議会との共催事業	・災害時の心得・中学生にも出来る救助について学んだ。・防犯守ろうデーへの参加。	11月9日・12月10日	2	291
加茂の自然探訪	地域にある自然の素晴らしさを再発見し、地域づくりの基本とするため、地域の散策を行った。	5月13日・10月28日・2月26日	3	47
加茂中学校へ行ってみよう	加茂中学校の選択授業の一つである藍染めを体験し、給食を食べ、食育等についての講話と学校見学を行った。	9月29日	1	19

リサイクル工房	ゴミとして出していた古布を使い・布ぞうりと・ぬいぐるみを作った。それぞれがごみの減量に心がけ、環境への関心も高められた。	7月7日・14日・21日・28日・8月4日・27日	6	88
シニアカレッジ入門	中高年の方向けに種々の分野の講座を提案し市民センター講座に気軽に参加してもらうことを契機にして、継続的な学習へと発展し仲間作りの場を提供する。	6月10日・7月8日・8月12日・9月9日・10月7日・11月11日・12月9日・1月13日	8	197
ノルディックウォーキングで健康ライフ	シニア世代でも手軽に出来るノルディックウオーキングを通し、健康への意識が高まり、健康増進に繋がった。	11月12日・19日・26日	3	45
市民企画 加茂市民センタークリスマスコンサート「Dreams Kamo True」	加茂クリスマスコンサート一部：創作バレエ二部：ブラスアンサンブル	12月12日	1	157
加茂地域防災協議会共催「救急救命法を学ぶ」	災害時、できるだけ多くの住民が対応できるよう、救命救急と防災訓練を行う	6月20日・9月4日	2	394
加茂連合町内会との共催事業	高齢化の進む加茂町内において、安心、安全な暮らしを送るために、電気安全セミナーを行った。	11月28日	1	20
加茂地区社会福祉協議会との共催事業「いきいき交流会」	高齢化が進む加茂地域の中で、地域が抱える様々な課題などを把握し、情報を共有することで、地域のニーズに合った講演会とボッチャを開催した。	6月22日・7月10日	2	85
ウォークラリーで町探検	町内のチェックポイントを、グループに分かれて回りながら問題を解き、ゴールする体験学習を行った。	12月18日	1	85
加茂地区社会福祉協議会との企画検討会	加茂地区社会福祉協議会と、地域の高齢社会を相互に担っていく環境づくりのために、事業の企画会を開催した。	4月6日・9日・28日・6月22日・7月10日・8月7日	6	45
加茂市民センターまつり	加茂市民センターを拠点に活動しているサークル、地域の各種団体の学習成果を発表するとともに、地域の交流の場となった。	10月23日・24日	2	1,750
地域懇談会	加茂、虹の丘小各地域の各種団体との話し合いの場を設け、情報交換により相互理解を進めるため懇談会を開催した。	1月8日・25日	2	34
ロビートークサロン	一般地域住民の方と気軽に話し合いができる場を設定し、事業運営に関するご意見ご要望を聴き、今後のセンター運営に繋げる	4月20日・9月28日・2月15日	3	13
緑の環境ボランティア入門	センター内の整備、地域の公園の植栽の整備など町の美化運動を行った。	5月29日・6月26日・7月24日・11月27日・2月12日	5	55
ジュニアリーダーと遊ぼう	加茂プレゼントのジュニアリーダーと地域の子どもたちが一緒に活動することで、ジュニアリーダー自身の資質の向上を図ると共に、異年齢交流を促進するためスポーツチャンバラを行った。	7月17日	1	9
市民企画会 「加茂コンサート」を企画しよう	企画委員の持った経験を生かし講座・運営をすることで地域活動への繋がりを広げる。	5月27日～12月17日	13	80
ふれあいロビーギャラリー	センターロビーでの発表・展示を行い、サークル活動の活性化とサークル支援を行った。	6月23日・9月18日・12月9日・2月15日	4	311

高森市民センター

〔沿　革〕

当センターは、地域住民の生涯学習活動の中心的施設として平成元年 4 月高森公民館として開館した。その後、機構改革に伴い高森市民センターと改称された。

この地域は、昭和48年以降、民間企業によって開発された地域で、閑静な住宅地のほか高森東公園や高森自然公園などには豊富な緑地が残され、自然と調和した美しい街区が特徴的である。

町内会や地域ボランティア団体を中心に、「新しいふるさとづくり」を目指して、四季を通じたイベント等を行い、地域活性化を推進している。その中で、地域への愛着心を育む交流の場として多くの地域住民に利用されている。

〔特色ある事業〕

事業名	地域安全マップを作ろう！		
参加者	高森小学校 4 年生・高森東小学校 3 年生	参加延人数	140人
開催日	全4回　6 月 17 日(木)、6 月 22 日(火)、7 月 2 日(金)、7 月 10 日(土)		
協力者・協力団体	特定非営利活動法人日本ガーディアン・エンジェルス、地域安全マップサポーター、高森小学校 PTA、高森東小学校 PTA、高森校区子ども会育成会、高森東楽寿会、高森東地区社会福祉協議会、高森児童センター、高森東児童センター、子ども110番の家		
ねらい	小学生が、地域内で犯罪の発生が予想される危険な場所を探して歩き、地域安全マップを作成することにより、危険を察知し回避できる能力を身につける。また子ども110番の家を探すことで地域での見守りを知る機会とする。		
概要・成果	地域内の小学校と連携し、地域内の諸団体等の協力を得ながら、総合学習の時間に、小学生がグループに分かれ、地域内の危険な場所を探し歩き、地域の安全マップを作成した。またグループ毎にできたマップを基にフィールドワークの成果を発表した。 サポーターや保護者の協力もあり、また110番の家の方々にも快く協力いただき子どもを見守る地域の温かさに触れる機会になった。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
おはなし広場	絵本の読み聞かせを通して子どもが読書に親しむ機会の提供。影絵、絵本を題材とした菓子作りや簡単工作等。	7 月 28 日・9 月 29 日・11 月 5 日	3	42
親子で郷土料理を学ぼう	市民企画会議による実施講座。高森地区の転入者を対象に子どもと一緒に宮城の郷土料理を学び地域への理解と交流を深める。	10 月 23 日	1	8
わくわくチャレンジ工作	普段なかなか体験できない科学工作や凧作りを体験し、製作する達成感や感動を親子で共有し絆を深めた。	8 月 5 日・9 月 28 日・10 月 31 日	3	37
伝統行事を学ぼう	地域に伝わる伝統行事、七夕飾りや小正月飾りのだんごさし等を地域のボランティアの協力を得て実施し、伝統の継承と世代間交流を深めた。番外編として猿まわしも実施。	6 月 13 日・11 月 25 日・1 月 8 日	3	245
インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るためにリーダーとなる子どもや世話人を対象に、子ども会についての知識やレクリエーションの研修。	12 月 4 日	1	90

わら縄をなってみよう！	小学生を対象に地域の縄ないサポーターの指導の下、稲作の産物であるわらをなう体験をし、伝統技術の継承を行い、世代間の交流も図る。	10 月 22 日・11 月 25 日	2	84
地域安全マップを作ろう！	小学生が地域内の犯罪が起こる危険性が高い場所を歩いて探しマップを作成することで危険を察知して回避できる能力を身につける。	6 月 17 日・24 日・7 月 1 日・10 日	4	140
高森ミニ農園	土作り、堆肥作りから始まる有機栽培の野菜作りに取組み、食の安全を考える。収穫物で郷土料理や保存食作りも学び交流を深める。	4 月 10 日～11 月 13 日	15	582
地域の技もち人に学ぶ	地域内で特技を持っている人材を活用した講座の実施。地域の方が気軽に講座に参加できる環境を作り、地域住民の交流を図る。	6 月 30 日・7 月 28 日・8 月 26 日・9 月 4 日	4	63
男の台所入門講座	高齢化社会に向けて男性が家事に取組む機会を想定し、家事の自立を目指す。主に料理やごみ出しなどのエコ学習等も行う。	12 月 18 日・25 日・1 月 26 日・2 月 1 日	4	59
私のチャレンジタイム～ゆっくり体を動かそう～	子育て講座企画会議による実施講座。運動不足の解消のために気軽に取組めるヨガ等を体験する。また育児中の方の心身のリフレッシュを図る。	10 月 27 日・11 月 3 日・17 日	3	68
高森塾	高齢化社会に適応した学習活動を推進し地域のニーズに応じた学習内容を提供する。受講生の親睦を深め健康で生きがいのある生活を支援する。	4 月 23 日～2 月 25 日	10	427
高森福祉地域交流大会「高森ふれあいコンサート」	高森福祉地域交流大会企画会議による実施講座。福祉活動をしているボランティア団体と共に地域の交流大会としてコンサートを開催し音楽を通して地域の交流を深める。	11 月 27 日	1	216
早春コンサート	高森小学校社会学級連携企画会議による実施講座。育児等で忙しくゆっくり音楽を鑑賞する時間がない現状に対してコンサートを開催しゆとりある時間を提供する。社会学級活動の活性化も図る。	3 月 8 日	1	55
地域防災講座「備えあれば憂いなし」	地震等の災害に備え、地域住民が災害発生時にできる様々な支援活動を学ぶ。	11 月 21 日	1	27
高森福祉地域交流大会企画会議	高森東社会福祉協議会に所属し高齢者を対象に福祉活動をしているボランティア団体と連携し地域交流大会を企画する。	6 月 4 日・7 月 22 日・9 月 17 日・11 月 27 日	4	14
高森小学校社会学級連携企画会議	高森小学校社会学級と連携し共通の課題について企画会議を行い、地域に向けて発信する講座を企画する。	5 月 19 日・7 月 21 日・9 月 30 日・3 月 8 日	5	17
星空ミニミニコンサート	地域の人材を活用したコンサートを開催し、気軽に生の音楽に触れる機会を設ける。また地域の音楽活動者の支援をする。	8 月 20 日・10 月 8 日	2	52
高森市民センターまつり	センター利用団体や地域活動団体の生涯学習成果の発表の場として、また地域住民の交流の場としてセンターまつりを開催する。作品展示、舞台発表等。	9 月 25 日・26 日	2	4,340
高森地域懇談会	市民センター運営に対する意見交換や地域課題等を地域住民と共有する場として懇談会を開催する。	10 月 16 日・11 月 2 日	2	14
レクリェーションボランティア養成講座	ボランティア活動に理解が深く、余力を地域で活かしたいという方を対象に、レクリェーションの技術を学び地域で活動できるよう育成する。	2 月 10 日・24 日・3 月 3 日	3	102
子育て講座企画会議	育児に関するニーズにきめ細かく応えるために、子育てに関心を持つ地域住民や子育て中の方々で、託児付きの講座を企画する。	4 月 21 日・5 月 19 日・6 月 23 日・7 月 28 日・11 月 17 日	5	15
高森市民企画会議	地域住民が自らの知識や経験を生かし、地域課題や多様なニーズに応える講座を企画運営する。	5 月 12 日・6 月 16 日・9 月 14 日・10 月 23 日	4	10
市民センターデビュー	市民センターや地域で活動しているサークル団体の活動を見学、体験する機会を設け、生涯学習への関心を高める。	6 月 11 日	1	20

松陵市民センター

〔沿　革〕

松陵市民センターは、泉区の北東に位置する松陵ニュータウン内にあります。松陵・永和台・歩坂町・山の寺・向陽台・明石南の6つの町をエリアとし、県民の森をはじめ、豊かな自然と緑に恵まれています。付近には、街路樹ロードとスポーツ施設のある松陵公園があり、幅広い年齢層の方が自然を愛し、親しんでいる姿が見られます。

当施設は、生涯学習の拠点として、市民に大いに利用され親しまれることを目指して、職員一丸となって事業推進に努力しています。

〔特色ある事業〕

事業名	ウォークラリー		
参加者	一般	参加延人数	81人
開催日	全1回　10 月 9 日(土)		
協力者・協力団体	共催:松陵小・松陵西小校区育成会、松陵小学区民体育振興会、はつらつ遊樹会		
ねらい	地域住民が気軽に参加できるウォークラリーを開催し、地域の交流を深めることで、地域活性化と青少年の健全育成を目指す。		
概要・成果	松陵地区内のコースをコマ図を見ながら廻り、クイズに答えたりしてポイントを競った。 ウォークラリー終了後参加者全員で芋煮やおにぎりを食べさらに交流を深めた。小学生とその親の参加が多く、家族間の交流も盛んに行われた。 今回は、「いきいき楽々講座」の受講生有志の方や男の料理サークルの方々にもお手伝いいただき、例年とは違う交流が生まれた。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
使えるコミュニケーション術 ～上手なご近所づきあいのために～	地域のつながりや世代間交流を円滑にするためのコミュニケーション術を学ぶ場を提供する。	1 月 26 日・2 月 9 日	2	50
男の料理教室	向陽台地区での要望から出前講座を提供する。同時に高齢者が簡単な食事づくりを体験することにより自立と食への関心を深める。	2 月 23 日	1	11
子どもゼミナール’10	学校では体験しにくい様々なことに挑戦し、創造性を育むとともに年齢を超えた子どもたちの交流をもつ。	7 月 27 日・28 日・29 日	3	71
松陵っ子土っと来い！スペシャル	長期休みに伴う子どもの居場所作りを目的に工作・運動・料理などの体験学習の場を提供する。	12 月 4 日・1 月 22 日	2	78
昔あそびに挑戦！	小学生を対象に日本文化への知的好奇心を深め高齢者の方々を指導者として世代間交流を図る。	1 月 29 日	1	21
障がい者学習支援講座「松陵ウエルフェアサロン」	障害者が社会参加の適応力を高め、地域住民と交流するための学習の場を提供する。	5 月 29 日・6 月 27 日・8 月 28 日	3	63

いきいき楽々講座（老壮大学）	高齢者がいきいきと元気であり続けるための生きがい作りや交流を図る場を提供する。	5 月 14 日・6 月 11 日・7 月 9 日・9 月 10 日・10 月 8 日・11 月 12 日・12 月 10 日・1 月 14 日・2 月 18 日	9	390
県民の森でウォーキングと自然観察を楽しもう	地域資源である県民の森を歩くことにより足腰の筋力を鍛錬し、樹木を観察しながら知的好奇心を呼び起こさせ脳の活性化を図る。	10 月 1 日	1	8
クリニカルアート（臨床美術）に挑戦！	絵を描くことで右脳が活性化しプロセスを楽しみながらアートを通してコミュニケーションを豊かにし心身共に健康意識を高める。	11 月 12 日・19 日・12 月 3 日・10 日	4	44
なごみコンサート’10	センター利用団体等の演奏発表の場作りと共に近隣住民の気軽な来館促進をめざす。	6 月 5 日・7 月 9 日・11 月 20 日・12 月 18 日・1 月 15 日・2 月 19 日	6	205
手話ソング’10	一連の表現による手話ソングを学び、聴覚障害者や手話に対する理解を深める。	9 月 11 日・18 日・25 日・10 月 16 日・24 日	5	53
松陵ふれあい合唱	小学生から成人まで、幅広い年代層共に歌う楽しさを学び、交流を図る。	6 月 26 日・7 月 10 日・24 日・9 月 11 日・18 日・25 日・10 月 2 日・9 日・16 日・23 日	10	238
第 19 回松陵ふれあいコンサート	小学生から社会人まで、地域の方々が吹奏楽の演奏や合唱のコンサートに参加することで、異世代間交流・地域交流を図る。	10 月 24 日	1	500
第 19 回松陵ふれあいコンサート合同練習	青少年が地域の社会人との吹奏楽練習を通して、向上心と協調性を高め、異世代間のコミュニケーションを図る。	8 月 22 日・10 月 11 日・17 日・23 日	4	680
松陵小・松陵西小校区育成会、松陵小学区民体育振興会、はつらつ遊樹会共催ウォークラリー	地域諸団体と共催でウォークラリーを開催し、地域活性化と青少年健全育成を図る。	10 月 9 日	1	81
松陵小社会学級・松陵西小社会学級共催事業企画会	地元の 2 社会学級と連携し、地域活性化のための事業を企画する。	6 月 4 日・7 月 7 日・11 月 11 日・2 月 15 日・3 月 11 日	5	20
企画検討会「松陵っ子土っと来い」	子どもの居場所作りという原点に立ち、子ども主体の事業を企画運営して地域ぐるみで、子育て支援を図る。	5 月 18 日・9 月 14 日・10 月 20 日・2 月 1 日	4	40
第 21 回松陵市民センターまつり	センター利用団体・地域団体・地域住民の活動発表と地域交流の場を提供する。（11 月 6 日はさっと来いまつりも開催）	11 月 6 日・7 日	2	1,500
地域懇談会	地域課題の共有と課題解決のためのための懇談会を開催し、次年度以降のセンター事業に反映させる。	5 月 21 日・6 月 11 日	2	26
市民企画会「めざせ！健康長寿～健康仕掛け人大募集～」	健康維持増進をテーマに企画員を募集し、エリア内の地域交流と健康増進への意識を高める	6 月 18 日～3 月 4 日	12	72
松陵地域記者クラブ	地域情報を収集・発信することで、地域のよさに気づき、地域をよくする意識を高める。	6 月 5 日・19 日・7 月 3 日・17 日・8 月 7 日	5	18

寺岡市民センター

〔沿　革〕

寺岡市民センターは、泉区北西部の大規模団地「泉パークタウン」の西部に位置し、緑豊かな自然が残る寺岡・紫山地区を受け持っている。

寺岡地区は、昭和50年代後半から急速に発展し、団地としては成熟している一方高齢化も進んでいる。新しく造成された紫山地区は、若い世代を中心に住民も年々増加しており、対照的な年齢構成になっている。また、団地周辺には宮城県図書館を始め、宮城大学や仙台白百合学園などの文教施設がある他、2 年前には大型商業施設がオープンし、週末や休日には遠方からも人々が集まり賑わっている。今後もますます発展と活性化が期待できる地域である。

〔特色ある事業〕

事業名	市民センターのプチ農園で旬の野菜を育てよう		
参加者	小学生親子	参加延人数	211人
開催日	全12回 5 月 12 日(水)、5 月 19 日(水)、6 月 2 日(水)、6 月 16 日(水)、7 月 7 日(水)、7 月 21 日(水)、8 月 4 日(水)、9 月 1 日(水)、9 月 15 日(水)、10 月 6 日(水)、10 月 27 日(水)、11 月 6 日(土)		
ねらい	スーパーなどでは一年中様々な野菜が売っており、旬の時期が分からなくなっているのが現状である。旬のおいしい野菜を自分たちで育て、食することで野菜に対する興味・関心を喚起するとともに野菜を多く摂取する健康的な生活習慣を身につけられるような食育を進めていく。		
概要・成果	親子で旬の野菜を育て、収穫した野菜を調理して食べることで、食育を進め、食の安全や生産・流通のしくみについて考えた。 プチ農園でつくったじゃがいも・人参・パプリカなどでおいしい夏野菜カレーを作った。また、それまで観察してきたことをまとめて、冊子や壁新聞を作成し、市民センターまつりに展示した。最終回には、収穫祭を行い、冬野菜を親子でおいしく料理した。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
親子でスッキリ！脳力アップ	親子で陶芸や絵手紙の作品作りをして、脳の活性化や親子間のコミュニケーションを深める機会を作る	12 月 18 日・23 日	2	50
心と体をメンテナンス～ジャイロキネシスで歪み改善～	体の歪みを矯正する効果があるというジャイロキネシス(ヨガの一種)を体験し、心身のリフレッシュと健康増進、仲間作りを促進する	5 月 14 日・21 日・28 日・6 月 4 日	4	98
市民センターのプチ農園で旬の野菜を育てよう	親子で旬の野菜を育て収穫した野菜を調理して食べることで、食育を進め食の安全や生産・流通のしくみについても考える	5 月 12 日～11 月 6 日	12	211
地域の施設を探検しよう	地域の施設の裏側を探検し、そこで働く人々の仕事を知ることで、子どもたちが社会を知る体験活動とする	7 月 29 日・30 日・8 月 3 日・4 日	4	66
見直そう！お米の文化	米粉を使った簡単なおやつ作りを通して、日本文化の良さを再確認し、地域で活動する先輩世代から若い世代へ文化や生活の知恵を継承する	11 月 19 日・26 日	2	29

もっと上手にコミュニケーション！！	子育て世代の母親を対象に、もっと上手にコミュニケーションをとるためのコツや方法を学び家庭生活で生かすことにより、社会参加への自信や機会に繋げる	1 月 20 日	1	38
おとうさんもがんばって！～日曜大工教室～	大工道具を使い、親子（特に父子）で共同制作することにより物作りの楽しさや、協力することの大切さを学び、親子のコミュニケーションや絆を深める	6 月 12 日・19 日・26 日	3	29
子ども体験塾～科学工作～	小学生を対象に、身近な科学現象を素材にした実験や工作で科学学習への興味や関心を高める	11 月 20 日・27 日・12 月 4 日	3	53
エコにつなげよう！～親子でつくるキャンドルナイト～	親子一緒に環境についての話を聞き、自然素材でキャンドルを作ることにより、環境保全や地球温暖化について考える機会を作る	12 月 18 日	1	22
体験！ハワイアンエクササイズ～こころ・からだ・リフレッシュ！～	日頃ストレスの多い世代を対象に、フラダンスで足腰の強化を図ることによる健康作りと癒しによる脳の活性化や心のリフレッシュを目指す	8 月 27 日・9 月 3 日・10 日・17 日	4	114
フィンランドの健康法～ノルディックウォーキング～	ノルディックウォーキングによる健康増進と地域の魅力再発見の場とする	9 月 9 日・16 日	2	34
男子厨房に入るべし！	料理初心者向けの男性を対象に、朝・昼・晩の食事作りを通して男性の家事への参加を促し、男性同士のコミュニケーションを深め、食と健康との関連について考える機会を作る	1 月 19 日・26 日・2 月 2 日・9 日	4	63
発見！活き活き女性のライフスタイル	30～40 代の子育て世代が「節約」を意識しながら活き活きと生活するためのヒントや工夫を身につける機会を提供する	11 月 9 日・17 日・30 日・12 月 7 日	4	112
食と環境を考える	「食」を切り口に市民レベルでできる環境保全への取り組みについて学ぶ	6 月 18 日・25 日	2	29
多聞塾	シニア世代に生きがい作りの場や社会参加の機会を提供し、地域や仲間同士のコミュニケーションの形成や支えあいの基盤作りをする	5 月 13 日～3 月 3 日	10	566
いざという時のために～救急救命講習～	AED を含む普通救命講習を学ぶことにより、いざという時にスムーズに対応できるよう備える	10 月 30 日	1	20
寺岡市民センターまつり	サークルや地域諸団体の作品展示や舞台発表を通して、地域住民の交流を深めるとともに、市民センターに足を運んでもらう機会とする	10 月 23 日・24 日	2	2,000
夏の夕べのコンサート	地元音楽サークルへの発表の場の提供と地域住民へ市民センター事業への参加を促す	8 月 29 日	1	90
寺岡・紫山懇談会	寺岡・紫山の地域住民との懇談会を開催し、地域課題を抽出し、センター事業に反映させる	6 月 10 日・11 日	2	7
ティータイムサロン～市民センターの講座を企画しよう～	地域住民が事業企画に関わることで、住民視点での地域課題を探る	5 月 26 日～12 月 15 日	10	40

長命ケ丘市民センター

〔沿　革〕

長命ケ丘市民センターは、平成 5 年 4 月に泉区 10 番目の市民センターとして開館された。当市民センターの周囲は昭和 50 年以降に造成された長命ヶ丘団地で形成されている。利用者の約65％が長命ヶ丘地区、25％が近隣地区、残り 10％が他地区からとなっており、地域に密着した市民センターといえる。

地域優先の 13 サークルをはじめ、常時 80 以上のサークルが活動しており、本年度も 48、000 名を超える利用者があった。当市民センターは、子どもから高齢者までのあらゆる住民の層からの支持を得ながら、サークル活動はもとより、地域の生涯学習活動の拠点として定着しており、益々その役割機能は、重要性を増している。

〔特色ある事業〕

事業名	夫婦共学		
参加者	地域住民	参加延人数	73人
開催日	全5回　6 月 18 日（金）、7 月 16 日（金）、9 月 17 日（金）、11 月 19 日（金）、1 月 28 日（金）		
協力者・協力団体	仙台福祉サービス協会　郷土マップ制作の会　ほか		
ねらい	長命ヶ丘地区は高齢化が進み、高齢夫婦の世帯が多くなってきている。 夫婦二人で共に学ぶことにより相手をあらためて見つめなおしこれからの夫婦のあり方や自立を考える機会を提供する。		
概要・成果	夫婦の「現在」と「これから」の話し合いからお互いを再発見。コーチングの指導者のもとでゲームを通して夫婦、友達、隣人について学んだ。 夫婦一緒にペアでの体操として、八乙女から水の森まで散策、手打ちうどんと冷汁の調理実習、いも煮会や茶話会での介護の体験談を聞いたり、話したりしての情報交換など。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子育て講座	親子のふれあいと絆を深め相互の育ちあう場を提供する	6 月 3 日・8 月 5 日・10 月 6 日・12 月 1 日・2 月 10 日	5	262
休日自然楽校	自然のすばらしさや大きさ楽しさを共感する時間を提供	7 月 19 日・9 月 26 日・11 月 13 日	3	57
仙台みそづくりと食育の話	「仙台みそ」をテーマに、食育活動や日本古来の食文化についての講話を聴き、みその仕込みを体験し、家庭での食育を考える	9 月 17 日	1	14
夏休みあそび場づくり	夏休みをひとりで過ごす子どもを対象にさまざまな体験をする場の提供。	7 月 21 日～8 月 12 日	17	96
フレンドスクール	同じ教室で学ぶ縦割りの学習の場を提供し放課後の居場所作りを行う	5 月 19 日～2 月 16 日	20	226
丘の子夢さがし	夏休みの子どもたちがゲームやワークショップを体験し、自分の未来を考える子どもキャリア講座	8 月 3・4 日	2	12

もっと知りたい長命ヶ丘発歴史の旅	長命ヶ丘を起点に近隣の歴史文化を学び再発見と愛着心を育てる	6 月 4 日・7 月 9 日・9 月 3 日・10 月 9 日・11 月 12 日	5	107
長命より道クラブ	定年後どんな生活をしようかと考えている人達に地域デビューの準備として出会いの場、仲間づくりの場を提供	9 月 17 日・10 月 22 日・11 月 13 日・27 日・12 月 17 日	4	78
ノルディック・ウォーキングで健康づくり	中高年にも効率よく運動できるノルディックウォーキングを習得して健康づくり・仲間づくりを促す	11 月 13 日・20 日	2	10
夫婦共学	高齢化社会をふたりで元気に暮らしていく為に共に学び時間と感動の共有の場を提供	6 月 18 日・7 月 16 日・9 月 17 日・11 月 19 日・1 月 28 日	5	73
ECO で快適生活を知ろう	エネルギーと企業の取り組みを知る工場見学、不用品を利用したエコバック制作、環境講話を通してエコロジーや環境を考える	11 月 19 日・26 日・12 月 3 日	3	21
長命ヶ丘町内の達人	スキルある住民を講師として活躍してもらう機会と場を提供	12 月 26 日・1 月 26 日・2 月 12 日	3	52
長命大学	街づくりに活躍してきた高齢者にたいしてこれからの生活を生き生きと過ごすために学習に取り組む場を提供	5 月 20 日～2 月 17 日	10	521
長命ヶ丘市民センターまつり	・学習成果の発表機会の提供・地域住民の交流できる場の提供	10 月 16・17 日	2	2,000
長命七夕コンサート	地域のコンサートとして質の高い芸術文化にふれることができ住民の憩いの場・交流の場となるよう開催	7 月 3 日	1	160
長命ヶ丘春の音楽祭	長命ヶ丘は音楽活動の盛んな街である。センターにとどまらず発表の機会を提供した	4 月 17 日	1	160
長命ヶ丘地域活性化懇談会	地域課題として取り上げられている地域活性化に関して具体的な提案について意見交換をおこなう。	6 月 14 日	1	9
ガーデニングのいろは	地域で堆肥づくりを広め実践している。堆肥作りからはじめ花を咲かせる技術を習得し地域に還元できるよう支援する	5 月 26 日・6 月 23 日・7 月 21 日・9 月 28 日・10 月 26 日	5	66
めざせ！町の新聞記者	長命ヶ丘の街の様子を広報紙として内外に知らせる事を目的として技術を学び情報発信できるよう支援する	11 月 26 日・12 月 3 日・10 日	3	20
子どもの未来を考える企画会	子どもたちの生活環境に関わる現代的課題の中から取り組む課題を検討し、講座を企画する	5 月 13 日・27 日・6 月 10 日・24 日・7 月 8 日・22 日・8 月 27 日・9 月 16 日・30 日	7	32

松森市民センター

〔沿　革〕

当市民センターは平成12年1月、鶴が丘中学校区施設として泉かむり訪問看護ステーション、コミュニティ防災センターと併設し、泉区内11番目の市民センターとして開館した。

市民センターの北側に、戦国時代の武将である国分氏が居を構えた松森城跡を仰ぎ、北東には鶴が丘団地、東西に細長く松森地区がある。近年大型店舗の進出や幹線道路の整備が進み人口増加の傾向にある。一方南側は、一面広大な田園地帯となっており、七北田川・仙台バイパスまで眺望が広がり、自然環境にも恵まれている。施設の特徴としては、市民が気軽に利用できる親子室・娯楽室・図書室・市民活動室や広々としたラウンジがある。地域のニーズに応える生涯学習の拠点施設として、相互交流の輪を持てる多様な事業を提供・支援している。

〔特色ある事業〕

事業名	まなこみネット鶴が森推進事業 「巨大紙相撲鶴が森場所 2010」「冬のお楽しみ会」		
参加者	小学生、地域住民	参加延人数	135人 450人
開催日	全2回　7月19日(月)、1月8日(土)		
協力者・協力団体	鶴が丘中学校、鶴が丘小学校、松森小学校、鶴が丘児童センター 鶴が丘中学校親父の会、松森・鶴が丘学区民体育振興会、クレイン 鶴が丘小学校区社会学級、松森小学校社会学級 鶴が丘中学校区健全育成推進協議会		
ねらい	まなこみネット鶴が森推進委員会で企画された事業。市民センターが核となり、地域の団体と連携してネットワークを広げ地域活性化を図る。子供達の健やかな育ちを支援し、さらに世代間交流を行う。		
概要・成果	「巨大紙相撲鶴が森場所 2010」 子どもから大人まで一緒にダンボールで巨大力士を作成し、鶴が森場所を開催。 「冬のお楽しみ会」 小正月の行事(もちつきとだんごさし)を地域のお年寄りから学ぶ。 巨大紙相撲は2回目、もちつきとだんごさしは4回目となり、どちらも多くの親子が参加した。毎回関わってくださるボランティアスタッフも多く、まなこみが地域の行事として定着している。また学校とも連携し、多くの中学生ボランティアが活躍した。		

〔平成22年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
仙台の伝統食文化を学ぼう	食育をテーマに、仙台白菜と仙台味噌の原料である大豆について、ひいては伝統食について、実際に畑での作付けや高校での調理実習などを体験しながら学んだ。	6月12日・8月7日・10月2日・12月4日・1月8日・2月19日	6	186
子育てママの企画会実施講座	子育て中の悩みのひとつでもある腰痛解決のための「ママのリフレッシュ骨盤体操」と子育て中の音楽グループによる「ピロロの愉快なコンサート」を実施	12月9日・14日	2	86
ジュニアちゃれんじ！	マンガや科学実験、ネイチャークラフトなどの小学生向けの事業を展開し、子供の自主性や想像力を育成するため体験活動の場を設けた。	7月24日・31日・9月4日・11日・18日・2月26日	6	64
鶴が丘・松森社会学級共催事業「ハーブでリラックス」	忙しい現代人のために健康とやすらぎをテーマに気分をリラックスするためのハーブの効用について学んだ。	9月2日	1	31

鶴が森「温故知新」～時空を超えて～	松森・鶴が丘地域の歴史を、現地踏査をしながら検証し、歴史マップ及び歴史レポートを作成した。最終回は震災のため中止となった。	5 月 28 日・6 月 25 日・7 月 23 日・8 月 27 日・9 月 30 日・10 月 29 日・11 月 26 日・2 月 26 日	8	76
笑顔でいきいきヨーガ入門編	心身ともに健康で生き生きとした暮らしが出来るように、楽しく簡単に継続していけるヨーガの入門編を行った。	1 月 20 日・27 日・2 月 3 日・10 日	4	103
学校へ行こう	身近にある学校資源の活用として、開放日や夏休みに空き教室を利用して、科学実験、パソコンの基礎、調理実習を教師に模擬授業してもらった。	7 月 7 日・8 月 4 日・5 日・11 月 12 日	4	48
城前大楽	地域の高齢者に生涯学習の場を提供し、また話し合いの場をつくり参加者同士がふれあい、親睦を深めさらに自主活動ができ心豊かな生活が送れる講座をおこなった。	4 月 22 日～2 月 24 日	10	355
松森ラウンジコンサート	地域の人材やサークルに演奏発表の場の提供と、地域の方々の気軽な来館を目指すことができた。	5 月 22 日・6 月 26 日・7 月 23 日・10 月 23 日・11 月 21 日	5	115
まつもりゆるゆるアートまつり	地域に居住する音楽家や市内の高校生、おもちゃ修理サークル、ゲームサークルなどが自らのアート活動を館内で発表し、地域住民と交流した。	12 月 5 日	1	90
市民企画講座　コンサート in まつもり	身近な施設で気軽に音楽に触れる機会と交流の場を提供し、来館のきっかけづくりとした。MJOの演奏と、ボーカル等を取り入れ企画委員、演奏者、参加者の交流も図られた。	9 月 5 日	1	100
まなこみネット鶴が森推進事業「巨大紙相撲鶴が森場所２０１０」「冬のお楽しみ会」	「まなこみネット鶴が森推進委員会」の中で企画立案した2事業を実施し、地域の活性化や子供と地域住民の交流などを図った。	7 月 19 日・1 月 8 日	2	450
（学びのコミュニティづくり推進事業）まなこみネット鶴が森推進委員会	市民センターが核となり、地域の様々な団体が連携し、子供たちの健全育成と地域の活性化を図るため、夏と冬に2事業を企画立案した。	4 月 21 日・5 月 26 日・6 月 22 日・7 月 28 日・8 月 25 日・9 月 29 日・10 月 28 日・2 月 9 日	8	135
第９回　松森市民センターまつり	市民センターで活動するサークルの学習発表の場を提供し、地域住民との交流を促進した。また、実行委員会を組織し、自分たちの「まつり」であることを確認し、地域の輪を意識した「まつり」を実施した。	10 月 17 日	1	2,100
鶴が森コミュニティサロン	地域ニーズ・地域課題を話し合い、その解決を主なテーマとし、地域の変化・情報などの交流の場とした。	2 月 12 日	1	55
図書ボランティア養成講座「本は素敵なパートナー」	読書推進活動のため、ブックトークや読み聞かせ等行い、図書ボランティアの人員確保と現在活動しているボランティアのスキルアップを図った。	6 月 4 日・11 日・17 日	3	45
コンサート in まつもり「企画会」	身近な施設で気軽に音楽に触れる機会を提供し、地域住民の交流の場として市民センターを気軽に訪れるきっかけづくりのため、コンサートを企画した。	5 月 18 日・6 月 22 日・7 月 13 日・9 月 5 日	4	17
子育てママの企画会	地域に住む子育て中の母親が企画員となり、今子育て中に必要としている情報や体験を出し合って、2つの講座を企画立案した。	5 月 25 日・6 月 8 日・22 日・9 月 14 日	4	27
社会学級共催企画会議	松森市民センター管内にある2つの小学校の社会学級と市民センターが、現状に即した諸問題について企画会議を開催し、意見交換を行った。	6 月 3 日・10 日・30 日・9 月 2 日	4	21
サークル一日体験	市民センターで活動するサークルの様子を地域の方々に紹介した。地域での自分探しとなり交流するきっかけとなった。	4 月 27 日・28 日・5 月 8 日・15 日・22 日	5	14

桂市民センター

〔沿　革〕

桂地区は仙台市の北西部に位置し、緑に囲まれた住宅と高層マンションで構成される新興住宅団地であり、高齢化率 11．7%と比較的若く活気にあふれた街である。一方、将監地区は昭和 40 年代に開発された歴史の古い団地で年々高齢化が進んでいる。

児童センターとの併設館ということもあって利用者の年齢層は乳幼児から高齢者までと幅広い。開館以来、これらのさまざまな年齢層の地域住民と地域団体を意識した事業を展開し、利用者増と生涯学習の拠点を目指して取り組んできた。22 年度は、将監地区との交流と連携を目指すとともに、桂地区の諸団体とは更なる連携を深めながら生涯学習環境の整備・拡充に努め、自主的学習意欲に応えられるよう市民参画や学社連携の輪を広げていく。

〔特色ある事業〕

事業名	市民企画講座　桂ロビーコンサート　音楽が生まれる街～地域をつなぐ		
参加者	一般	参加延人数	755人
開催日	全7回 7 月 4 日(日)、7 月 8 日(木)、9 月 8 日(水)、10 月 9 日(土)、11 月 27 日(土)、12 月 5 日(日)、3 月 6 日(日)		
ねらい	市民企画によるロビーコンサートを開催する。音楽関係利用団体に練習成果発表の場を提供するとともに、地域の音楽家の掘り起こし、より質の高い音楽の提供、地域住民相互交流の一助とする。		
概要・成果	企画委員５名が、企画会議を経て6回のコンサートを企画した(7 回目は、仙台市市民文化事業団との共催、街角コンサート)。日韓若手音楽家コンサートや地域の高校生によるバイオリンコンサートなど、質の高い音楽が提供された。音楽が生まれる街～桂というものが、地域全体に広まってきており、地域を音楽が結ぶ役割を果たしている。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
桂の森のキッズランド	桂こどもの城保育園・桂地区社協・桂児童センターと連携して2回開催。第1回みんな一緒に楽しもう！人形劇「お家にお帰りオオカミちゃん」第2回はじめてのお出かけクラシック	9 月 15 日・11 月 17 日	2	450
桂ジュニアカレッジ	小学生対象に6回開催。第1回カレーを作ろう　第2回囲碁に挑戦　第3回ジュニアリーダーと遊ぼう　第4回実験してみよう　第5回ネイチャークラフトに挑戦　第6回ニュースポーツに挑戦	6 月 26 日・7 月 24 日・8 月 28 日・9 月 25 日・11 月 27 日 1 月 7 日	6	134
桂子ども交通安全教室	桂小学校・育成会・泉警察署・泉区役所区民生活課と連携して2回開催。第1回小学生対象に自転車の正しい乗り方・交通規則を学習。第2回幼児・高齢者を対象に交通規則の学習。	6 月 12 日・16 日	2	126
みんなでリサイクル！「竹キャンドルを作ろう！」	「男組企画会議」で企画された講座。一度使用したろうそくを溶かし新たなろうそくを作り、竹の中に入れて飾る。	11 月 20 日	1	19
桂自然塾　アウトドアに挑戦しよう	第1回講話「安心・安全な中高年の登山」第2回館外学習：銅谷・堂所・堂庭廃寺散策第3回館外学習：桑沼・氾濫原散策第4回館外学習：泉ヶ岳登山第5回蕃山登山	4 月 17 日・24 日・5 月 22 日・10 月 23 日・11 月 6 日	5	69

あなたの暮らしを守る～ いざという時のために	第1回講話「成年後見人制度について」第2回講話「今から考えよう老い支度」第3回講話「地域で違う葬祭いろいろ」	1 月 12 日・19 日・26 日	3	57
あなたは大丈夫！？ ＜骨粗しょう症＞	第1回講話「骨粗しょう症について」第2回実技「骨粗しょう症予防の軽体操」第3回調理実習「予防・改善のための調理」	10 月 13 日・20 日・27 日	3	61
仙台を知ろう	第1回講話「仙台ってどんな街！？」第2回講話「仙台の歴史と七夕祭り」第3回実技「ミニ七夕作り」第4回調理実習「仙台の郷土料理」	6 月 15 日・22 日・29 日・7 月 6 日	4	49
地球にやさしい暮らし方	第1回講話「地球温暖化と私たちの暮らし」第2回館外学習「環境施設見学」第3回調理実習「エコクッキングに挑戦」第4回講話「地球とマイホームにやさしい掃除」	9 月 3 日・10 日・17 日・10 月 1 日	4	75
国際交流講座～仙台の姉妹都市巡り	第1回講話「姉妹都市と友好都市」第2回講話「光州広域市：世界美術博覧会・ビエンナーレ」第3回調理実習「メキシコ調理」	12 月 3 日・10 日・17 日	3	65
ランクアップ！コミュニケーション講座	桂小学校区社会学級連携事業「構成的グループエンカウンターによるワークショップ」	11 月 26 日	1	56
桂友くらぶ	第1回講話「食べるを科学する」 第2回講話「遠野物語」 第3回コンサート「琴の調べ」 第4回仙台市博物館見学　第5回実技「絵手紙」 第6回齋藤産土美術館見学　第7回講話「積極的に生きる」 第8回実技「レクリェーション」 第9回講話「わが心の安重根」 第10回一人芝居「人生いろいろ笑いが大事」	5 月 13 日～2 月 10 日	10	533
わくわくドキドキ　シニアのパソコン講座	東北電子専門学校学生による指導。マイカレンダー作り	7 月 28・29・30 日	3	57
桂ロビーコンサート	第1回七夕コンサート　第2回琴の調べ　第3回日・韓若手音楽家交流コンサート　第4回高校生バイオリニストによるコンサート　第5回ビオラ・フルート・ピアノアンサンブル　第6回室内管弦楽クリスマスコンサート　第7回街角コンサート	7 月 4 日・8 日・9 月 8 日・10 月 9 日・11 月 27 日・12 月 5 日・3 月 6 日	7	755
桂地区「地域防災訓練」	桂連合町内会共催事業避難場所集合、濃煙体験、AED・応急措置訓練、消防はしご車放水訓練、非常食配給	9 月 12 日	1	1,200
桂文化祭	利用サークルのステージ発表・作品展示、バザー、出店、抽選会、餅まき、児童センターまつり	10 月 16 日	1	3,000
桂　地域懇談会	桂地域・各団体の現状と課題、及び桂文化祭について懇談	5 月 18 日	1	9
あなたもストリートアーティスト「バルーンアート」	バルーンアートの技術を習得	10 月 2 日	1	10
ネイチャークラフトボランティア養成講座	第1回講話「自然素材のクラフト製作」 第2回実技「材料集め」 第3回実習「道具について」 第4回実習「教材準備の仕方」 第5回実習「作ってみる」第6回講話「指導の仕方」	5 月 27 日・8 月 26 日・10 月 28 日・11 月 25 日・12 月 16 日・1 月 27 日	6	40
市民企画講座 「男組企画会議」	第1回企画持ち寄りと検討　第2回企画の絞込み第3回役割分担決め　第4回最終打ち合わせ　第5回反省会	5 月 29 日・6 月 26 日・7 月 21 日・9 月 4 日・12 月 11 日	5	11
桂ロビーコンサート企画会議	第1回情報交換　第2回企画立案　第3回詳細打ち合わせ　第4回反省会	5 月 11 日・18 日・25 日・12 月 5 日	4	13

南中山市民センター

〔沿　革〕

当市民センターは南中山団地の中心部に位置し、南中山中学校区における南中山、北中山、西中山の 3 連合町内会傘下 16 町内会を対象範囲としている。さらに、新規住宅の建築も盛んで人口も増加傾向にある。

当市民センターは、昭和 59 年にオープンした「泉中高年齢労働者福祉センター（サンライフ泉）」が平成 15 年 3 月をもって閉館した後、施設改修を行い、平成 15 年 11 月 13 日に「南中山市民センター」としてリニューアルオープンした。地域には障害者関係教育機関があり、住民や小中学生、大学生などと障害者との交流も活発に行われるなど、地域住民の市民活動も活発で、市民センター活動への期待と関心も大変高い。

〔特色ある事業〕

事業名	8ミリフィルム観賞会を開こう		
参加者	成人	参加延人数	企画会:42人 鑑賞会:65人
開催日	全11回 10 月 16 日(土)、11 月 20 日(土)、11 月 27 日(土)、12 月 11 日(土)、12 月 15 日(水)、 1 月 8 日(土)、1 月 12 日(水)、1 月 29 日(土)、2 月 5 日(土)、2 月 16 日(水)、2 月 19 日(土)		
協力者・協力団体	連携:せんだいメディアテーク		
ねらい	昭和の様子を記録した8ミリフィルム観賞会の企画・運営を市民参画の形で行うことにより、自ら学びの場を創造することの楽しさや必要性を知ってもらう。		
概要・成果	公募で募った企画員は皆、8 ミリや映写機の扱いに慣れており、鑑賞会の実施に向けて積極的な意見が交わされた。 地域の方から提供していただいた8ミリフィルムをデジタル化し、上映座談会を実施することで、地域の様々な世代の方と仙台の記憶を共有し、住民同士のコミュニケーションづくりにつなげた。 鑑賞会には、地域住民はもとより、区内、市内からも多くの来場者を得ることができた。また、企画員のアイディアで会場内に設置した 8 ミリフィルム関連機器の展示には、多くの方が興味を示した。		

〔平成 22 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
ママのほっとサロン	紙芝居、エプロンシアター、親子体操、育児講話、アロマオイルのお話、おさんぽ、クリスマス会、手作りおもちゃづくり、人形劇	5 月 28 日～2 月 25 日	10	262
わくわくこどもチャレンジ	学ぶ楽しさを知ってもらうために、工作と科学実験、ブックトーク、茶道、料理、ジャグリング等を体験。	通年	6	114
長谷倉川でともだち交流会	安全な川遊びの講習、魚のつかみ取り、魚焼き体験	9 月 4 日	1	32
親子で体験！門松をつくろう	ミニ門松づくり	12 月 26 日	1	59
南中山・北中山小学生交流会	綱引き大会、餅つき大会、交流食事会	1 月 15 日	1	88
さわやか健康塾～らくらくリフレッシュ	託児付で健康講話とフィットネスを実施。	9 月 7 日・14 日・28 日	3	55

いずみ中山交流事業創ろう・語ろう・わがまち	光明支援学校の工房で紙すきをして、学校見学。すいた紙で絵手紙体験と交流会を実施した。作品はセンターまつりで展示。	7 月 30 日・9 月 8 日	2	26
いずみ中山地域人材講座 わがまちみんなの輪	地域在住の方を講師に迎え、海外生活の体験談、学コミの活動紹介とジャンボのりまき作り、新しいお寺の在り方等の講話を実施。	6 月 12 日・10 月 23 日・1 月 29 日	3	149
8 ミリフィルム鑑賞会	昭和の様子を記録した8ミリフィルムの鑑賞会	2 月 19 日	1	65
かがやきカレッジ	コンサート、科学実験、川柳、辻標めぐり、健康体操、脳トレ、小正月行事のだんごさし等を実施。	5 月 14 日～3 月 4 日	10	414
いずみ中山すずなりコンサート	地域の方が出演する地域ぐるみの音楽発表会。夏に4サークルの発表。冬に南中山中学校吹奏楽部とジャズオーケストラの共演を実施。	7 月 3 日・11 月 27 日	2	280
南中山・北中山小学生交流会実行委員会	南中山・北中山小学生交流会の企画・検討	4 月 24 日・5 月 29 日・6 月 26 日・7 月 24 日・8 月 28 日・9 月 25 日・10 月 30 日・11 月 27 日・1 月 15 日	9	162
(学びのコミュニティづくり推進事業)まなびねっといずみ中山推進委員会	まなびねっと「いずみ中山」で実施する事業の企画・検討	4 月 24 日～2 月 26 日	14	252
南中山市民センターまつり	地域の学校・団体・市民センター利用サークルの発表、授産施設の販売、あそびのコーナー	11 月 6 日・7 日	2	2,370
地域懇談会	地域交流講座参加者との懇談会、地域の学校関係者との懇談会、町内会関係者との懇談会を実施。	9 月 8 日・12 月 4 日・3 月 5 日	3	36
いずみ中山愛菜ボランティア講座～野菜を作ろう	畑を100坪に広げ、10種類の野菜を栽培。子どもの講座にじゃがいもやきゅうりを提供し、地区社協のふれあい食事会にも新鮮な野菜を提供した。	4 月 28 日～3 月 3 日	10	223
ジュニアリーダーとあそぼう	ジュニアリーダーの指導による小学生のゲーム交流	7 月 24 日	1	18
団塊の世代の井戸端会議	「生き生きと生きるために」をテーマに、館長講話から検討会、各自の思い等話し合った。	5 月 29 日・6 月 26 日・8 月 28 日	3	23
8 ミリフィルム鑑賞会を開こう	昭和の様子を記録した8ミリフィルム鑑賞会の企画	10 月 16 日～2 月 19 日	11	42